

市民意見一覧

1 復興計画全体の体系に関する意見等 (9件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1	対策を取ることによって、以前とどの様になるのかの記載が無い。定量的基準がなく本気度が低いと思われるのではないか。	中間案説明会
2	項目が羅列的であり、中身が系統だっていない。必要性、評価基準などが欠落している。	中間案説明会
3	計画書の作り方を全面的に変えて欲しい。例えば津波地区、宅造、一般エリア、生活インフラ全般の4区分で被害状況、対応策、効果を整理・検証し事業計画を作り、分かりやすくしたほうが良い。	中間案説明会
4	各章の模式図を作成すると、計画全体のイメージがわかりやすいと思います。	パブリックコメント
5	津波対策やがれき処理の問題は、県や国、近隣自治体との相互に連携した防災体制の強化など、横の繋がりの見える方向性も必要。「自助」だけでなく「互助」といったところか。	各界各層・有識者調査
6	100万人復興プロジェクトの10プロジェクトは並びがばらばらに見える。キャッチフレーズに沿って整理してはどうか。	各界各層・有識者調査
7	施策全体と10プロジェクトの関係性が分かりにくい。	各界各層・有識者調査
8	農業に関して、震災前と状況が大きく変化したにもかかわらず、基本構想・基本計画と同様の施策が描かれているのはおかしい。効果的に事業が遂行されることを期待する。	各界各層・有識者調査
9	ハードとソフトの被害が一緒になっており、時間軸の区別がなく、項目の羅列が主で、具体性のない印象を与えている。	各界各層・有識者調査

2 復興計画の目的、位置づけ、計画期間など総論的記載に関する意見等 (25件)

No	意見の概要	市民参画の手法
10	計画書の今後10年間の「復興期間」と当初5年間の「集中復興期間」の整合性がよく分らない。	中間案説明会
11	中間案は文章が並んでいるだけで優先順位(戦略)が見えない、実現可能なアイデアを加えるべき。文章を読んで市民の心をあおるような工夫も必要。	中間案説明会
12	100万人の復興プロジェクトは、5カ年計画の中で動かすと受け止めているが、いつまでに何をするのかを具体的に示して欲しい。	中間案説明会
13	「実施計画」の姿が見えないと復興計画での優先順位も見えてこないと思う。具体的なことを聞かせて欲しい。	中間案説明会
14	計画内容を平成27年度まで出来るのか。	中間案説明会
15	財源を国に押し付けてないか、逃げてないか。本来の都市整備計画との整合性を。期間から見るともう少ししぼるべきではないか	中間案説明会
16	市は復興を5年間と設定しているが、県は10年といているので、整合性はどうなるのか分らない。	中間案説明会
17	千年に一度の災害であり、大胆な未来指向の都市計画を望む。復興庁を是非仙台へ。	中間案説明会
18	真の復興を実現するためには、ハード整備と都市が機能するためのプログラム開発が必要。復興計画は防災・復旧計画の色彩が強く、基本計画・基本構想へどのようにつながっていくのか明確でない。	中間案説明会
19	市の総合計画＝基本計画との関係を明示した方が良いと思う。実施計画は両方の実施計画だと思いが、関係がわかりにくい。	中間案説明会
20	必要な経費と期間の明記がないため、改めて市民に示し、問い直すべき。復旧対策と復興策が混在している。「市民力」を市民に理解できる言葉、文章で具体的に示すべき。	中間案説明会
21	昭和53年の宮城県沖地震の教訓から、揺れによる被害は或る程度対応できたことから、津波防災を中心とした復興計画であることを、更に明確にすることが必要と考えます。	パブリックコメント
22	市長自ら宅地再建の課題について、現状認識を語り、具体的な支援・救済策、財源の実情、工程表作成の問題点を提起してほしい。	パブリックコメント
23	郷土の復興については本日お伺い、説明頂いたので、その方針に基づいて自然体で復興を遂げると思いますので、行政に期待しています。	パブリックコメント
24	震災復興計画は基本計画を補完する計画とあるが、基本計画のどの部分を補完しているのか明記していただきたい。	パブリックコメント
25	行政として仙台市自身の総括の記載がほとんどありません。情報提供、支援物資、国や県など各方面への働きかけ、検査体制、各方面への指示の不適切さ等、課題は山積している。	パブリックコメント
26	「基本計画を補完する」という位置づけではなく、「集中復興期間」の5年間は基本計画を従とすべき。	パブリックコメント
27	「総論」の「復興期間」である5年間の集中復興期間については、復興を急ピッチに進めるあまり、住民の意識とのかい離が生じないように配慮を要望する。	各界各層・有識者調査

28	復興基本計画は今後10年として、当初5か年間に集中復興期間と位置付け、一日も早い復旧・復興を推進する方針に大いに期待する。	各界各層・有識者調査
29	「計画の位置づけ」は、「基本構想」や「基本計画」との関係を図示した方がわかりやすい。	各界各層・有識者調査
30	「計画期間」も図示した方が良い。10年のうち、しかるべき時期に計画の見直し等の可能性があり得、10年の期間中に再度災害が発生した時の対応などについても触れておくべき。	各界各層・有識者調査
31	当初5年間としている集中復興期間はやや短い印象を受ける。果たしてこの5年間の復興期間で十分なのか。	各界各層・有識者調査
32	基本構想・基本計画と補完関係にあるということが不明瞭である。復興計画に合わせての変更が当然生ずると思われる。	各界各層・有識者調査
33	少し人工的な町づくりがなされる印象。海側の平野部にも多様な生き物が息づく環境を取り戻して欲しい。基本計画にある「軌道系交通機関を基軸とする集約型」の考え方を盛り込んで欲しい。	各界各層・有識者調査
34	被災した県の各市町村単位で復興計画が検討されているが、市町村の相互連携がうまくいっているのか懸念される。	各界各層・有識者調査

3 東日本大震災の総括に関する意見等 (11件)

No	意見の概要	市民参画の手法
35	今回の経験を踏まえ、行政と市民の果たした役割を検証し、計画に盛り込んで欲しい。計画に至る裏づけの記載があると理解しやすい。	中間案説明会
36	従来の計画で見直すべき点、至らなかった点、反省すべき点は何なのかを明確に示してほしい。全般にもう少し具体論の説明がほしい。	中間案説明会
37	ライフラインや各種施設・インフラの被災については、現状認識として港湾や鉄道など産業インフラに対する被災状況の追記を要望する。	パブリックコメント
38	仙台市の対応をきちんと総括したうえで、復興計画とすることを求めます。	パブリックコメント
39	「東日本大震災の総括」の「複合的な被害と課題」に、「大量に発生したがれき問題」の追加を要望する。	各界各層・有識者調査
40	「東日本大震災の総括」について、本震災では、仙台塩釜港等の物流インフラが被災し、市民の生活や地域経済を支える穀物、燃料、生活物資等の供給が途絶え、市民生活にも甚大な影響を与えた状況について記載した方が良いのでは	各界各層・有識者調査
41	「東日本大震災の総括」の『自助』、『自立』と『絆』、『協働』の拡大について、「不可欠の要素となります。」の部分に「また、男女共同参画の観点から、復興のあらゆる場・組織に女性の参画を促進するとともに、子ども・障害者等あらゆる人々が住みやすい共生社会を実現することが求められます。」という表現を追加した方が良い。	各界各層・有識者調査
42	「完全な防災の限界」については、多重防御の考え方が求められたのと同時に、可能な限り早期に復旧させることの重要性も課題として認識すべき。	各界各層・有識者調査
43	東京などから仙台へ出張されていた方々への対応なども考慮すべき。また、安否確認などの情報面での課題も露呈したので、この点についても課題としての認識することが肝心。	各界各層・有識者調査
44	今後、復興がさらに本格化すると、被災各地での復興活動の拠点としての仙台の役割もますます重要になり、宿泊施設の確保なども先駆的な位置づけの都市の課題認識として必要。	各界各層・有識者調査
45	震災で行政と市民の果たす役割がどこがうまくでき、どこがなぜ出来なかったのかを計画に明記すべきである。	各界各層・有識者調査

4 復興の基本理念、復興に向けた方向性などに関する意見等 (23件)

No	意見の概要	市民参画の手法
46	蒲生干潟の再生をする金があるのであれば、住家の再生を優先していただきたい。	東部地域まちづくり説明会
47	子どもたちへの対応をもっと重点的に打ち出した方が良いのでは。都市再生、政庁の原点、ニーズの一つと思う。	中間案説明会
48	多重防御は沿岸部の資産と産業活動の場の放棄である。第一線防御は生産性が高く多目的用途の国土保全用堤防を設置するのが適切で、「自然共生技術立国新生日本」に改革できる可能性がある。	パブリックコメント
49	10/10(月)広瀬市民センターで行われた説明会に参加し、最前列で聴講させて頂きました。市長さんはじめ、皆様の復興に向けた熱意に敬意を表する次第です。	パブリックコメント
50	津波対策の基本方針として、頻度の高いある程度までの規模の津波は防潮堤で防ぎ、それ以上の津波に対しては人命だけは守るという考え方の方が、現実的であると思われる。	パブリックコメント
51	津波地区の土地の活用方針。実施スケジュールと負担金の説明も一緒に行うべきである。	パブリックコメント
52	被災跡地の今後の利用自立のための教育と訓練。小さな力の結集は大きなものです	パブリックコメント
53	絵に書いて発表するのもいいと思うが、その根拠(実施スケジュールや負担金額)の説明も一緒にすべき。市からの発信がすくないのではないかと。	パブリックコメント

54	1復興の基本理念7行目「過去の延長に拘泥することなく・・・」のことが実現することを確信しています。一日も早くマイペースの生活に戻り心身とも元気になることが恩返しと信じています。	パブリックコメント
55	中間案には子供を支援する内容が欠けている。もっともっと若い世代の意見を聞いてください。	パブリックコメント
56	「人の力で防げるのが防災」であり、今回のように人の力では防げない「大震災」が発生した場合には「減災を基本とする多重防御を構築する」とする仙台市の復興計画には賛同する。	各界各層・有識者調査
57	「東日本大震災の総括」、「復興に向けて」について、今後の防災対策は、高層建築物や避難道の設置等「逃げられる」対策をとるとする視点からの具体的構築を期待する。	各界各層・有識者調査
58	「東日本大震災の総括」、「復興に向けて」について、今後の世界への模範となるようなエネルギー政策の策定に賛成である。	各界各層・有識者調査
59	仙台市震災復興計画に賛同します。	各界各層・有識者調査
60	仙台市震災復興計画(中間案)は内容的に大変素晴らしいので、是非実現してほしい。	各界各層・有識者調査
61	「仙台市震災復興計画(中間案)」については、広い視野をもって体系立ててまとめられたものであり、今後の仙台市の進む方向性が明確に示されたものと感じている。	各界各層・有識者調査
62	「復興に向けて」の「復興の基本理念」について、「しなやかでより強靱な都市の構築に向けて、」に続き、「生活者の視点・男女共同参画の視点をもって」を追加した方が良い。	各界各層・有識者調査
63	被災者の人格的自律の回復を最優先課題であり、計画の遂行がそれを妨げないことを明記すべき。	各界各層・有識者調査
64	「進化する防災都市を目指す」といったキーワードを復興の基本理念の第一として掲げ、10のプロジェクトの一つへ採用とすることを検討してほしい。	各界各層・有識者調査
65	5年後(27年度末)めざす姿を端的に表すスローガン、キャッチフレーズがほしい。例えば、防災、くらし・自然、産業・観光の3つについてそれぞれパンチのある表現のものが考えてはいかか。	各界各層・有識者調査
66	復興の計画を完全なる防災ではなく減災と位置づけているのは現実的でよいことと思われる。	各界各層・有識者調査
67	「市民力」による復興の基本理念に賛成。セクター間を横につなぐ市民による「集合の知」と協調のパワーが、復興の推進力になる。	各界各層・有識者調査
68	「新次元の防災・環境都市」の内容をもう少し明確にすべき。具体的にどんな次元なのか。復興特区について、新たな産業集積につなげていく努力が不可欠である。	各界各層・有識者調査

5 100万人の復興プロジェクトに関する意見等 (952件)

No	意見の概要	市民参画の手法
69	集団移転について、強制ではないと言いつつ、中間案には跡地利用計画が策定されている。	東部地域まちづくり説明会
70	残りたい人がいた場合、強制移転を進めていただき、任意移転とは違うということで支援策を充実させてほしい。	東部地域まちづくり説明会
71	宅地は無償で代替地を提供していただきたい。住宅についても仙台市独自の支援策を望む。	東部地域まちづくり説明会
72	仙台港背後地の利用について、県とどういった検討をしているのか。	東部地域まちづくり説明会
73	港町内会の人に対して改修してもいいというフレーズは神経を逆なでする。	東部地域まちづくり説明会
74	何故仙台市だけ建築基準法39条による規制なのか。必要な土地を安く仕入れて、安く企業に渡す意図ではないか。	東部地域まちづくり説明会
75	39条は解除されることはないのか。修理を前提として住み続けるのは可能とあるが、最終的に立ち退きを求められるのか。	東部地域まちづくり説明会
76	津波被災地区のガス、下水の復旧は考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
77	津波被災地区に対するライフラインはいつ復旧するのか。	東部地域まちづくり説明会
78	平成26年まで住宅建築の時期がずれると、民間仮設住宅の家賃補助が切れる人が出てくるが、手当てしてもらえないのか。	東部地域まちづくり説明会
79	蒲生二丁目をどういったふうに関係するか。	東部地域まちづくり説明会
80	土地を100円で売っても、移転先が300円では家は建てられない。	東部地域まちづくり説明会
81	防災集団移転について、仮設住宅を退去した後の住宅についても、今決めなくてはいけないのか。	東部地域まちづくり説明会
82	荒井で災害住宅を借りたとき、土地を買うときの負担額はいくらなのか。	東部地域まちづくり説明会
83	アパート、企業が保有している土地も宅地同様買っていただけるのか。企業、アパート経営者に対する支援策はあるのか。	東部地域まちづくり説明会

84	住宅の再建を考えるとときに移転先を見てみたい。ロケーションの資料を示してほしい。(交通の便、病院、小中学校、土地の価格等)	東部地域まちづくり説明会
85	復興公営住宅についての説明資料もほしい。	東部地域まちづくり説明会
86	小学校の再建は、集団移転状況が決まってから検討といていたが、背後地に移転すると27年から着工となり、5年の中野栄小学校に間借りしたままなのか。	東部地域まちづくり説明会
87	西原は大半の建物が残っている。自分は直して住んでいる。住み続けられるようにしてほしい。	東部地域まちづくり説明会
88	建物制限の条例について説明がされていない。	東部地域まちづくり説明会
89	集団移転に関し、川内追廻地区の事例についてどう考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
90	津波シミュレーションで押し波で被害を受けるのと、防波堤が壊れたものが押し寄せてくるのでは被害の程度が違うと思うが、その点が考慮されていないのではないか。	東部地域まちづくり説明会
91	自分の土地をどのように利用できるのか。畑とか物置とか工場とかやってもいいものか。	東部地域まちづくり説明会
92	復興公営住宅の集合住宅タイプのバリアフリーは、どのような割合で考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
93	中野地区では、仙台港背後地地区を最重要移転先地と考えているので、再度要望します。	東部地域まちづくり説明会
94	リフォームして暮らしたいと考えているが、自宅の解体費の補助の期限はあるのか？	東部地域まちづくり説明会
95	津波シミュレーションで、仙台港は黄色(4m未満)で和田新田地区は赤色(4m以上)となっており、これを平準化すれば被害は少なかったと考えますが如何でしょうか？	東部地域まちづくり説明会
96	再建計画を立てるため、買取り価格と価格の決定時期を示して頂きたい。	東部地域まちづくり説明会
97	災害危険区域の指定がなされた場合、未来永劫住宅の建築許可が下りないと考えて良いのか？	東部地域まちづくり説明会
98	蒲生町内会の区域を土地区画整理事業により土地を嵩上げて換地し、現地で再建するという考えはないのか？	東部地域まちづくり説明会
99	このような会合では、代表質問的な形になってしまうので、個別相談が出来るような事務所の開設を要望します。	東部地域まちづくり説明会
100	和田新田地区は全体的に移転と計画されているが、仮に3~4mの盛土をした場合、現地再建が出来ないのか。	東部地域まちづくり説明会
101	立派な支所があるのだから、機能するようにしてほしい。	東部地域まちづくり説明会
102	港地区4町内会の復興委員会は中野小学校の早期再開を要望します。	東部地域まちづくり説明会
103	候補地として田子西地区とありますが、4地区が全て移転できるような面積ではないように思われる。	東部地域まちづくり説明会
104	「住宅の新築や増築を禁止する建築制限」と「建築物の修繕を行って住み続けることは禁止できませんが」とあり、矛盾を感じる。曖昧な表現は避けてほしい。	東部地域まちづくり説明会
105	蒲生の自宅敷地を売らずに集団移転に加わることは可能か？	東部地域まちづくり説明会
106	集団移転で、借地する際の借地料は幾らになるのか？	東部地域まちづくり説明会
107	借地期間は決まっているのか？追廻地区のように突然出て行けなどということはないのか？	東部地域まちづくり説明会
108	戸建住宅タイプの公営住宅の間取りは決まっているのか？	東部地域まちづくり説明会
109	説明会資料の5ページの図2-bの地区で倉庫業を営んでおり、現地での再建を考えているが、建築確認申請は通るのか？	東部地域まちづくり説明会
110	震災前、和田十五代の土地を仙台市に寄付し、測量が完了して間もなく津波の被害にあった。非常に残念で十五代和田氏に対しても申し訳ない気持ちで一杯だ。	東部地域まちづくり説明会
111	歴史や経緯があるにも拘らず、ここに住んではいけないというのは問題ではないのか？	東部地域まちづくり説明会
112	和田新田地区の優秀な消防団も被害を受けている。仙台市や宮城野区ではどのように考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
113	津波浸水シミュレーションでは現況再現と二線堤整備案を比べると白鳥地区の浸水域増えている。七北田川以北の県道も6mのかさ上げをすれば違ってくると思うが。	東部地域まちづくり説明会
114	蒲生には建物が無くなりまともに津波が来るのが想定されるがそこまで想定しているのか。	東部地域まちづくり説明会
115	白鳥地区を移転対象地区から外しているが、移転できる選択も残して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
116	T.P.+0.76mとあるが2mの津波が来る場合、2.7mの津波となるのか。	東部地域まちづくり説明会

117	津波浸水シミュレーションでは和田新田堀からの津波を考慮しているのか。	東部地域まちづくり説明会
118	白鳥地区は流失が少ないであろうとの説明があったが、蒲生地区の家屋が無いことも考慮しているのか。	東部地域まちづくり説明会
119	県道のかさ上げについて、県や隣接市町村との調整はどうなっているのか。	東部地域まちづくり説明会
120	財源措置の内容とタイムスケジュールが見えてこない。	東部地域まちづくり説明会
121	津波や台風で安心して住むことができない。	東部地域まちづくり説明会
122	P.3の浸水マップは千年に一度の確率による津波の浸水深ということだが、100年、200年、500年に一度の確率ではどうなるのか。	東部地域まちづくり説明会
123	白鳥地区をP.5「②一定の制限を設けて現地再建する地区」として固めて欲しくない。個々の住宅に対して提案を出すくらい柔軟な姿勢で進めて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
124	何年確率の地震、津波であれば白鳥地区は被害を受けないということが知りたい。	東部地域まちづくり説明会
125	1.5mの津波が新港の方から来ている。新港のかさ上げを1m位しかなかったのであれば同じように津波が来るのではないのか。	東部地域まちづくり説明会
126	県道の6mかさ上げをなぜ七北田川で止めるのか。多賀城まで県道のかさ上げをすればかなり違ってくると思う。	東部地域まちづくり説明会
127	建物を建て替える場合の資金的な支援を次回教えていただきたい。	東部地域まちづくり説明会
128	蒲生地区は既に移転が決まっている。移転にあたって何をしてくれるのか、資金面が知りたい。	東部地域まちづくり説明会
129	利子補給相当額を補助とあるが、これは具体的に何に使えるのか。突っ込んだ具体的な数値、支援策を示してもらえないと判断出来ない。	東部地域まちづくり説明会
130	P.5移転対象地区における移転跡地を含む土地利用にa地区b地区とあるが、再び津波が来る地域に企業が進出するだろうか。	東部地域まちづくり説明会
131	移転先の土地の購入単価は決まっているのか。	東部地域まちづくり説明会
132	蒲生地区は140～150年前に一度津波で流されている。県の東土木事務所に行っても予算がないと言われたり、所長にすら会えない。	東部地域まちづくり説明会
133	行政はあまりにも特定の人々の津波シミュレーションを信用しすぎる。	東部地域まちづくり説明会
134	集団移転先の単価について、今後1、2年の間に土地が値上がりした場合市で差額を持つのか。荒井地区などは既に300,000円/坪を超えていると聞くが、市はこの単価を約束できるのか。	東部地域まちづくり説明会
135	土地は路線価の半分かくらいになると聞いている。それが3分の1になった場合、その差額についても市で持つぐらいのことを言って欲しい。	東部地域まちづくり説明会
136	今回の台風15号で七北田川の堤防が決壊したが、新浜で自宅を再建していた人はどうなったのか。同じように蒲生地区に住みたいと思っているがどこまで対応してくれるのか。	東部地域まちづくり説明会
137	七北田川の河口は貞山堀があるため体積土砂で塞がる。貞山堀を塞ぐように県の東土木事務所へ何度も話に行ったが相手にされなかった。	東部地域まちづくり説明会
138	出来れば荒浜に住み続けたい。笹屋敷南端の高砂からの道路の東側周辺に移転であれば、価格も安く、地盤も良いという利点がある。県道の嵩上げと防潮堤が出来れば、十分住めると思う。	東部地域まちづくり説明会
139	移転予定地と現在の土地との価格差が大きい。我々の手が届く範囲内での検討をお願いしたい。	東部地域まちづくり説明会
140	東部道路の東も地盤が悪い。荒浜の地名が残っている箇所、費用も軽減できる場所に建築したい。	東部地域まちづくり説明会
141	移転先には集合住宅を建ててくれるのか？東部道路の東側に住みたい。東部道路よりも西側には行きたくない。	東部地域まちづくり説明会
142	防潮堤を13mにすれば、笹屋敷よりも東側に住めるようになるのではないのか。	東部地域まちづくり説明会
143	この程度のシミュレーションで我々の安全が図れるのか。	東部地域まちづくり説明会
144	移転先との価格差について、市場価格ではなく被災者を考えた違う観点で価格設定をしてほしい。復興庁を仙台に配置する話は賛成。	東部地域まちづくり説明会
145	移転先との価格差の問題、個人移転は利子補給無し等、被災者を考えていない。みんなが平等に暮らせる計画にしてほしい。	東部地域まちづくり説明会
146	現在の土地に建てられるなら費用負担が少なくなる。防災集団移転ではかなりの費用負担を強いられることを考えて頂きたい。	東部地域まちづくり説明会
147	宮城県全体の考えでのシミュレーションなのか、仙台市だけなのか。穴の開いた所に影響がでるのに、シミュレーションで名取川・広瀬川の影響が少なくなるのはありえない。	東部地域まちづくり説明会
148	集団移転よりも家を建替えた方が借金を大きくしなくて済む。国全体のレベルで、心のある対応をおこなってほしい。	東部地域まちづくり説明会
149	単身ということで義援金に違いが出る。復興公営住宅も、職もあり単身者ということで外れてしまうと思っている。単身者のことも考えてほしい。	東部地域まちづくり説明会

150	鉄筋コンクリートの4階以上の建物を建てれば荒浜でも大丈夫である。	東部地域まちづくり 説明会
151	10月のアンケートにどれくらい宅地面積が必要なのかも盛り込んでほしい。	東部地域まちづくり 説明会
152	震災復興計画概要版(中間案)のP5の、農と食のフロンティアについて説明をお願いします。	東部地域まちづくり 説明会
153	国の方で荒浜に住めるようには検討は出来ないのか。	東部地域まちづくり 説明会
154	同じ荒浜地区でも、荒浜新町と買取価格が違うと聞いている。住んでいる期間や、固定資産税を払っている期間が全然違うのに、差別するののか。	東部地域まちづくり 説明会
155	集団移転先の建物の固定資産税を10年間減免するなどの支援措置をお願いしたい。	東部地域まちづくり 説明会
156	農と食のフロンティアゾーンについて、農と食だけではなく、住宅を求めることはできないのか？	東部地域まちづくり 説明会
157	津波シミュレーションの震度、マグニチュードはどれくらいの規模か。	東部地域まちづくり 説明会
158	荒浜南周辺の津波の高さは約9.4m程度となっており、県道塩釜亘理線は6mかさ上げで大丈夫なのか。	東部地域まちづくり 説明会
159	県道塩釜亘理線について、貞山掘東側をかさ上げすれば、西区・北区・新町一丁目・新町二丁目については移転しなくてもいいのでは。	東部地域まちづくり 説明会
160	荒浜から離れられない方については、新しく区画整理を行って、貞山掘西側に住ませて頂ければ幸いです。	東部地域まちづくり 説明会
161	バス道路を片側二車線にして頂きたい。避難するときにスムーズになる。	東部地域まちづくり 説明会
162	津波シミュレーションを見ると荒浜に住めない。七北田川・名取川に堤防を築いた場合、移転場所と表示されたところが危ない。	東部地域まちづくり 説明会
163	周辺の方が亡くなっており、コミュニケーションがとれない。集団移転の希望の場合、個人で移転してもいいのでは。	東部地域まちづくり 説明会
164	1000年の一度の地震により、地盤の弱い荒井地区に行くよりも、インフラ整備さえすれば、地盤の良い深沼に住む選択はないのか。	東部地域まちづくり 説明会
165	荒井地区(神屋敷)への移転では土地の価格問題がある。住宅売却でまかなうことは困難であり、市の考え方を示してほしい。	東部地域まちづくり 説明会
166	荒井地区の地盤がひどい。これから造成すると2年から3年かかり、さらに個人の負担が増える。	東部地域まちづくり 説明会
167	復興公営住宅の住居形態(エレベーター完備等)等が詳しく記載されていない。(高齢者に配慮した住宅)	東部地域まちづくり 説明会
168	事業者用の駐車場を所有しているが、今回での扱いではどうなるのか。お聞きしたい。	東部地域まちづくり 説明会
169	生活支援金として全壊家屋で100万円頂戴している。そのほか加算支援金があり、ケース2の場合の集団移転先以外で支援金が頂けるのか。	東部地域まちづくり 説明会
170	海岸堤防について、今の高さに1m上げても効果がない。少なくとも5m足さないといけない。	東部地域まちづくり 説明会
171	集団移転先の軟弱地盤に対する具体的な対応策は。	東部地域まちづくり 説明会
172	公営住宅の建設戸数は、被災数から判断して少ないのでは。入居は抽選や優先順位等があるのか。	東部地域まちづくり 説明会
173	丘の整備以外に、建物について5~6階のものを建設して、5・6階を避難所にする。	東部地域まちづくり 説明会
174	今回の台風で深沼・荒浜地区が冠水した。排水路の復旧整備を早くしてほしい。	東部地域まちづくり 説明会
175	住宅が優先であるが、どう再建(再生)するのか考える必要がある。	東部地域まちづくり 説明会
176	たいへん素晴らしいプロジェクトを計画している。	東部地域まちづくり 説明会
177	復興公営住宅の間取りについて教えてほしい。	東部地域まちづくり 説明会
178	移転候補地について、霞目飛行場を移転候補地として考えていただけませんか。田畑をやめて住宅地を作ることはない。	東部地域まちづくり 説明会
179	今回の台風で畑が水没全滅しました。優先的に11月頃から排水堀を整備と言いましたがもう少し早く進めて欲しい。	東部地域まちづくり 説明会
180	農地が、資材置き場や駐車場としてしか使えないため、この機会に緩和してプレハブ等而建てられるようにしてほしい。	東部地域まちづくり 説明会
181	四ツ谷周辺の移転候補地について、この図面に書かれている範囲すべてを想定されているのか。	東部地域まちづくり 説明会
182	復興公営住宅ができるまでの間、仮設住宅の期限が2年間と決まっていますが、期限が切れた場合どこに住めばいいのか。	東部地域まちづくり 説明会

183	移転しなくてもいい地域に事業所等があり継続的に利用していますが、計画終了までの安全面が心配です。整備されるまでの安全対策はどのように考えていますか。	東部地域まちづくり説明会
184	瓦を捨てるために富谷まで行かなければならず、なかなか進まない。道路を嵩上げする際にこの瓦やコンクリートなどは使えないものか。	東部地域まちづくり説明会
185	海岸堤防と道路の嵩上げをした場合、内水排水はどのように考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
186	家屋を現在解体し更地としたが、建築が可能であるということであるか、盛土をしなくとも良いのか？	東部地域まちづくり説明会
187	資金面について、所有地(田圃、畑及び住宅)現在の土地を仙台市での買上げは可能か？	東部地域まちづくり説明会
188	家を建てるときの補助はどのようにしているのか？	東部地域まちづくり説明会
189	白い区域にある東六郷小学校等の処理及び修繕などは今後どうなるのか？	東部地域まちづくり説明会
190	赤い区域で住むことはできないため、集団移転を行うことはやむを得ないが、農業耕作は可能か？	東部地域まちづくり説明会
191	この計画案は、住民の意見が十分反映されているとはいえない。今後住民の意見も踏まえて、計画を確定していくのか？	東部地域まちづくり説明会
192	白い地域は新築及び増築で制限はないようですが、宅地を嵩上げをしなくとも建築は可能か？	東部地域まちづくり説明会
193	白い地域に工場を所有しているが、なんら制限はなく従来とおり稼働しているのか？	東部地域まちづくり説明会
194	集団移転を考えているが、年金生活で資金を借りる当てがない。仙台市で斡旋などしてくれるのか？	東部地域まちづくり説明会
195	危険区域に完全に指定されたら、今後住宅の建築はできないのか？解除される可能性はないのか？	東部地域まちづくり説明会
196	赤い区域に住んでいるが、土地売買及び購入の単価はどうなるのか？移転先が黄色で困んだ地区の場合はどうなるのか？	東部地域まちづくり説明会
197	堤防の高さをもっと上げることは可能か？浸水深が2.0m以上でも建築物を鉄筋・鉄骨構造に変えれば居住可能ではないか？国に補助事業の要望を。貞山掘まで盛土を行うことにより頑丈な地盤になるのではないか？	東部地域まちづくり説明会
198	危険区域だからといって集団移転とするのではなく、住民意向に沿った対応が必要。どうしても集団移転であれば土地交換を要望する。	東部地域まちづくり説明会
199	前回、防災集団移転となった場合に跡地が災害危険区域となると説明を受けたが、今日は、防災集団移転に関わらず災害危険区域となるよう聞こえた。変更になったのか。	東部地域まちづくり説明会
200	海岸堤防と県道を6mに上げて防ごうとしているが、それを乗り越えて来る津波はどうなるのか？それ以上という想定はしていないのか？	東部地域まちづくり説明会
201	盛土等で防ぐよりは、要所に避難施設として津波シェルターを設置するほうが現実的で安く、早く作れる。前回提案した津波シェルターについてどのような検討をしたのか教えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
202	浸水深2mを越えるというだけで居住不可にするのはあまりにも短絡的だ。安全施設の設置など安全確保をさせれば十分ではないか。	東部地域まちづくり説明会
203	住宅を再建する場合に個人で土地を買った場合に利子補給が出ないということは、市の言うことを聞かないと出ないということか？	東部地域まちづくり説明会
204	前回、震災復興事業は市が主体的にとなってやるという説明だったが、今回の説明で仙台市独自の予算計上が見えない。	東部地域まちづくり説明会
205	国のせいになっている。政令指定都市として独自の予算があるのだから、被災者を察して財源を確保して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
206	資料にある移転対象地区と移転促進区域と災害危険区域の違いは何か。	東部地域まちづくり説明会
207	仮設住宅に入っていれば意見交換がしやすいが、市内に散っている場合意志疎通が図りにくい。	東部地域まちづくり説明会
208	個人移転に関してどう考えるか。	東部地域まちづくり説明会
209	前は、従前地の買取は全員希望すればという説明があったが、今回は無い。どうなっているのか。	東部地域まちづくり説明会
210	防災集団移転と復興住宅事業(災害公営住宅)の関わりと違いは？公営住宅の方には従前地の買取について一切触れていないがその考えは？	東部地域まちづくり説明会
211	買い取り価格はいくらか。従前地と移転先の坪単価はだせないのか。	東部地域まちづくり説明会
212	地元に帰りたい気持ちが強い。住宅を再建するためのケースで出ている具体的な数値を出してほしい。	東部地域まちづくり説明会
213	東部道路の東側に復興記念館を作って欲しい。	東部地域まちづくり説明会
214	中途半端な高さの堤防は不要である。	東部地域まちづくり説明会
215	道路が狭いので避難路を整備して欲しい。	東部地域まちづくり説明会

216	なぜ9/20に建築制限をかけたのか。何も決まっていなくても後でも良いのではないのか。	東部地域まちづくり 説明会
217	防災集団移転先を購入した場合、譲渡など制限はあるのか。	東部地域まちづくり 説明会
218	移転候補地の見学会などはあるのか。	東部地域まちづくり 説明会
219	建てられるのは住宅のみか、店舗併用住宅も大丈夫か。	東部地域まちづくり 説明会
220	今すぐ家を建てられない人に対して、中長期的な支援は可能か。	東部地域まちづくり 説明会
221	荒浜小学校を形として残してほしい	東部地域まちづくり 説明会
222	前回説明のあった区画整理事業での640世帯という根拠はあるのか？	東部地域まちづくり 説明会
223	団地を造る場合アンケートをとって部屋の大きさを決めてほしい	東部地域まちづくり 説明会
224	強制移転の場合は移転元を安く買いたいのか。もう少し柔軟な対応をお願いしたい。	東部地域まちづくり 説明会
225	従前地の買取となった場合には、測量を行って買うのか？またその場合の負担は？	東部地域まちづくり 説明会
226	今回の説明は移転有り、危険地帯という前提だが、自己責任で戻りたい人は戻っても良いという案はないのか？	東部地域まちづくり 説明会
227	仙台市以外でも防災施設の検討をしているのか、もっと別の使い方があるのではないのか	東部地域まちづくり 説明会
228	防災集団移転について従前地の価格と移転地の価格は？差を埋め合わせることができなければ無理だ。	東部地域まちづくり 説明会
229	防災集団移転の場所と区画数について	東部地域まちづくり 説明会
230	二重ローン問題の解決はできないのか	東部地域まちづくり 説明会
231	土地の単価と造成費をあわせても荒浜周辺と荒井周辺でも価格は変わらないのではないのか、経費を明示してほしい。	東部地域まちづくり 説明会
232	スーパーアリーナなどのいろいろな施設を整備し、雇用と人材育成を図ったらどうか。立地の良さを活かして土地の価値を上げていくような方策をとるべきではないか。	東部地域まちづくり 説明会
233	今日の説明では代替地という説明が無くなったが、買取のみなのか？	東部地域まちづくり 説明会
234	復興公営住宅について戸建型には買取があるが、集合型には買取が無い、集合型は買取が出来ないのか？	東部地域まちづくり 説明会
235	間取りや広さはどうなるのか？	東部地域まちづくり 説明会
236	希望通りの入居は可能か？	東部地域まちづくり 説明会
237	修繕はリフォームとして考えるのか	東部地域まちづくり 説明会
238	水道や下水等のインフラ復旧の予定は	東部地域まちづくり 説明会
239	区画整理地区の引き渡しはインフラ整備が整ったときか？	東部地域まちづくり 説明会
240	従前地買取の時にかかる税金と、移転地取得するときの登記費用等は？	東部地域まちづくり 説明会
241	進め方でアンケートがあるが、買取など持ち出しがあるかないか判らないと判断できない。具体的な説明を先にすべきではないか。	東部地域まちづくり 説明会
242	説明のあったH26末からの区画整理組合を希望した場合だと、300万の支援金(被災者生活再建支援金)の該当にならないのではないのか？国に要望して欲しい。	東部地域まちづくり 説明会
243	防災集団移転で数人でアパートを建てるとかは可能か	東部地域まちづくり 説明会
244	買い取ることが出来ますという場合、条件によっては土地は売らないことができるのか。私の土地は県道法面に接している。	東部地域まちづくり 説明会
245	移転先によって利子の助成になぜ差が出るのか？	東部地域まちづくり 説明会
246	何故荒井地区に集めようとするのか？東西線を利用させようとしているのか。	東部地域まちづくり 説明会
247	集団移転地以外であっても利子について補助が受けられる要請をすると聞いていたがどうなったのか？	東部地域まちづくり 説明会
248	防災集団移転には10戸という説明が出てくるが何が根拠か。	東部地域まちづくり 説明会

249	政令指定都市として市独自の対応はできないのか	東部地域まちづくり 説明会
250	建て替える人に対し、借りる人に対する補助が薄いのではないかと？家賃補助のようなものは無いのか？	東部地域まちづくり 説明会
251	園芸センターの貸農園を宅地化した場合の具体案を次回の説明会に合わせて提示してほしい。	東部地域まちづくり 説明会
252	集団移転で移転しろと言われてもお金がある人はいいけれど、我々のようにお金がない者は移転できない。土地の値段の問題もある。移転先が高くてこちらが安ければどうにもならない。	東部地域まちづくり 説明会
253	集団移転は実現性はないと思う。20年先のことより、我々は今日、明日のことが大事である。スピード感のある対応が必要だ。	東部地域まちづくり 説明会
254	流出していない家は修繕すれば住むことが可能。自分の資産を守るのは自分である。	東部地域まちづくり 説明会
255	集団移転については県知事が言っていることで、国が言っているわけではないとの記事が載っていた。	東部地域まちづくり 説明会
256	県道の嵩上げと言っても大変なことだと思う。われわれの生活道路はどうなるのか	東部地域まちづくり 説明会
257	検討もしないで危険区域と決めないでほしい。学者の意見も大事だが、もっと住民の意見を取り入れて欲しい。貞山堀の隣に幅100mの新たな堀を作れば緩衝帯になるので、津波威力は半分くらいになると思う。	東部地域まちづくり 説明会
258	集団移転ありきではなく、どうすれば危険区域としないようにできるかそこから検討してほしい。大半の人はいまの所に住みたいと思っている。なぜ移転ばかりを前提にするのか分からない。	東部地域まちづくり 説明会
259	移転先の区画規模と買取価格はどの位になるのか。集合住宅は何㎡位のものか教えてほしい。	東部地域まちづくり 説明会
260	危険区域内での流出家屋、全壊家屋を対象に従前地の買い上げを前提した仮払い金の支給を早くできないか検討願いたい。	東部地域まちづくり 説明会
261	応急修理費と言う支援があるが、それはそこに住んでいいと言うことではないか。その後で危険区域なので集団移転となるとというのは矛盾しているのではないか。	東部地域まちづくり 説明会
262	地震と津波で決壊した七北川の堤防を、土嚢を積み上げただけの応急措置でごまかしている。この前の台風15号で七北川の堤防が決壊して床下浸水した。水害対策を早急にしてもらいたい。	東部地域まちづくり 説明会
263	集団移転と言っても予算の裏づけが何も無い中でと言われても困る。何をいつまでやるとか言うことをもっと明確に示すべきだ。	東部地域まちづくり 説明会
264	今回提示している津波シミュレーションは現在の県道を嵩上げた場合のものであるとのことだが、県道の位置は決定したのか。	東部地域まちづくり 説明会
265	県道は北から南まで約9.5kmある、一律に同じ扱いをしているのはおかしいのではないかと。350年の絆を壊すのか。地域の事情も知らないで危険だと決めつけたくない。	東部地域まちづくり 説明会
266	海岸沿いに黒松、アカシアを植えるのはやめて欲しい、根が横にしか延びないので直ぐに流される、自分の家にも津波の時7～8本流れてきて大変だった。	東部地域まちづくり 説明会
267	移転しろと言われても情報が少なすぎて判断できない。移転先の土地と等価交換であれば評価できる。	東部地域まちづくり 説明会
268	仙台市全体の都市計画について	東部地域まちづくり 説明会
269	先ほども話があったが、七北川の堤防決壊をそのまま放置していることに怒りを覚える。早急の対策を求めます。	東部地域まちづくり 説明会
270	県知事は津波被災地区であっても安全が確認できれば、またそこに住むことを容認するとの発言をしていたが市の考えと矛盾するのではないかと	東部地域まちづくり 説明会
271	危険区域に指定されれば土地の評価も下がり、何もなくなってしまう。資産価値を下げないようにして我々の生活を守ってほしい	東部地域まちづくり 説明会
272	今の説明でハザードマップを示してありますが、この津波シミュレーションのように津波を防げるのか	東部地域まちづくり 説明会
273	津波シミュレーションでは岡田地区には、どの程度の津波が来ることになるのか。	東部地域まちづくり 説明会
274	この地域は危険区域にはなっていないが、もし移転をしたいとした場合の対応はどうなるか。	東部地域まちづくり 説明会
275	七北川の堤防を嵩上げするのか拡幅するのか、現在5箇所ほど亀裂がある。	東部地域まちづくり 説明会
276	資料に災害危険区域に住むことを禁止できませんとあるが、住んでもいいと言うことか。電柱や下水道のライフラインの復旧に制限がでてくるか	東部地域まちづくり 説明会
277	県道嵩上げをどうするのか、接続道路は上にあがるようになるのか、そのやりかたを聞きたい	東部地域まちづくり 説明会
278	4月7日に大きな余震が起こった。その時、津波警報も出され一斉に車で避難したが渋滞で進まなかった。解決策を考えてほしい。	東部地域まちづくり 説明会
279	P7の⑧の住宅団地へ移転する方の住宅工事の着手は、荒井の3地区と同様と解釈してよいか	東部地域まちづくり 説明会
280	5分以内に避難できる場所がない。東部道路に上がれるような施設の要望も聞いているが、この地域の避難をどう考えているのか	東部地域まちづくり 説明会
281	岡田地区が集団移転候補地となっているが、その場所の地権者との話し合いをどうするのか、また、周辺のまちづくりをどう考えているのか	東部地域まちづくり 説明会

282	盛土による丘(海岸公園)について高さや幅がどうなるのか説明を聞きたい	東部地域まちづくり説明会
283	今見た津波シミュレーションの他、岡田地区から新浜、南蒲生で要望しているパターンでやっているか	東部地域まちづくり説明会
284	七北川の堤防の7.2mの嵩上げについては県道のところまでときいているが、現状の幅で嵩上げするのか。土囊での応急処置ではなく名取川左岸でやっているような本格的な復旧を望む。	東部地域まちづくり説明会
285	津波対策として県道の嵩上げをしているが、8・5の豪雨のような水害や七北田川の堤防決壊になった時、県道を嵩上げしてしまうと排水対策としてはどうなるのか。	東部地域まちづくり説明会
286	減災機能として再度防災林を整備するとのことであるが、根の浅い針葉樹よりは根の深い広葉樹を提案する。	東部地域まちづくり説明会
287	波除け住宅、波除けセンター等、防災機能のある施設を考えて様々な減災施設とともに多重防災を考えるべきだ。	東部地域まちづくり説明会
288	仙台市が用意した土地に集団移転した場合と、仙台市が用意した土地以外へ個別に移転した場合の買取に違いがでるのか教えて欲しい	東部地域まちづくり説明会
289	シミュレーションにあるように七北田川に津波が上がっていくと思うが、河川堤防を7.2mまで上げないところは大丈夫なのか	東部地域まちづくり説明会
290	七北田川の堤防について白鳥団地の前も嵩上げが必要と思う。3月の津波のときはあと1mで溢れるところだった。	東部地域まちづくり説明会
291	シミュレーションでは大丈夫でなく、嵩上げが必要と思う。災害が起きてからでは遅いので再度検討をお願いしたい。	東部地域まちづくり説明会
292	8.5の時も七北川堤防が決壊しそうになったので産業道路までの嵩上げをお願いしたい。	東部地域まちづくり説明会
293	県道の嵩上げや海岸堤防の完成時期について教えて欲しい	東部地域まちづくり説明会
294	事業の終着点はどこか一覧表にまとめて説明がほしい。また、具体的に国にどういう要望を出しているのか。	東部地域まちづくり説明会
295	前回、お寺やお墓について、住民の皆様と話し合っ決めていきたいとしていたが、現在どうなっているか	東部地域まちづくり説明会
296	市の責任者には65歳まで頑張ってもらって、2400世帯の負担が少なくなるよう頑張ってもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
297	災害危険区域の中にあっても、居久根などの古い材木を利用して建て替える場合には、新築ではなく修繕とみなすような柔軟な運用を。	東部地域まちづくり説明会
298	雇用問題ははどうするのか？	東部地域まちづくり説明会
299	今後下水はどのようにするのか？	東部地域まちづくり説明会
300	土地の買い取りについて、宅地、雑種地等、地目ごとに単価が違うのか？同一敷地内であれば同じ単価にして欲しい。	東部地域まちづくり説明会
301	移転促進区域の設定が最大のポイントだと考えるが、合意形成の前に災害危険区域を指定することになるのか？	東部地域まちづくり説明会
302	海岸堤防の高さについて、6.2mしかシミュレーションしていないが、7.2mでシミュレーションして欲しい。	東部地域まちづくり説明会
303	移転は早く平成24年の予定だが、その間に地震や水害が発生した場合の避難施設等を考えるべきである。防災無線が機能していないが修繕はいつ行うのか？	東部地域まちづくり説明会
304	8/1の説明会では県道嵩上げすると北の地域の被害が拡大するといいながら、県道嵩上げが提示されている。	東部地域まちづくり説明会
305	建築制限を受けると土地の資産価値がなくなり、高齢者は土地や建物を購入することは不可能なので、弱者救済をお願いしたい。	東部地域まちづくり説明会
306	災害危険区域に指定されると水道も下水も止められると聞いたが本当か？	東部地域まちづくり説明会
307	移転する場合、現在の土地の買取り価格が再建の基本になると思うので、買取りに関するスケジュールの順番を考えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
308	市では、現地に戻っている人を把握しているのか？	東部地域まちづくり説明会
309	七北田川の堤防は台風で壊れたのではない。3月11日に壊れ、半年が過ぎたのに未だ復旧していない。	東部地域まちづくり説明会
310	同じような被害でも、県道を境に西側の人が支援を受けられないのはおかしい。被害状況によって支援を決めて頂くことを検討して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
311	岡田地区は津波の被害は受けたが、地盤が良いため瓦が屋根から落ちているものも少なかった。しかし、田子地区や荒井地区は田を埋め立てているため、地盤が緩く危ないのではないのか？	東部地域まちづくり説明会
312	今の場所で再建できることも考えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
313	政令都市であるから、一日でも早く市独自の計画を出して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
314	土地の買い上げをするのはいつごろになるのか？また、土地の境界確認をお願いしたところ、市に話してくれと言われた。	東部地域まちづくり説明会

315	七北田川の高砂大橋まで堤防を嵩上げをしないと県道の嵩上げは意味がないのでは？嵩上げはもっと海岸よりにした方が良いのでは？	東部地域まちづくり説明会
316	岡田小学校は南蒲生がなくなると生徒数が半分になる。中学校についても減る。移転先を岡田小学校周辺にしてほしい。	東部地域まちづくり説明会
317	住まいの安全確保についてですが、移転先や県道の嵩上げが完成するまで、安全性確保は、どのように考えているのか？	東部地域まちづくり説明会
318	移転先はいつ頃できるのか？	東部地域まちづくり説明会
319	二木地区の区域内でも、禁止区域から外れていれば元の場所に戻るることができるのか。	東部地域まちづくり説明会
320	中間案では避難路2本が計画されているが、整備内容を知りたい。	東部地域まちづくり説明会
321	この地に家を建てる場合、防災堤防が完成するまで安全安心に暮らすことができない。整備に何年かかるのか。	東部地域まちづくり説明会
322	中間案の3頁の浸水マップを見ると山王地区は4mとなっている。今回の台風による浸水もひどかった。それでも安全といえるのか。	東部地域まちづくり説明会
323	道路、堤防の整備スケジュールが未定という事ですが、時期などを明記すべき。	東部地域まちづくり説明会
324	津波シミュレーションを見ると、道路と堤防の間に水がたまっている。速やかに排水できないのか。	東部地域まちづくり説明会
325	個人の宅地の盛土に、国の補助は出るのか。	東部地域まちづくり説明会
326	集落の人口が減少し、過疎化するのではないのか。	東部地域まちづくり説明会
327	建物があれば盛土もできないし、建築制限が掛かった所も盛土はしない。二木は浸水するが、行政はどのように考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
328	お金の手当て、子供の心のケアもお願いしたい。移転が可能であれば、集団移転出来るようにしていただきたい。	東部地域まちづくり説明会
329	自ら住宅を建築する場合について、集団移転を行わなかった区域が被害を受けた場合に、行政はどのように責任をとるのか。	東部地域まちづくり説明会
330	建築制限がかかっても集団移転はできますか。	東部地域まちづくり説明会
331	集団移転の時期はいつ頃ですか。	東部地域まちづくり説明会
332	土地の買い上げをしてもらえるのでしょうか。	東部地域まちづくり説明会
333	残らなければならない人々が住宅を再建する場合、補助は出ないのか。再建費用がない。そのような人々の事も考えて下さい。	東部地域まちづくり説明会
334	二木地区も含めて、宅地と農地の集約化を図らないと、元の土地に戻らない人が増える。そうなると地域の復興に支障をきたす。	東部地域まちづくり説明会
335	建築制限がないということですが、すぐに住めるという事ですか。	東部地域まちづくり説明会
336	農機具の補助はありますか。	東部地域まちづくり説明会
337	市街化調整区域の三本塚地区で、農業に従事しない人や、事業者に再建が認められるのでしょうか。	東部地域まちづくり説明会
338	調整区域となっている三本塚への移転が認められるよう、開発審査会の手続きを緩くして頂きたい。	東部地域まちづくり説明会
339	三本塚に安全に住むため、例えば盛土などの具体的な基準はあるのか。また、住むための条件などもあるのか。	東部地域まちづくり説明会
340	津波シミュレーションは台風の場合や、地盤沈下を考慮していますか。	東部地域まちづくり説明会
341	堤防の整備まで相当な時間がかかるが、どのように考えているか。	東部地域まちづくり説明会
342	津波シミュレーションでは1mほど浸水している。移転対象区域から外れると盛土の補助も無いが、安心して住むことは可能か。	東部地域まちづくり説明会
343	3頁の図面の井土浦の河川堤防が真っ直ぐでないのはなぜですか。名取川の堤防も延ばすべきではないですか。	東部地域まちづくり説明会
344	堤防を作った場合、排水がうまく出来ないのではないのか。	東部地域まちづくり説明会
345	税金を払っているのだから、土地の価格を上げて補償すべきである。この土地を見捨てないで欲しい。	東部地域まちづくり説明会
346	個人の宅地を盛土することについての支援が何も用意されていない。道路の嵩上げもしてもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
347	新築の場合は200万の補助が受けられると聞いている。新築・再建に関わらず補助がうけられるようにして欲しい。	東部地域まちづくり説明会

348	復興計画には完全な防災は望めないとするが、住民の安全・安心を確保するための避難施設が示されていない。	東部地域まちづくり説明会
349	防災施設の整備は何年後になるのか。農地の大規模な整備をしてもTPP問題もあり無駄ではないか。	東部地域まちづくり説明会
350	三本塚地区を3ブロックに分け、避難のための3階建の建物や、避難施設を道路より優先して整備して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
351	復興公営住宅は何戸予定しているのか。	東部地域まちづくり説明会
352	浸水は2mとなっているが、県道の嵩上げをもっと高い7mなどでシミュレーションしないのか。	東部地域まちづくり説明会
353	嵩上げする県道の道路幅はどれくらいか。東部道路より脆いのではないか。	東部地域まちづくり説明会
354	堤防や道路の嵩上げによる名取市や多賀城市への影響は考慮しているか。それによって計画が白紙になることは無いのか。	東部地域まちづくり説明会
355	津波の第1波で堤防が決壊する可能性を考慮しているか。	東部地域まちづくり説明会
356	私の家の場所は建築確認がおきるか。	東部地域まちづくり説明会
357	今回、排水機場がだめになったが、修復はどのようにするのか。	東部地域まちづくり説明会
358	資料の図面に市街化調整区域に移転先を検討しているエリアが示されているが、検討してるレベルを教えてください。	東部地域まちづくり説明会
359	移転場所は市街化調整区域のままなのか。市街化区域にするのか。	東部地域まちづくり説明会
360	解体し更地にした場合、市で買い上げはできるのか。	東部地域まちづくり説明会
361	盛土の費用負担はどうなるのか。	東部地域まちづくり説明会
362	宅地を買い上げる場合、被災前単価で買い上げるという詳しい説明が聞きたい。	東部地域まちづくり説明会
363	防潮堤と県道の完成時期はいつか。	東部地域まちづくり説明会
364	農地が危険地域になっている場合でも、耕作は可能か。	東部地域まちづくり説明会
365	市街化調整区域内の東部道路より東側の造成が現実的と思う。事業開始がH26年度からならば、仮設住宅の入居期間も考慮してほしい。	東部地域まちづくり説明会
366	修繕して住みたいという人の為に、ライフラインの対応を行なうのか。	東部地域まちづくり説明会
367	災害危険地域となった場合、火災保険などを保険会社は受託するのか。	東部地域まちづくり説明会
368	井土浜地域は災害危険地域に指定しなくても大丈夫ではないか。緩やかな建築制限でも良いのではないか。	東部地域まちづくり説明会
369	リフォームした後に移転しろと言われても困る。住めないならハッキリと言って欲しい。実際の津波の高さはシミュレーションと違った。シミュレーションの図面だけで話をされても困る。	東部地域まちづくり説明会
370	集団移転促進事業には仙台市へ国から3/4が補助される。3/4補助されるなら、移転者に対して還元されても良いのではないか。	東部地域まちづくり説明会
371	移転するのにかなりの時間がかかるが、移転先の情報や希望先などの被災者と行政の調整をどのように考えているのか教えてください。	東部地域まちづくり説明会
372	個人的に嵩上げて家を建てた場合、許可はおきるのか。	東部地域まちづくり説明会
373	シミュレーションで時系列的な津波の高さを示し、嵩上げの高さを検討する必要があるのではないか。	東部地域まちづくり説明会
374	お寺は集団移転先の土地をもらうことができない、個人で土地を見つけて欲しいとの話があったが、その方針は変わらないのか。	東部地域まちづくり説明会
375	共葬墓地について、具体的な対応スケジュールを教えてください。共葬墓地に関する方向性や見通しを提案して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
376	事業所の取り扱いについて教えてください。	東部地域まちづくり説明会
377	集団移転の際には藤塚と同様な代替地をお願いしたい。そうしないと住宅の再建は成功しない。	東部地域まちづくり説明会
378	最初から県道の嵩上げが決まっているようだが、海岸堤防と貞山掘の嵩上げを検討したのか。県道と堤防の嵩上げはおよそ何mか。	東部地域まちづくり説明会
379	集団移転の造成には3年～5年かかる。現在住んでいる所は二束三文で買い上げて新しい所は高く請求する。もう少し安く、早くできないか。	東部地域まちづくり説明会
380	いつまでに集団移転に関する決定をするのか。具体的な時期を示してほしい。	東部地域まちづくり説明会

381	防災集団移転促進事業について、負担軽減につながる様々な制度拡充を国に要望しているとあるが、具体的内容を教えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
382	被災前の評価での買い上げを検討しているようだが、現在の見通しはどうか。	東部地域まちづくり説明会
383	防災集団移転促進事業のケース1及びケース2における違いについて、利子補給以外に違うところがあるのか。	東部地域まちづくり説明会
384	お墓の取り扱いにをはっきり示して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
385	お墓が仙台市の土地になっているのはどうしてか調べて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
386	藤塚地区で移転候補地をある程度選定した場合、先に移転することができるのか。	東部地域まちづくり説明会
387	海岸堤防、貞山堀、県道のかさ上げをすることにより、藤塚付近へ移転できないか。	東部地域まちづくり説明会
388	防災集団移転について「合意形成が図られた地区から順次」とあるが、合意形成とは何を指すのか。	東部地域まちづくり説明会
389	藤塚地区は「東部道路周辺の移転検討地区」に該当すると思うが、平成26年度末(3年後)にならないと集団移転ができないのか。	東部地域まちづくり説明会
390	集団移転と言っているが、現在バラバラになっている。もう少し話し合っって良い方向に持って行ってほしい。	東部地域まちづくり説明会
391	集団移転とは、まとまって移転するのではなく、住民単位で移転することなのか。	東部地域まちづくり説明会
392	藤塚地区での勉強会の際に、宅地を震災後の価格で30%~60%下げて買い上げる話をしていたが、移転先がいくらかののか説明がない。	東部地域まちづくり説明会
393	県からの補助(全壊家屋で300万円、賃貸で50万円)を受けているが、移転までの3年間はどうか。	東部地域まちづくり説明会
394	集団移転先について個人として選択ができるのか。	東部地域まちづくり説明会
395	移転先の用地70坪と示されているが、100坪・150坪ほしいと要望がある場合はどうするのか。	東部地域まちづくり説明会
396	宅地の買い上の目安はどれくらいか。農地の買取単価はいくらくらいか。	東部地域まちづくり説明会
397	集団移転促進区域に「農地などを含めるかどうか」とは具体的にどのようなことか。	東部地域まちづくり説明会
398	今の集団移転促進事業による支援だけでは、移転できない人が想定される。仙台市独自の支援ができないか。	東部地域まちづくり説明会
399	県道の東側でビニールハウスを建設する予定だが、前回の説明会では営農できると説明がある一方、農地の買い上げの話がでていた。どうすればよいのか。	東部地域まちづくり説明会
400	県道の道幅・法面のサイズ、位置等は決まっているのか。	東部地域まちづくり説明会
401	宅地と農地も一緒に合わせて買い上げしてほしい。	東部地域まちづくり説明会
402	県道整備(6mかさ上げ)により農地がバラバラになる。売ったり買ったりにならないようにして欲しい。	東部地域まちづくり説明会
403	津波防災施設について、国・県との整合性はどうか。仙台市では道路を整備し、名取市ではやっていないということはないのか。	中間案説明会
404	堤防から盛土をして防災林をつくるという話だが、津波が来た時に心配ないのか。	中間案説明会
405	県道塩釜亘理線のかさ上げた場合、接続する私道等が高くなるが近辺の宅地へ配慮してもらえるのか。	中間案説明会
406	減災は良いが、同様の事が起きた時に被害が大きくならないよう、東部道路と県道塩釜亘理線の間避難所を配置するなど、河口側からの越流なども考慮し、慎重に検討して欲しい。	中間案説明会
407	高層住宅を建てる場所を具体的に決めて欲しい。マンションなどの大規模なものを点在させるようにして欲しい。	中間案説明会
408	白鳥地区が移転地区に入らないのは疑問。再度考慮をお願いしたい。	中間案説明会
409	減災のための整備によって、どこまで減災されれば住居可能と認められるのか基準が不明確である。	中間案説明会
410	地震による地盤沈下によるものと思うが、台風15号の際に団地内が今まで記憶に無い位の浸水状況となった。	中間案説明会
411	県道をかさ上げた際の雨水対策はどうするのか。海岸から県道までの間の地域で農業をやっていた人が安心できるのか。経済の減退にもつながるので、かさ上げは考え直して欲しい。	中間案説明会
412	大震災以前にも三陸で津波の被害が出ているが、その当時の仙台市の被害はどの程度だったのか。	中間案説明会
413	多賀城市大代地区や名取市閑上地区はどうなっているのか。地区によって移転の方針が違うのは疑問。	中間案説明会

414	今回移転を迫られている地区は、憲法で定めている「公共の福祉」によって移転を迫られていると理解してよいのか。	中間案説明会
415	2年前に蒲生の海岸堤防が完成した時に説明を受けたが、既存の堤防にかさ上げるのか。	中間案説明会
416	津波防災を第一に考えると用地買収に時間を要する公園よりも、人工的な複合施設を考えたほうが早期解決が可能。	中間案説明会
417	水門を閉じに行きつなくなった方が沢山いる。堤防の上を車で通れるようにして、穴を開けないようにしてほしい。	中間案説明会
418	1000年に1度の大震災を好機と捉えて、仙台を大胆に変えてもらいたい。仙台外環状線を整備して、農業振興区域の内側を準農業区域にして段階的な土地利用にした方が良い。	中間案説明会
419	新聞に集団移転に3000万円位の自己資金が必要とあった。市が国に要望している内容、採択された場合の財源、住民の負担額等、具体的な金額を示してほしい。他都市の事例も教えて欲しい。	中間案説明会
420	港地区復興特区ゾーンで働く人の安全確保について伺いたい。	中間案説明会
421	防災集団移転について、実情に合った補償してほしい。支援ではなく補償。今回は仙台市の防災対策の甘さもあつたと認識してほしい。	中間案説明会
422	災害危険地域は何をもって指定しているのか。代々住んできた土地であり、自分の意思に反して土地を売るのであれば、それを考慮した価格にほしい。	中間案説明会
423	防潮堤や県道かさ上げなどの防災施設の表現が抽象的で具体性がない。	中間案説明会
424	移転先が東部道路の西で、すばらしい場所だが経済負担の問題がある。実際にシミュレーションをしたほうがいい。	中間案説明会
425	津波シミュレーションのような結果論はいらぬ。最低でも避難通路を拡幅、避難場所の整備をしてほしい。	中間案説明会
426	4月から蒲生に引っ越す予定だったが、震災で全てを失った。海沿いには高層の市営住宅(1~3階は駐車場)を建設し、津波によって材木、車、瓦礫などが流出しない計画を立ててほしい。	中間案説明会
427	港湾に積み上げられている材木は、津波の際に流出する。	中間案説明会
428	津波が2mを超える範囲が図示されているが、海岸線の状態で何mの津波を想定しているのか。	中間案説明会
429	県道塩釜巨理線の6mかさ上げを超える津波がくるという想定なのか。	中間案説明会
430	避難の際に、東部道路の斜面を登るのは大変だったようだ。階段を設置する等対応を検討してほしい。	中間案説明会
431	中央防災会議で5分間で津波から避難するという目安が出ているが、高齢者や障害をもっている人が一人で避難できるか疑問。避難ビルとして既存の施設を活用してはどうか。	中間案説明会
432	建築的にしっかりとやれば、海岸部から集団移転をしなくても良いのではないのか。	中間案説明会
433	堤防・多重防御での津波減災とあるが、仙台平野では高いビルが有効。情報はビジュアルで。	中間案説明会
434	減災計画で、被害増大の可能性はないのか。	中間案説明会
435	土地利用計画は妥当なものと思う。今後時間とともになくずしにならないよう、常にこの思想を維持してゆく方策を盛り込んでおく必要がある。	中間案説明会
436	避難の丘の考え方は、この度の津波を考えれば不安を感じる。避難施設として整備すべきである。三重県大紀町の錦タワーのようなものも考えてはどうか。	中間案説明会
437	仙台市だけの事を考えるならば思い切った復興計画を考えてほしい。コンパクトシティを目指し、住居は市中心部へ(高台へ)、六、七郷の地帯は一大沼地に(尾瀬沼のように)。シェルターとサンクチャリ構想。	中間案説明会
438	防潮堤があるのになぜ県道は6m高くするのか。高さの根拠はあるのか。天守台の市道の復旧状況などの説明が足りない。いつまでに開通させるという掲示を現場にすべき。	中間案説明会
439	東部地域において、修理が完了した家の賃借や販売は可能なのか。	中間案説明会
440	県道塩釜巨理線の西側の井土地区が危険地区になった。二木地区の一部が危険地区じゃないのはおかしい。細かな話し合い、小さな事、思いを聞いてほしい。	中間案説明会
441	家は水に向かって45°の箱型で。木は高く丈夫な黒松。低くて丈夫、実の成る物、花のさく物とか。荒浜の海の中の波消しブロックは砂がたまって、沖に海水が強く早く流れて行くので危険だった。	中間案説明会
442	白鳥地区は冠水、地盤沈下被害があり、また、今回の被害状況から計画による津波対策では不安がある。危険地域として再考を願います。	中間案説明会
443	今後の復興の過程で税金はどの程度上がるのか、集団移転について、その場合どの程度支援してもらえるのかを知りたいと思っています。	中間案説明会
444	計画の年度別工程表が明示されていません。何を先に行うかも重要な課題です。特に海岸部については縦断の避難路を第一に建設。	中間案説明会
445	説明会で聞いても自分が計画の中でどの位置にあるのかわからない。これらの事がわかる様指導等をお願いします。	中間案説明会
446	私の住居は建築制限から外れましたが、再建資金がなく、このままでは復興が出来ません。	中間案説明会

447	全壊(家屋)と全滅(土地、家屋、農具、自動車)を別に支援して下さい。	中間案説明会
448	同じ説明の繰り返しで被災者の生活再建を第一が伝わらない。経済的補償と移転地域の解除を求めます。土地買取価格は、固定資産税支払い年数、行政側の移転地域設定を考慮し高価にするべき。	中間案説明会
449	移転地域設定の詳細ごとに説明、協議する場を設けてほしい。一緒の場では違和感がある。	中間案説明会
450	大津波が来たときにどうなるか、まず共通認識をもつべきと思う。各負担を小さくすることを含めて、住み続けたい希望はないと思われる。被災地域の人々が納得する計画にすべき。	中間案説明会
451	私個人としては元の住居にもどりたと思っています。どうしても、もどる事が出来ないとなるならば、個人負担をしないで、移転できることを希望します。	中間案説明会
452	移転検討地区でもし米を作ったらその後に移転は出来るのでしょうか。早く荒浜の人達の移転先をはっきりと決めて下さい。	中間案説明会
453	安全な住まいはメニューを多くする。	中間案説明会
454	港地区の津波対策の検討が必要。	中間案説明会
455	避難道路の拡張、整備を早急にお願いします。大地震がくれば津波が当然来ます。高い堤防を造っても津波はそれをのり超えます。堤防も必要ですが、避難道路を早く整備して欲しい。	中間案説明会
456	恒久的な住宅の確保が具体的ににならないと次のことが浮かばない。現在の住居は子供の学校移転の件で近くに移転した。震災者の仕事も様々であり、集団移転にこだわる意見がわからない。	中間案説明会
457	具体性が見えない。津波特区を別に働きかけ、何とか安全な東部道路の西側に行けるよう、お願いします。	中間案説明会
458	集団移転の意志に係わらず同じ援助をしてもらえると助かる。荒浜に近い所で探しているの、土地が高すぎて困っている。このままではいつまでも家を建てることはできません。	中間案説明会
459	一定の距離にその土地に合った避難施設をつくる。避難ビル等は普段は常に地域にあった活用をする。時が過ぎると普段住んでいた場所に戻りたくなると思う。	中間案説明会
460	荒浜地区に民間住宅を。荒浜の名前をなくしたくない。高齢者が多いので復興をお願いします。孫のことも考えると心配。安全なところをお願いします。	中間案説明会
461	り災証明を2通りにし、全財産流失した者と分けて最優先で考えて欲しい。義援金等他市町村より少なく感じられます。危険区域としたのなら代替地を無償で提供して欲しい。	中間案説明会
462	県道より東側の安全性の確保はできているのか。	中間案説明会
463	低頻度大災害への行政の考え方を詳しく説明して欲しい。	中間案説明会
464	移転により新たな土地を取得する場合の負担が大きくなりたくない心配。	中間案説明会
465	荒浜地区を危険区域だといわず、安全というプラス面を示して欲しい。現場主義的な考えをもって災害が起きる前に対策を講じてもらいたい。この通りやると予想をはるかにこえる予算となります。	中間案説明会
466	市の方針には賛成。津波対策上集団移転となるので、納得してもらえるよう強力に説明すべき。今後アンケートや個人面談を通して合意できるよう希望します。	中間案説明会
467	浄土寺の墓地がありますが、規模を小さくして再建を図るよう提案してほしい。	中間案説明会
468	塩釜～亶理線は当然4車線に荒浜街道、井土街道も避難路としてすばらしい海水浴場の再建を望みます。	中間案説明会
469	外環状線の東側道路を建設。その内側(西)を農家、畑専用の准農業地域として、環状線の東側を田専用にして農業復興区域にする。今後大胆に区画整備し、仙台市を大きく変えてもらいたい。	中間案説明会
470	集団移転の場所の東部道路の東側は地盤が軟弱であり、行きたくない。	中間案説明会
471	災害のあった場所の隣接地区だが、要望した件について何の対処も無く納得いかない。今後どの様に進めていくのか、明確にしてもらいたい。	中間案説明会
472	南蒲生地区へ高層ビルの対応に対する回答は適切だった。西側移転は必ず実行して頂きたい。	中間案説明会
473	秋保又は旧生出村への移住勧奨を行政で行ったらどうか。	中間案説明会
474	人命を守るなら津波が来た地域は無人数にすべき。海岸部には高さ10m以上の堤防、避難施設が必要であると思われる。	中間案説明会
475	家が流失した所有者に対しては国で買いあげし、それをもって土地を購入し家を建てる方針。これの方が行政側も手がかからず公費の負担も少なくて済むのではないか。	中間案説明会
476	県道のかさ上げには賛成。関係機関との協議を促進して早期計画に盛り込んで欲しい。迅速な避難を誘導するため、迅速かつ正確な情報提供システムを関係機関と協議して構築してほしい。	中間案説明会
477	多重防御による堤防によって、景観を分断しないようなランドデザインを要望します。	中間案説明会
478	沿岸部の浸水が想定される地域には、幼稚園や保育園、老人福祉施設等の立地を制限すべきではないか。	中間案説明会
479	50cmでも足元をすくわれる津波に対して、2m以下は大丈夫と割り切って良いのか。線引きに段階、幅をもたせるべきではないか。	中間案説明会

480	集団移転以外に住民の安全な生活は有り得ない。被災者がより多く集団移転に賛同、早期実現するよう要望します。	パブリックコメント
481	集団移転先の土地、高額のため再建に不安を感じている方々がいる。仙台市でももう少し安い土地も集団移転先として検討していただきたい。例えば霞の目周辺や今泉周辺など。	パブリックコメント
482	津波被災地域の住居について、移転ありきの計画には納得ができない。現地再建ができるような条件を整備し計画に盛り込むべきである。	パブリックコメント
483	大規模な津波の場合は建物被害が出ることを受け入れる必要がある。その時に命が守られるための方策として避難方法や避難場所の整備をきちんと行うべき。	パブリックコメント
484	東部地区町づくりとして意見を聴取していながら、その検討がされたのか？住民意見をどの様に反映させたのかしっかりと報告する義務が、あなた方にはあります。	パブリックコメント
485	集団移転ではあまりにも時間がかかるため個人で希望の移転地に移転する予定である。補助金や利子補填等を行って欲しい。	パブリックコメント
486	集団移転だとあまりにも期間が長いので他の土地に移転することにしが資金がない。負担軽減のため、利子の全額負担と土地購入補助金を支給してほしい。	パブリックコメント
487	どうして1000年に1回の津波で、建築制限がかかり集団移転になるのかわからない。防災施設の整備、防災意識の向上等によって自己責任のもと現地再建は可能ではないか。	パブリックコメント
488	現地再建が本来の復興ではないですか？整備するために税金を使い、企業を誘致して税金を徴収し財源を作るとしか思えない。もっと親身になって住民の気持ちを考えたら、こんな適当な話は無い。	パブリックコメント
489	海岸公園に小学校のような建物が3つ位建ったら人名は助かる。数百年に一度くる津波への対策に地域が分断されるデメリットとのバランスに疑問。あまり離れない所を考えていただきたい。	パブリックコメント
490	防風林の松の木も20年経てば風除けになります。荒浜は引き波が無く、地震にはとても強いです。あの地震の揺れで建物は一戸も壊れなかった。私は荒浜の近くに住みたいです。	パブリックコメント
491	防風林の松の木も20年経てば風除けになります。荒浜は引き波が無く、地震にはとても強いです。あの地震の揺れで建物は一戸も壊れなかった。私は荒浜の近くに住みたいです。	パブリックコメント
492	是非、津波前の価格で土地を買い取っていただきたい。	パブリックコメント
493	新浜地区、南蒲生地区の東側を県道嵩上げの高さにした場合のシミュレーションも。台風15号により再度崩れた堤防は早急に本設工事し水害防止に努めて欲しい。防災無線の早期復旧も。	パブリックコメント
494	復興計画案では、始めに安全な避難ルートの策定してください。移転地域も県道で線引きをしないで緩和をお願いします。	パブリックコメント
495	津波はシミュレーションのようにはいきません。自然は生き物だから。また、同じ家族でも世帯の住所が違う為の差別があるので、その点は軽減してください。	パブリックコメント
496	もっと罹災者の声を個別に聴いて頂き対応して頂きたい。過疎化が進む地域を残せば、それこそ問題です。これからの世代の意見こそが、仙台市の発展に繋がると思います。	パブリックコメント
497	荒井地区は軟弱地盤で造成後すぐに住宅工事の着手ができないようだ。また、土地の買取、住宅建築に際し、自分に合った建物を選んでもらう方式にした方が早く街並が揃うと思う。	パブリックコメント
498	一人暮らしのお年寄りが集団移転事業で移る際、5、6人で居住可能な大部屋をつくりそこに入居してもらおう。週に2回位看護師さんに来てもらい健康面などを話し合いをしてもらいたいと思います。	パブリックコメント
499	集団移転に際し安く土地を取得したいので何卒今後のご配慮をお願い致します。	パブリックコメント
500	集団移転先の候補地が決まりましたが、代替地ではなく土地の買取りもしくは借地となることに反対です。	パブリックコメント
501	補助については、国の予算確定を待たず、大体でいいので早々に打ち上げ具体的な中身を出していたならば、住民との協議が進んでスピード感のある復興ができたと思う。	パブリックコメント
502	町内会単位ということではなく、被災程度に合わせたきめ細やかな対象地域の指定をお願いしたい。今後、移転についての何の補助も受けられないのは、不当ではないか。	パブリックコメント
503	嵩上道路を現行より東に建設する事によって更に現土地で暮らせる人が出るのでは。白鳥地区の蒲生からの津波被害軽減のため七北田川北側に嵩上道路を検討してはどうか。	パブリックコメント
504	説明会に出席したが、ホテル及び蒲生地域の商業施設に対して具体的な支援内容等を説明して欲しい。何らかの補助及びアドバイスをお願いします。	パブリックコメント
505	県道嵩上げによるアクセスの仕方は、トンネル式？登り堀式？IC式？県道のかさ上げに利用する瓦礫を福島エリアで被災した土砂を使ってコンクリートシェルターを作り道路下に埋め込むのも一案と思います。	パブリックコメント
506	移転地域の県道(亘理塩釜線)で線引きをしないで下さい。	パブリックコメント
507	移転希望者の意見を取り込んで下さい。現在より安全な移転地を希望するとともに、ある程度の税制負担の軽減等を望みます。早急に復興住宅の検討や宅地の確保に努めて下さい。	パブリックコメント
508	避難路の早急の着工と避難場所の確保を実現して下さい。9月の台風15号で新浜及び南蒲生地区が冠水し、自主的に避難した人がある。	パブリックコメント
509	墓地等の移転についての検討して欲しい。仮の仏壇や埋葬できないままでは震災で亡くなった弔いが出来ない状況です。	パブリックコメント
510	県道を堤防にする為に時間が掛かりすぎますので、むしろ個人の負担もありますが、移転して安全で安心できる地域を築きたいと考えてします。	パブリックコメント
511	防潮堤は更に安全な構造基準とするべき。二線堤方式を一日も早く推進。海辺や農地の再生、避難施設の設置等の新しい都市デザインにより、仙台市復興計画推進と早急な完成が望まれます。	パブリックコメント
512	「Ⅱ 100万人の復興プロジェクト」の事業主体が明確ではない。(国、市、民間)	パブリックコメント

513	市が公表しているシミュレーションによれば、県道のかさ上げによって、むしろ被害を増大させる地区があるとの結果が出ている。	パブリックコメント
514	県道のかさ上げによって一部の地区が危険になることは、公共の福祉のために一部の人の人権が制限されること。中止していただきたい。そうでなければ「立ち退き」と同等の保障をしていただきたい。	パブリックコメント
515	嵩上げ道路の問題点を列挙する。堤防の役割への過剰な期待。被災時に盛り土構造物の機能は保全可能か。かさ上げ道路が避難行動のブロックとならないか。低コストで効果が得られるか？	パブリックコメント
516	第一に、沿岸部で働く人のために、中層の避難ビルを建設すべきです。先ず働く人の安全・安心できる設備を造ることが必要です。	パブリックコメント
517	産業特区及び集団移転対象以外の白鳥地区に2メートル以上の嵩上げた歩道を造って欲しい。	パブリックコメント
518	歩道については有事の際はバス道路側への車移動は制限する工夫と対策が必要です。	パブリックコメント
519	白鳥地区は水害地区です。集団移転の話が出来ないなら個別対応をしてください。毎日不安です。	パブリックコメント
520	移転しか方法はない。現在のアパートを2年経過後も移転までは借上仮設として延長していただきたい。移転の希望先に関しては県道より海側に暮らしていた家屋流失世帯を最優先にしていきたい。	パブリックコメント
521	白鳥地区は仙台湾を背後にするために道路のかさ上げもできず、なすすべもない。命は助かったとしても重要な財産は失われます。誰がその保証してくれるのですか。	パブリックコメント
522	白鳥全体を建築制限にするのではなく、移転は個人の判断に任せるべき。ただ、移転には市の支援が必要。団地内でも被害の大きさが違い温度差がある。多数決で決めていい問題ではない。	パブリックコメント
523	岡田・新浜、南蒲生地区が分断しないで今まで通りの生活ができるように、防潮堤(10m規模)を築いてください。10m規模(7.2m以上)の防潮堤でシミュレーションを実施し、その結果を公開してください。	パブリックコメント
524	集団移転対象地域だが、住宅の構造による建築容認、震災前の価格での土地買い上げ等検討して欲しい。被災した方々の意見をよく聞いて、国や県に要望していただきたい。	パブリックコメント
525	かさ上げ場所を移動する方向に力を注ぐのではなく、国等からどれだけ多く補償をしてもらえるか、そちらに力を向けた方が仙台のためだと思います。	パブリックコメント
526	高層集合住宅の避難階を上部に配置し、当該住民が避難する階、一般の人たちが避難するための階などを設け、避難時に必要な簡易トイレ、水、備蓄倉庫等を設ける。住民はエレベータ・階段などを使って避難し、住民用の専用ロッカーを設け、貴重品などを収納。一般の人たちは外部の緩やかな直通階段を使って避難し、手すりを設ける。上部にはヘリコプター用のホバリングスペース、太陽光発電システムを設置し、発電した電気は、非常時は、照明、通信用・テレビ視聴用の電源とする。	パブリックコメント
527	上部に避難階を有する集合住宅の建設は、避難が容易というメリットの他に、家を失った人たちが自分だけで建設するよりも、有利に住まいを確保できる。	パブリックコメント
528	各地で計画、建設されている独立型の避難施設は、経済性を考慮した結果であると思うが、高さが不足しているように思われる。	パブリックコメント
529	津波警報発令後、全ての人が避難して、確実に人命が守られるようにするためには、避難場所(高台)、避難用高層集合住宅、津波避難施設等の配置を十分に精査する必要がある。	パブリックコメント
530	地盤沈下した地域は土盛りをする必要があるが、そのための大量の土の取得方法が大きな問題である。	パブリックコメント
531	説明会では同じ人が質問し、いかがかと思いました。地元のような立場の人の権利も考え、新生児から高齢者まで住める町にして欲しい。	パブリックコメント
532	東北大学の今村教授の教えを行政が問題視しなかったので研究の成果にも耳を傾けて欲しい	パブリックコメント
533	自分が購入したときの地価で買い取ってもらい、他の場所に移住したい	パブリックコメント
534	津波被災地に対する復興計画策定が非常に遅い。未だ被災した土地を国が買い取るのか借り上げるのかはっきりしない。自分で家を建て直したいと思って、建てられないことがある。早急な計画案が必要だ。	パブリックコメント
535	移転対象となる地域から移転する場合の費用が捻出できない。移転前の地所をなるべく高額で買いあげるなどの措置を希望する。	パブリックコメント
536	「津波から命を守る」津波防災・住まい再建プロジェクトについて、津波は何メートルを想定し、イメージ図で、それぞれの構築物の高さどこまで津波が押し寄せるのかを明記するとより分かりやすいと思います。	パブリックコメント
537	東部土地利用・港地区復興特区ゾーンについては、仙台港は単に地区としての役割だけでなく、広域な物流結節機能を要することを協調すべきと考え、追記を要望する。	パブリックコメント
538	海岸の近くで、建築制限がかかる区域を防災特区とすべき。さまざまな施設を整備すべき。人材育成の機関や企業の誘致もすべき。	パブリックコメント
539	ガレキを利用した堤防は、生態系を壊さないように配慮して下さい。また、ガレキを埋めることにより、地下水に有害物質が染み出さない工夫も必要だと思います。	パブリックコメント
540	白鳥団地住民は自立再建できる計画を策定されると思っていたので、中間案には落胆した。市は無策の上に建築制限という住民に負の負担を強いるのではなく、集団移転や重層防御の積極策を取られたい。	パブリックコメント
541	白鳥団地見捨て計画とも受け取れる。津波による人命被害を考えれば「津波の到達が遅い。」ことが何の理由になるのか。住宅が居住困難になっても市の要請する基準を満たす新築、増改築ができない場合は、転居の方法を講じなければならない。この場合、宅地価値の低下が予想され、土地売却による資金確保も困難となる。	パブリックコメント
542	中間案は七北田川南部の重層防御により一層高さを増した津波が襲来する。この場合、高砂中学校、白鳥団地も甚大な被害発生が想定される。学童や住民に不幸が生じた場合は、計画策定当時の検討状況が検証されることになる。	パブリックコメント
543	施設による完全防御が困難な場合は減災措置を講じなければならない。多賀城市は仙台港湾管理者に対する防潮堤の整備要請、企業から整備要請された従業員の避難施設整備も復興計画に盛り込んでいる。	パブリックコメント

544	中間案は大まか賛成です。特にⅡ100万人の復興プロジェクト「津波から命を守る」と先頭に持ってきていることに大賛成です。堤防とかに防災100%頼るのではなく、やはり被害にあった海岸沿いにはもう住まないことだと思います。	パブリックコメント
545	県道塩釜亘理線の嵩上げが七北田川の北側で何故とぎれているのか。白鳥地区を守る為にも塩釜方面まで延長してほしいのです。浸水マップでは以前より浸水深が増しているのに。	パブリックコメント
546	道路冠水が一向に改善されず今日まで至っている状態です。西原のポンプ場が全面稼働すれば改善されると聞いております。一日も早く稼働する事を願っております。	パブリックコメント
547	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。又、復興計画づくりは、私たち岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。災害危険区域にはしないでください。	パブリックコメント
548	復興計画の決定に当たっては、和田地区を「防災集団移転促進事業」等による事業を早期推進と、多重防御事業を施し、居住地域として指定されるよう陳情いたします。	パブリックコメント
549	避難施設は具体的に今後煮詰まってくるのか。例えば集会所を鉄骨構造の3階建てにすれば、一時避難所として十分な機能を果たし得ると思う。	パブリックコメント
550	県道の嵩上げは若干疑問がある。県道を海岸側に出来るだけ移動して新浜地区の強制移転を減らす工夫をしたら如何か？むしろ防波堤を今回の津波実績を踏まえて嵩上げする事を要望する。	パブリックコメント
551	集団移住には町内のためにも賛同するが、決められた場所(集団で希望した場所)に集団移住しなければならないのか。それに対する補助に差があるのは許しがたい。	パブリックコメント
552	県道塩釜亘理線のかさ上げ、移転の案には賛成ですが、細かい所の発表がない事で不安に思う。もっと詳しく知りたい。	パブリックコメント
553	県道塩釜亘理線のかさ上げ、移転の案には賛成ですが、細かい所の発表がない事で不安に思う。もっと詳しく知りたい。	パブリックコメント
554	集団移転促進事業について、どのようにすれば補助対象になるかを復興計画の中で詳しく説明が欲しい。仮に国の補助対象にならなくとも、市が負担するのか、住民が負担するのか明記すべきだと思う。	パブリックコメント
555	1:住宅建築の許可の出る津波浸水地域に盛土の助成金を希望。 2:塩害による防風林の枯れが始まっており、倒木の危険を避けるため、それらの木々の伐採を市で行っていただきたい	パブリックコメント
556	堤防のかさ上げと道路の盛り土が最善なのか疑問である。現状を復旧することが第一であろう。津波への対策はそれのみが自然災害ではないということも含めて対策を立てる必要がある。	パブリックコメント
557	岡田地区は人口は増えて町の活性化つながるのか？特に市街化調整地域で住宅の規制があれば、この地域は仙台東部道路から東側で仙台市から取り残されて行くのではないか。	パブリックコメント
558	是非、地下鉄の東西線を高架で岡田まで伸ばして頂きたいです、更に仙台港まで延伸し震災復興につなげて頂きたいです。	パブリックコメント
559	県道の嵩上げと集団移転は岡田学区全体の問題。上岡田、下岡田地区への住民説明会を。企業誘致は岡田地区衰退後のシナリオと思っている。地区に残る人、やむなく離れる人の2つの案を提示願いたい。	パブリックコメント
560	道路を嵩上げするなら農道、貞山堀堤防も嵩上げするのが最善策と考える。防潮堤も更に高くしてそれらを考慮した津波浸水シミュレーションの結果を再度公表して欲しい。	パブリックコメント
561	県道嵩上げは地区を分断するためを再度検討していただきたい。地区民が安全に暮らせる方策を検討し、安全な方法を探り当てるまでシミュレーションを繰り返して欲しい。	パブリックコメント
562	職任分離で通勤農業など年配者でなくても無謀なことは明らかです。再検討後に全体会での回答を望みます。	パブリックコメント
563	移転は全く考えていない。委員の方は再建に向かおうとしている地元(現場)を隅々まで見て、直接意見を聴いてから、『絆』を引き裂かないような計画を策定してください。	パブリックコメント
564	集団移転の対象地区ではないが子供を持つ親として違う場所に住みたい。海岸沿いが減災対策が整うには数年かかるのに、今の状況で被災した自宅に戻るのには自殺行為だ。	パブリックコメント
565	県道塩釜亘理線以東の新浜地区及び南蒲生地区の集団移転一辺倒の仙台市震災復興計画(中間案)に断固反対する。	パブリックコメント
566	また県道塩釜亘理線の現ルートでの嵩上げではなく我が町内会等が要望してる新浜地区及び南蒲生地区が存続出来るような堅固な第二の堤防を構築してもらいたい。	パブリックコメント
567	海岸沿いに設ける丘について、避難方向、障害者の利用、備蓄、平常時の利用など具体的な検討を。	パブリックコメント
568	2m以下の浸水の可能性のある地域については、浸水したとしても主要な構造部にダメージを受ける事が無く、2階に避難できる構造の住宅を建築するように促す。	パブリックコメント
569	コンクリート構造の堤防嵩上げは景観面、財政面に影響が大きい。杜の都仙台にとっての減災都市構造の大きな柱として、「緑の丘陵による防潮堤」を明確に位置づけ、積極的に取り組むべきと考えます。	パブリックコメント
570	被災者自身が現地再建か移転するかを判断するため、今回と同クラスの津波の再来を想定した浸水深の見直しを大至急行う。手順を前後して被災地区に建築制限をかけることは、厳に慎んで欲しい。	パブリックコメント
571	中間案にある「住宅の新築、増築を禁止し、より安全な西側地域への移転を促進」の手順は、以前説明を受けたものと違う。容認できないので、強く見直しを求める。	パブリックコメント
572	県道かさ上げによって、第二の防波堤の役割を持たせるという考え方に賛成です。完全な防御は難しいため被災住宅の移転先は、盛土が基本になるものとする。	パブリックコメント
573	移転先は、仙台東部道路付近まで拡大することが望ましい。安全面を最優先に土地区画整理事業による宅地と農地の入れ替え、宅地形状、盛土高などを検討していくことが考えられる。	パブリックコメント
574	津波に負けない市街地を形成するために、三陸のリアス式海岸地域では高台への移転が基本になるでしょうが、貴市のような平野部にあつては、まったく違う発想の津波対策が必要になるでしょう。	パブリックコメント
575	東部地域の住まい・生産の再構築に関して説明会等での議論、要望に充分耳を傾け、意欲ある復旧・復興への歩みへの市当局の積極的支援を望みます。	パブリックコメント
576	六郷・七郷・岡田地区は道路や河川に囲まれ水害が懸念される。排水機能の飛躍的開発検討、設置が望まれます。	パブリックコメント

577	単発的なシミュレーション結果だけではなく、予想される諸問題や各地域での集団移転プランも十分に加味し、一日も早く総合的見地から提示して欲しい。	パブリックコメント
578	減災を基に住み続けるしかない。岡田地区の農地、住宅地は仙台市の未来のためにも、多大な利益を生むと思います。	パブリックコメント
579	浸水深を2m以内を「自宅が流失しない」基準とする考え方は、人命を第一にする防災とは言えず再検討が必要。自宅に戻る人が増えていることから早い段階での避難道路の整備が求められる。	パブリックコメント
580	さらに浸水深2mを超えてきた地区に通学路があるのも危険です。津波の際に通学途中の子供の命が守れるよう、通学路のかさ上げも必要だと思います。	パブリックコメント
581	移住先の土地について、入居戸数、都市計画、コミュニティ等、移転をすることになる人たちに先の見えた説明があれば、よりスムーズに移転が可能になるのではと思った。	パブリックコメント
582	移転アンケート提出に関し、土地の価格などの現状が何もわからないままでの提出は困難に感じる。	パブリックコメント
583	移転に際し土地の価格設定や支援策など負担を軽減する方策を検討して欲しい。集団移転と現地再建の選択肢があっても良いのではないかと。	パブリックコメント
584	仙台市では環境負荷の少ない公共交通を軸とした機能集約型都市への転換を進めているので、税金の減免などによって都市機能が充実している地域へ人口を集約する方策を検討できないのでしょうか。	パブリックコメント
585	避難エリアに向かう道が渋滞しない方法や、東部道路に緊急時利用できる工夫など車を逃がす発想も必要ではないか。	パブリックコメント
586	移転を希望し、宅地や農地の処分を考えているが、避難所としての活用も、検討の一つとしていただければと考えている。	パブリックコメント
587	移転を希望し、宅地や農地の処分を考えているが、避難所としての活用も、検討の一つとしていただければと考えている。	パブリックコメント
588	県道を境界とした危険区域の設定は納得がいかない。堤防や避難施設の整備によって地域住民とそこで働く市民の安全を守るとともに利便性を向上することで地域の復興につなげることも可能では。	パブリックコメント
589	今回の津波シミュレーションについて、発注内容・委託内容や精度等への疑問、要望がある。	パブリックコメント
590	県道かさ上げの根拠を示してほしい。地区へのダメージを考えると県道東側の農道かさ上げが第一。その上で、移転も合わせて検討すべき。もう少し地元の人間の気持ちを汲み取るべき。	パブリックコメント
591	様々な万全の防災対策・安全対策を講じた場合のケースでシミュレーションすべきと考える。	パブリックコメント
592	防災集団移転事業を今回の大震災に当てはめて適用しようとする中間案に反対。被災者の支援にあたっては、より実態にあった、被災者住民の意見を尊重した、視野にたった形での対応が必須だ。	パブリックコメント
593	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。復興計画づくりは、岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。仙台市の復興の考え方に賛成。	パブリックコメント
594	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。又、復興計画づくりは、私たち岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。今まで通り安全な生活が出来る様考えて。移転はするつもりはない。	パブリックコメント
595	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。復興計画づくりは、岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。以前の暮らしがしたい。新浜の信号機の設置、排水対策を要望する。	パブリックコメント
596	旧宅地売却で移転先の宅地が入手できるよう要望する。この願いが叶わぬのであれば、旧地の建築制限に反対です。	パブリックコメント
597	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。復興計画づくりは、岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。	パブリックコメント
598	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。復興計画づくりは、岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。	パブリックコメント
599	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。復興計画づくりは、岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。この場で住むことしか考えられない。	パブリックコメント
600	現地再建を前提とした減災施設の整備を望みます。復興計画づくりは、岡田の住民と十分な話し合いを行いながら進めてください。私の住む所はこしかありません。	パブリックコメント
601	もとの場所に住みたいという気持ちはわからなくはないが、同じ事をくりかえさないため復旧ではなく復興のために大規模再開発が必要と思われる。	パブリックコメント
602	住みなれた場所に戻りたい方もいると思うが、津波から守るため、地域集団での高台移動が基本。ただし、居住地と働く場所が必要。	パブリックコメント
603	防波堤、防潮堤も津波の威力を減らすのに効果があるので、再構築が必要。避難用のタワーや高層ビル、かさ上げた道路、線路で、防災に配慮した復興が必要。	パブリックコメント
604	避難場所として、30階位のビルを市内10ヶ所に建ててはどうか。普段は商業施設に利用すれば良い。	パブリックコメント
605	津波に対する防護として、平野での間隔を持って高い場所(道路、山、ビル)を作り安心して避難できるようにする。	パブリックコメント
606	津波対策は高台移転と東部道路の高さ並みの防波対策が必要	パブリックコメント
607	公益交通～高速道路網の沿岸地区の完備	パブリックコメント
608	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
609	荒浜での居住継続を希望。12月議会での条例案提案は早すぎるため、もっと検討期間を設けるべき。	パブリックコメント

610	東部道路から海側の強制力をもって地域移転対象としてはどうか。	パブリックコメント
611	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
612	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
613	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
614	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
615	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
616	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
617	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
618	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
619	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
620	耐津波堤防の整備、貞山堀の内側は海面+8mの盛土と低地の盛土。	パブリックコメント
621	海岸の住居は中層集合住宅とする。	パブリックコメント
622	漁港は盛土による高地化をはかり、5分間退避を可能とし、またLRTなどの軌道交通を整備する。	パブリックコメント
623	道路堤防は十分な幅が必要。造成地と市街地の連結に注意してほしい。	パブリックコメント
624	高さ20m、幅60mの堤防を作るべき。	パブリックコメント
625	岡田地区での居住継続要望	パブリックコメント
626	海岸線の堤防について、貞山堀の海側に台形台地、貞山堀を排水溝としての利用、幅の明記などを行うべき。初めには海岸線の堤防の建設を行い、内陸部を守るべきであると思います。資金があれば高台の建設や県道互理線の嵩上げ工事等を行うべき。	パブリックコメント
627	被災地は、先祖伝来慣れた土地・屋敷である。千年に一度、あるいは二百年に一度の災害のために、その土地をあきらめ集団移転を実施する事について再検討を要望する。	各界各層・有識者調査
628	津波対策の堤防のかさ上げとともに、沿岸には避難する高い所があまり無いので何箇所か設けて欲しい。	各界各層・有識者調査
629	移転先地である、西側地域(市街地区域内:東部道路西側)周辺には陸上自衛隊震目飛行場が所在しており、ヘリコプターによる騒音について、住民に対して説明する必要がある。	各界各層・有識者調査
630	地震災害での死者は皆無であることから、津波の防災対策を講じ、復興を遂げた時、仙台市は全国・世界でも有数(一番)の安心・安全で住みよい街を形成して欲しい。	各界各層・有識者調査
631	県道塩釜互理線のかさ上げについて、現行の県道塩釜互理線を原則としつつも、岡田新浜中通り付近から県道は西に蛇行しているので、これを北にまっすぐに道路位置修正を要望する。	各界各層・有識者調査
632	白鳥地区について、移転を希望する方がいるかもしれないので、集団移転と遜色ない手当を要望する。	各界各層・有識者調査
633	東部土地利用について、地区復興特区ゾーン、農と食のフロンティアゾーン、海辺の交流再生ゾーンにそれぞれ地域化することについて賛同します。	各界各層・有識者調査
634	集団移転について、従前の土地と引き換えに移転先の土地を確保できるという手法が必要。移転候補地は既存の土地区画整理地に限らず候補地とし、各地域の住民自身の考えでまちづくりをして行けるように配慮して欲しい。	各界各層・有識者調査
635	集団移転について、宮城県災害復興支援士業連絡会などの専門家団体と仙台市が協力関係を結び、住民と行政をつないでいく橋渡しの役を担ってもらおうという活用が考えられる	各界各層・有識者調査
636	『津波から命を守る』津波防災・住まい再建プロジェクト』について、「がれき等災害堆積物を適正に処理した盛土材を活用して…」という丁寧な解釈をした方が良い。	各界各層・有識者調査
637	東部道路西側で河川氾濫した際は、東部道路のように立体交差によるボックスがあるため拡散はするが浸水深が浅く済む。県道にボックスは考えているのか、考えていれば河川氾濫時のことも踏まえどこかにその旨の記述があると良い。	各界各層・有識者調査
638	『津波から命を守る』津波防災・住まい再建プロジェクト』について、「安全な住まいの確保」の説明文中における「一定程度の津波被害の危険が想定される地区」はどのレベルの時のか不明。	各界各層・有識者調査
639	「津波防災施設イメージ図」内の最大クラスの津波にも千数十年に一度…等の説明を入れた方が良い。平面図内の藤塚地区の表示では現況2-7区間をP7. 2mまで嵩上げする計画と解釈される懸念がある。海岸堤防と藤塚河川堤防が防護施設となっているが、井土浦前面の海岸堤防(県漁港所管)を明確にして頂きたい。	各界各層・有識者調査
640	「図3 東部土地イメージ」は、「図1」と比べると藤塚堤防の堤内側も「海辺交流再生ゾーン」内に含まれており、蒲生干潟のように細長い範囲にきちんと明記した方が良い。	各界各層・有識者調査
641	集団移転は基本的人権の問題を含むため、集団移転に参加しない、対象とならない被災者への支援策を講じるべき。	各界各層・有識者調査

642	沿岸地域など、丘陵地区以外についても、独自の支援策を講ずることを要望する。	各界各層・有識者調査
643	防災林の機能回復までの代替策を検討すべき。津波の激しかった地域は、松島の事例を参考に、人工の防災島の設置を検討してほしい。	各界各層・有識者調査
644	かさ上げした県道へ海が見える道の駅の設置、海岸堤防やかさ上げ道路への土構造の採用、道路と同じ高さの防災施設等、東部道路へ災害専用乗り入れ口等の対策の検討をして欲しい。	各界各層・有識者調査
645	背後地地区に侵入した水を吸収してから排水する水路・堀等の構造物により七北田川や海に逃す手法の検討。既存の遊水地等の施設の考え方が利用できないかの検討。	各界各層・有識者調査
646	移転対象外の浸水区域の住宅を1階部分を鉄骨かRCの柱のみのピロティ形式にする住宅形式の検討。それに伴い、住宅モデルの開発も市が中心となって施策を推進することも考えてほしい。	各界各層・有識者調査
647	海岸防潮林の内陸側に公園を設置する計画にしているが、冒険広場のような作り方をすると、津波の通り道になるのではないか。資材は何処に求めるのか。	各界各層・有識者調査
648	復興計画案の問題点として、被災地の宅地の代替、被災地地の今後の利用方針が無い。行政の立場からみた場合、強制力が無い。	各界各層・有識者調査
649	海岸堤防の嵩上げは、景観面でも財政面でも大きな負債を後世に残すことになる。土と石で築かれた丘陵に根の強い木を植えれば、維持コストのかからない自然堤防となる。	各界各層・有識者調査
650	県道塩釜線より東のエリアは地図はわかりやすいが、全体のイメージが分かりにくい。	各界各層・有識者調査
651	港地区復興特区ゾーンに対しての津波対策とはいかなるものか明記する。	各界各層・有識者調査
652	津波の被害を除けば、これまでの対策の効果はあったと思う。今後は想定とする基準そのものを見直して、あらゆる被害を最小限におさえるように。	各界各層・有識者調査
653	仙台平野は夢のあるプランが描ける大きな可能性も開けている。特区などを生かし世界に開いた、知恵と人材とお金を集める取り組みを市として率先して推進してほしい。	各界各層・有識者調査
654	減災の基本に賛成。ただし、大雨が第二の防波堤としてかさ上げされた県道塩釜亘理線でせき止められないような対策が重要。	各界各層・有識者調査
655	蒲生北部地区の被災地の土地利用の検討や都市基盤整備に際しては、構想段階から民間の情報・アイデア・資金を有効活用して進めると良い。	各界各層・有識者調査
656	県道より東のエリアは、農業以外の新たな産業・事業用地として活用することも考えられ、復興特区の活用等、国と協議しつつ検討・実施することが必要。	各界各層・有識者調査
657	県道塩釜亘理線の単純なかさ上げではなく、東側の市道を七北田川右岸まで延長し、かさ上げて欲しい。	その他(陳情、要望等)
658	貞山堀の東側に防潮堤を設置してほしい。	その他(陳情、要望等)
659	七北田川右岸の決壊した堤防については、早期かつ本格的な復旧を県に申し入れてほしい。	その他(陳情、要望等)
660	災害危険区域の指定をし、集団移転を勧める方針を固め、建築基準法第39条の適用をかけることに対し、断固として反対する。	その他(陳情、要望等)
661	岡田地区に海岸防潮堤、貞山運河をはさみ海岸防災林、丘(公園)、高さ10m、幅100m位の堤防を作してほしい。	その他(陳情、要望等)
662	新浜、南蒲生地区に、七北田川右岸まで防潮堤をまっすぐ造り、七北田川堤防と合わせ整備してほしい。	その他(陳情、要望等)
663	移転希望者には、岡田地区に土地を造成し、住宅の移転、集約化を図ってほしい。	その他(陳情、要望等)
664	地下鉄東西線を荒井から延伸してほしい。	その他(陳情、要望等)
665	仙台湾南部海岸(仙台湾海岸区域)の井土浦地区に建設する海岸堤防(防潮堤)については、海岸線沿いに名取川河口まで延ばしてほしい。	その他(陳情、要望等)
666	岡田地区について、当面、一律に災害危険区域の指定を行わないでほしい。	その他(陳情、要望等)
667	先進の防災・減災都市を目指し、津波再来に備える取り組み	その他(陳情、要望等)
668	荒浜海岸の防潮堤、丘陵公園地帯、亘理塩釜線の盛土の早期実現	その他(陳情、要望等)
669	解体した家屋跡地の新築条件の早期提示、移転する場合の買い上げ条件の提示	その他(陳情、要望等)
670	仙台港背後地土地区画整理事業地内への集団移転を強く望む	その他(陳情、要望等)
671	防災集団移転促進事業について、代替地の提供をしてほしい。	その他(陳情、要望等)
672	住宅再建したいが移転場所を早く決定してほしい。	その他(陳情、要望等)
673	津波で流された土地を従前の価格で買い取って欲しい。	その他(陳情、要望等)
674	被災地区における沈下地盤のかさ上げ修復を早急をお願いしたい。	その他(陳情、要望等)

675	特に東部地区における土地利用計画、ランドデザインの工程表をできる限り早期に明らかにし、事業者の視点が反映されるよう要望する。	その他(陳情、要望等)
676	荒浜住民の約9割が荒井地区への集団移転を希望している。	その他(陳情、要望等)
677	家を失った地域の移転先は地域ごとに秩序あるものにしてほしい。	その他(陳情、要望等)
678	沿岸部だけでなく、内陸部でも地震による被害が出ているのではないか。	東部地域まちづくり説明会
679	国の支援制度の対象とならない宅地の復旧について、市独自の支援制度を検討すると言っているが、団地造成の場合、莫大な費用がかかるが助成は可能なのか。	中間案説明会
680	南光台地区の造成を宅造業界に丸投げした結果が今日の被害を招いた。国、自治体、財界、金融が補償責任を持つべきと考える。	中間案説明会
681	地盤が陥没し家が傾いたため、市に救済を求めたが大規模な所が対象との回答だった。救済の基準を聞かせて欲しい。	中間案説明会
682	西花苑の崩落地については、これまでの説明会等で何回も要望していたが、なかなか対処できない理由がわかった。予算がつき次第早急に対処して欲しい。	中間案説明会
683	崖崩れ対策の特例(国交省)が新聞記事に載っていた。仙台市としての見解を聞かせて欲しい。	中間案説明会
684	津波被害がクローズアップされているが、内陸の被害についても手を差し伸べるべき。	中間案説明会
685	人來田地区の宅地再建には時間を要するため、仮設住宅(無料期間)を延長して欲しい。復興計画が5年、10年で考えているならなおさら医療、賃貸住宅はもっと長く無料にすべき。	中間案説明会
686	宅地被災となった地域で、国の制度に合致しない際の市独自の制度、対応について早急に対応すること。	中間案説明会
687	主に泉中央地区は田地の埋立てが多く、新建築基準法で対応したにも拘らず、被害が多かった。地盤改良をすべく推進していただきたい。	中間案説明会
688	盛土造成地の被害は行政の責任ではないか。法面と市道等が完全な強さを持っていれば宅地・家屋に被害はなかったと考えられる。家屋・宅地の再建時期を考えると仮設等の入居期限に問題がある。	中間案説明会
689	被災規模に関わらず平等に支援して欲しい。市長の話では国としての概要がまだ出ていないとのことだが、被災しているのは我々市民です。それを十分にアピールしてほしいです。	中間案説明会
690	宅地の復旧に関する支援制度について、一部とあるが、大部分が半額を助成する制度が必要。被災者はどうにもなりませんので強く要望いたします。	中間案説明会
691	丘の造成団地の地盤の状況(切土、盛土)を公表してほしい。地盤強度の測定結果があればもっと良い。	中間案説明会
692	ポイントがわからない。泉区は宅地です。要望を出し、中間報告があったが、まったく不十分なもの。早急に打合せしたい。	中間案説明会
693	丘陵部宅地被災について、造成を許可した行政の責任は重い。法、条例を見直し、地盤や地下水等の詳細な情報の蓄積と対応、水系を大切にしたい。仙台市の姿勢を明確にして案に入れて欲しい。	中間案説明会
694	当地区でも多くの宅地被害が出ているので、沿岸部同様の対処をお願いします。被害住民の要望を最大限取り入れ、被害者の立場に立って最大限の努力をお願いしたい。	中間案説明会
695	高野原2丁目では震災後、比較的早期に道路復旧工事が発注されました。宅地災害復旧に対するプランはペンディング中です。強化復旧案の策定と道路工と合わせた合理的な対策を要望します。	中間案説明会
696	市街地宅地再建プロジェクトについて2項目とも大変結構なことと思う。危険宅地情報提供を徹底してほしい。	中間案説明会
697	国の3次補正による財源の確保見合いで、市の具体的な支援策が11月以降示されると聞き、具体的な支援策に期待したい。	中間案説明会
698	宅地被害について、これからも官民一体で復旧していくよう強く願っている。	中間案説明会
699	地すべりを起こしている地域など建築許可の出し方、多方面の知識を集めて検討して欲しい。想定外という言葉でまとめるべきではない。危機管理能力が不足している。潜在危険をおさえるようにしたい。	パブリックコメント
700	「安全な住まいの土台をつくる」市街地宅地再建プロジェクトについて、仙台市が率先して実施する前向きな姿勢が大事と思う。宅地再建と宅地確保は、同次元の課題であり平行して実施する必要がある。	パブリックコメント
701	大きく南北に蛇行している川は全国的今回の宅地災害に関係している様です。学術的調査はあるのでしょうか。	パブリックコメント
702	青山二丁目地区一帯の宅地復興を最優先でやっていただきたい。丘陵地帯の個々の全壊家屋の家庭も被害甚大。自力で自宅再建できる最大限の助成をお願いしたいと思います。	パブリックコメント
703	宅地被害が生ずる可能性のある宅地造成を規制し、造成して売却した側の責任も明確にして欲しい。国に働きかけると同時に、仙台市独自の条例などの整備をお願いします。	パブリックコメント
704	丘陵地区・古い造成団地・マンション被害への対応について、市としては、国の案が適用されない市民に補充支援を提示し、国・県への大胆な提案を住民の声を踏まえて市独自のものとして提示すべき。	パブリックコメント
705	住宅地の造成をする時に埋立地や地盤の軟弱なところに家を建てないようにすべき。新しい宅地については人工的な街並みにならないようにして欲しい。	パブリックコメント
706	住宅の造成販売に対して切土と盛土を詳しく説明させることを、行政指導すべき。既に危険な場所に建っている家について市から補助金を出しても転居を勧め、今後の建築許可は厳しく指導すべきである。	パブリックコメント
707	宮城県沖地震で問題となった地滑り地区等が再び問題になっているところが多くみられる。津波被害が中心となることが、都市づくりはコンパクトに。	パブリックコメント

708	土止め補助の高さ制限をなくして欲しい。	パブリックコメント
709	宅地被害について、地域地盤状況の把握できる地図の配布、契約時での土地の状況の開示、危険な土地に緩衝地帯を設けることを検討すべき。	パブリックコメント
710	震災から7ヶ月経ったが、緑ヶ丘では今尚地滑りが止っていない。復興計画に於いて、具体的計画的行程をしっかりと示し、住民に安心感を持たせてもらいたい。	各界各層・有識者調査
711	宅地の復旧は個人負担が原則だが、被害が大きい場合は国の援助も考えて欲しい。	各界各層・有識者調査
712	宅地被害について、自己負担が原則であるが、負担が難しい世帯もあるので、国の支援が得られるよう働きかけるとともに、市独自の支援も検討すること。	各界各層・有識者調査
713	宅地被害について、自己負担が原則であるが、負担が難しい世帯もあるので、国の支援が得られるよう働きかけるとともに、市独自の支援も検討すること。	各界各層・有識者調査
714	被災宅地の復旧を推進とあるが、移転が原則ではないか。	各界各層・有識者調査
715	造成地における地盤被害は、過去の宮城県地震でも経験したが、なぜ今回も被害が大きかったか検証し経験を生かした対応を期待する。	各界各層・有識者調査
716	市の耐震診断の補助等の成果をアピールし、これまでの取り組みをより徹底することは今後の防災対策の柱の一つになると思う。補助金などを投入して宅地を復旧することが妥当かどうか、もっと議論する必要がある。	各界各層・有識者調査
717	宮城県沖地震のときと同じ地域が被害を受けている。土地や家を購入・賃貸する際に災害履歴、造成内容を閲覧できる窓口が必要では。	各界各層・有識者調査
718	甚大な被害の認識を国に求め、宅地被害の支援策の充実を求める。	その他(陳情、要望等)
719	住宅地の救済策を確実にし、市民生活の安全を確保する取り組み	その他(陳情、要望等)
720	地すべり地区への確実な復旧対策の実施	その他(陳情、要望等)
721	宅地被害への救済・復旧策として、公共工事として行う復旧工事の制度緩和と被災者が行う復旧工事への助成制度の充実を国に重ねて求めること。	その他(陳情、要望等)
722	中越地震の際に新潟県が行った助成制度を見習い、同様の制度を宮城県と市でつくること。	その他(陳情、要望等)
723	宅地に対する支援制度を創設するように国や宮城県に求め、仙台市独自の支援策を講じてほしい。	その他(陳情、要望等)
724	宅地に対する支援制度の創設と仙台市独自の支援策を実施してほしい。	その他(陳情、要望等)
725	宅地に対する支援を国に強く要請するとともに、市独自の支援制度を創設してほしい。	その他(陳情、要望等)
726	心のケアや生活再建、雇用支援などは具体的にどのようなことを考えているのか。	中間案説明会
727	「一人ひとりの暮らしを支える」生活復興プロジェクトにある、誰もが安心できるきめ細やかなケアは大事な活動支援なので、きめ細かな展開をお願いします。	中間案説明会
728	大震災の想定のもと、宅地の適応性を業者、個人に対して提示する制度を設けてもらいたい。一人の市民として、被災された家屋修復するか、引っ越すか、若干の支援だけでは困難である。	中間案説明会
729	復興公営住宅には、地すべり被害のあった丘陵地からの入居希望者も考慮に入れるべき。斜面に盛土をした区画の被害が大きくなる特徴があった為、高台移転を再検証する必要がある。	パブリックコメント
730	「一人ひとりの暮らしを支える」生活復興プロジェクトについて、雇用の確保、創出に対する取り組みにもっと大胆な発想が必要。(エコプロジェクト、特区プロジェクトを組み合わせ、新規参入企業の誘致等)	パブリックコメント
731	宅地再建において、国の支援制度の対象とならない宅地について、仙台市が独自の支援制度を検討する場合、一部助成ではなくて全額補助とすることを求めます。	パブリックコメント
732	市民センターにおいて、地震や津波により心を痛めた人達を支えるプログラム作りなど、被災者の課題やニーズに対応する新たな事業を展開する必要がある。	各界各層・有識者調査
733	震災および津波の被害者の65%は60歳以上であることを鑑み、高齢者の住まいのあり方についての計画は必要である。高齢者を守る施設、居宅・通所事業所職員の待遇改善も必要である。	各界各層・有識者調査
734	今回の震災で家族、特に親をなくされた子どもたち、他の市町村から親族里親、養育里親として子育てをする親族、里親等の生活を支えるハード、ソフト面の支援。経済的基盤、家庭の子育て機能への支援→虐待を伴う子育ての孤立防止	各界各層・有識者調査
735	今回の震災で家族、特に親をなくされた子どもたち、他の市町村から親族里親、養育里親として子育てをする親族、里親等の生活を支えるハード、ソフト面の支援。経済的基盤、家庭の子育て機能への支援→虐待を伴う子育ての孤立防止	各界各層・有識者調査
736	『「一人ひとりの暮らしを支える」生活復興プロジェクト』の「自立に向けた多様な支援」について、「就労の困難な方」に女性特に子育て中の女性やシングルマザーなどの視点が不足しており、女性の起業化やコミュニティビジネス立ち上げの支援のための取り組みを希望する。	各界各層・有識者調査
737	一人ひとりの暮らしの再建については、地域に偏りがでないよう平等なケアをしてほしい。	各界各層・有識者調査
738	孤独死を生まない見守りとコミュニティづくりを市が責任を持って行うこと。	その他(陳情、要望等)
739	民間賃貸住宅や公務員住宅などに住んでいる被災者にも、プレハブ応急仮設住宅と同様の情報提供や支援を行うこと。	その他(陳情、要望等)

740	ほ場整備についてガレキを撤去して、水田として利用するためにはどれくらいの費用がかかるのか。	東部地域まちづくり説明会
741	農業再生、生まれ変わる必要があるが今までどうりの営農でいいのか。開発開拓すべきではないか。	東部地域まちづくり説明会
742	浪分神社とローソンの前の幹線道路の電柱が倒れました。仮復旧ということで電柱を戻してモルタルで補修しましたが、しっかり直して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
743	排水機場の復旧時期について教えて欲しい	東部地域まちづくり説明会
744	ガレキ撤去、除塩の状況を知りたい。	東部地域まちづくり説明会
745	大規模ほ場整備の予定はありますか。	東部地域まちづくり説明会
746	水田からの排水はどのように処理する予定か。深さも幅も無い。台風でもあふれた。	東部地域まちづくり説明会
747	七北田川の南側の市街化調整区域について、期間が長くなると農地における草刈等の維持管理が必要になるため早急に対応する必要がある。	東部地域まちづくり説明会
748	移転対象地区では、従来の農地を処分し、新しく求めなければ農業継続できないが、経済的負担はどうするか。もう少し手厚い保護できないか。農地の土地利用規制に震災特例は設けられないか。	中間案説明会
749	農業に関してははずばらしい絵を書いていると思う。しかし、実際は農機具等全て失っており復旧するのに莫大なお金がかかる。国の助成なりを活用して現実的な対策をして欲しい。	中間案説明会
750	大型機械の効率的運用、農地の集約化を希望します。農業のあり方として、担い手農家の育成(大規模化)、又は法人化して農業者の「やる気」を支援して頂ければ良いのでは。	中間案説明会
751	治水対策として、排水機場を修理するのではなく、自然の流れに任せた方が良い。人間の勝手な利便性から物事が進んでいるのが不自然に思える。	中間案説明会
752	「農と食のフロンティアゾーン」内での小規模水力発電の導入(なるべくエネルギーの地産地消を目指す)	中間案説明会
753	就農への助成を手厚くしてほしい。農地がありました、全て県道より海側でした。以前ほどの広さでなくてもよいので、農地購入へも優遇措置等をお願いします。	パブリックコメント
754	農と食のフロンティアゾーンをどう育てて行くかについて、従事する人が魅力的なライフスタイルであることも必要。職住近接は極めて合理性・有用性を持っており顔のある、新しい攻めの農業が出来上がる。	パブリックコメント
755	居住地域を複数の農家がコミュニティを形成できるある程度まとまった形で配置し農と食のフロンティアゾーンの“コア”とする。	パブリックコメント
756	中間案にて集団移転先候補地として挙げられている若林JCT西側地区や荒井地区は、農業を営む暮らしという視点では、移転先候補地として良いとはいえない部分もある。	パブリックコメント
757	笹屋敷～中堀南の集落周辺を農と食のフロンティアゾーンのコアたる集団移転先候補地区域内としておくことは、将来的なゾーン発展の見地から見てほしい。	パブリックコメント
758	海水を被り、使えなくなった田・畑については、塩分の浸みこんだ土壌を鋤取り塩分の無い土に置き換える、現状のまま放置し自然の雨水による塩分の除去に期待する、という2通りの方法が考えられる。	パブリックコメント
759	移転場所は住宅のそばに農地を所有し、農業経営も行うことのできる土地環境を強く希望。家族で面倒の見ることのできるこれまでの生活スタイルを考慮しながら検討して欲しい。	パブリックコメント
760	農業法人のような団体を設立し、各自の田畑を出資し、面積に応じた出来高の何割かが受け取れる形態にしてはどうか。社会保障充実によって、若者の農業への回帰と雇用促進を期待できるのでは。	パブリックコメント
761	農業者が希望をもって新しい農業経営体にも取り組める条件を早急に形成するべき。6次産業化に関しては、あくまでも地元企業、JA、農業者を主体とする組織の立ち上げこそキーポイントと考える。	パブリックコメント
762	後継者不足等の農業の抱える様々な問題を解決するべく、今後の農業に対して行政が先頭に立っていく必要がある。	パブリックコメント
763	多くの農家が経営再建できる取組みを求める。都市近郊型の農業経営を活かし、生産者の顔の見える農業の推進を支援し、消費者との交流など取り入れ、売れる物づくりの農業経営にするよう求める。	パブリックコメント
764	被災地生産品の積極的な消費。販売応援制度。	パブリックコメント
765	農業再生に向けて、農地の集約や法人化など安定した生産基盤を強化するとともに、農家の負担軽減のための支援を行うこと。また、農業従事者・後継者に配慮した「営農形態」を盛り込んだ計画を示すこと。	各界各層・有識者調査
766	「『力強く農業を再生する』農と食のフロンティアプロジェクト」の「都市近郊農業の展開」について、女性や高齢者の参画という視点をプラスすることを希望します。	各界各層・有識者調査
767	大規模ほ場整備、農業法人、民間資本に小規模に営んでいる農家が参画できるような支援体制の検討。若林区の井土地区等、各地域ごとの内水処理も含めた、一体的な計画の検討。	各界各層・有識者調査
768	計画が着実に実行され、力強い農業が実現されることを切に願う。	各界各層・有識者調査
769	農業の効率化は避けて通れない事ではあるが、水田地帯の動植物相の維持が見られるようだとよいと思う。	各界各層・有識者調査
770	農と食のフロンティアゾーンの一部に、生物多様性に配慮した農業と生物が共生できるような農地作りをしてはどうか。	各界各層・有識者調査
771	6次産業化の促進について、農業の高付加価値化や高度化の促進は重要な視点であり、具体的なプロジェクト形成も含めた取り組みを。	各界各層・有識者調査
772	自然災害で大きな被害を受ける農業への速やかにフォローできる体制はあるのか。	各界各層・有識者調査

773	農業については、休耕田などについての検討をし、公平に進めてほしい。	各界各層・有識者調査
774	岡田地区は極めて優良な農地であり、農地を転用することなく、農地として再生してほしい。	その他(陳情、要望等)
775	農業者の経営基盤支援策、農業従事者の雇用確保	その他(陳情、要望等)
776	農地や農機具の確保策支援、付加価値を生む先進農業の育成策	その他(陳情、要望等)
777	農地の規模拡大化(1ヘクタール)支援策	その他(陳情、要望等)
778	多様な担い手の育成や新規農業参入者と高度な生産技術化の取り組み	その他(陳情、要望等)
779	生産施設と一体となった6次産業化により高付加価値化や収益力向上の取り組み	その他(陳情、要望等)
780	水田の大規模ほ場整備と作付け可能畑の早期実現	その他(陳情、要望等)
781	農地再生までの間、農家負担の経常経費について、土地改良区の運営が困難となるので、これに係る応分の助成をお願いしたい。	その他(陳情、要望等)
782	立派ないぐねの活用も仙台市に考えてもらわなければ、和田新田地区は余りにも可哀想。	東部地域まちづくり説明会
783	「防災林・蒲生干潟の再生」について、台風で干潟がなくなっているという状況を聞いたが、対策はどのように考えているのか。	中間案説明会
784	海水浴場については、名古屋のNPO法人が七ヶ浜に入っており、来年の夏にはなんとか海水浴が出来るよう活動している。	中間案説明会
785	「美しい海辺を復元する」海辺の交流再生プロジェクトについて、岡田地区(南蒲生地区)に楽天のドーム球場やサッカー場を誘致して商業地域として発展につなげて欲しい。	中間案説明会
786	海岸の防波堤や公園の丘等に植林に協力したいと考えております。六郷、七郷のNPOとぜひ参加したいと考えております。震災復興計画に植樹で参加します。	中間案説明会
787	海岸、河川の自然環境保全と一体化させたレクリエーション施設の整備、広瀬川近くのコンベンション誘致によって、海岸や河川の自然を破壊しないでほしい。自然のままの海岸線、河川にこそ価値がある。	中間案説明会
788	防潮堤は必要であるが、人が行かない町にしてはならない。若林区の復興は津波の海水浴場と貞山堀の復興につける。国から予算をいくらかひき出すかは行政の力であり、全力で取り組んで頂きたい。	中間案説明会
789	海岸沿いの植林は来春にも出来るよう土盛を急いで欲しい。私達も地域も上げて関わりたいと思います。	中間案説明会
790	海がなくなる訳なので、内陸部に海水プールをつくる。	中間案説明会
791	沿岸部は被災地一律の海辺の景観の中に「場所の個性」を活かすような計画をお願いいたします。	中間案説明会
792	沿岸部の再生で、野球場等の施設を整備する予定だが、利用者は見込めるのか。利用が見込めないのであれば維持費がかかるような大きな施設を作る必要はない。	中間案説明会
793	大量に発生したガレキの処理に関しては、海岸沿いに大きな穴を掘ってガレキを捨て、その上部は、長年にわたって公園等として使用し、構築物は作らないようにする。	パブリックコメント
794	大量に発生したガレキの処理に関しては、海岸沿いに大きな穴を掘ってガレキを捨て、その上部は、長年にわたって公園等として使用し、構築物は作らないようにする。	パブリックコメント
795	「美しい海辺を復元する」海辺の交流再生プロジェクトは真に、自然環境の再生をしていただきたいと願います。	パブリックコメント
796	海岸公園冒険広場を早期に復活させて欲しい。子ども達が被災から学んだ教訓を自分のものとする場所にもなり、防災人づくりの拠点ともなると考える。	パブリックコメント
797	海岸公園冒険広場を施設内で一番初めに再開できるような計画を作って欲しい。冒険広場は憩の場や仕事の場でもあり、海岸地域の復興に向けてシンボルの一つにもなり得るのではないかと。	パブリックコメント
798	人が多く集まる施設については、災害時の避難方法などを徹底し、平常時の施設利用についても十分に検討したうえで、海岸沿いの土地を多くの面で有効利用をして欲しい。	パブリックコメント
799	海岸冒険広場の早期の復旧を望みます。復興へ向けてレクリエーション施設という認識でとどまらず、子どもを育む拠点として位置づけてほしい。	パブリックコメント
800	交流再生プロジェクトでは、一番初めに「海岸公園冒険広場」の再開に取り組んでほしい。	パブリックコメント
801	冒険広場の早急な再開を求める。人材育成の面では地域防災リーダー育成や、子ども達の防災力を習得するための学校教育を冒険広場が担うなど、生活の中にある公園づくりを望んでいる。	パブリックコメント
802	海岸公園に関しては現状の復旧も大切なことだと感じますが、広島市の平和公園のような環境共生と心の平和を祈る公園になってほしいと感じています。	パブリックコメント
803	津波が来ても海岸公園冒険広場のような細長い丘で、東西を結ぶような立体的ないぐねの道を、防災と環境共生を備えた場として数か所整備できればと感じている。	パブリックコメント
804	「貴重な自然環境である蒲生干潟や井土浦の再生など」、再生されることが約束されたような記載になっている。震災等の影響により元通りにならないことも含めて考えられる記述とした方がよい。	各界各層・有識者調査
805	“貴重な自然環境である蒲生干潟や井土浦の再生など”、再生されることが約束されたような記載になっている。震災等の影響により元通りにならないことも含めて考えられる記述とした方がよい。	各界各層・有識者調査

806	津波被害を軽減した沿岸域でのイグネの再生は重要で、そのためには補助が必要。海岸林の林帯幅を広くし、内陸部ではケヤキ、タブ、イタヤカエデなど自然植生との混交をはかるなど、長期的な管理に耐え得る森林をつくった方が良い。	各界各層・有識者調査
807	海岸域では、何よりも先ず「海岸エコトーン」という視点を常に基盤におくことが得策と考える。	各界各層・有識者調査
808	「美しい海辺を復元するエリア」について、2つの視点を導入することを条件に賛成する。	各界各層・有識者調査
809	自然環境に熟知している人材を中核とした支援組織を早急に立ち上げ、提言の策定を依頼することが得策と考える。	各界各層・有識者調査
810	その土地本来の海岸環境特性をきちんと読み解き、自律的復元を尊重しながら、一方で時間をかけて最小限の措置を順応的に講じる視点・取り組みが有効。	各界各層・有識者調査
811	県や国との情報共有・連携が不可欠であり、また、市民はじめ国民・各国の国民とどのように結びつきを深めてゆくのか、具体策の検討が必要。	各界各層・有識者調査
812	今回の復興計画では、より原生的で、貴重ともいえる砂浜や潟湖、内陸側の湿地の保全についての配慮が欠落しているように思える。	各界各層・有識者調査
813	「海岸防災林」という呼称は、適切とはいえない。また、地域特性に応じた、地域住民の参加による、丁寧な復興プロセスを実現いただきたい。	各界各層・有識者調査
814	蒲生干潟や井戸浦について、自然の成り行きを基本に据えた対応を構築することが妥当と考える。	各界各層・有識者調査
815	既存のスポーツ・レクリエーション施設の復旧として、箱物ではなく、自然のちからと市民のちからを融合させた自然環境そのものを創出することが得策と考える。	各界各層・有識者調査
816	来訪者の安全確保に向けて、生態系に配慮しながら災害時の避難施設・避難路の確保を図る。	各界各層・有識者調査
817	「多様な農地活用検討エリア」については、柔軟に、より内陸部まで範囲を広げ農地への移行帯・緩衝帯とする。海岸林の流出原因の検証、ナショナルトラスト等も検討。	各界各層・有識者調査
818	現在の私たちの生活様式の見直しを行う事が必要。スローライフと言われている生活様式を選択するように方向転換をする必要がある。	各界各層・有識者調査
819	東部土地利用のゾーニングは納得できる。この時に、自然環境の保全、生物種の多様性を考慮する必要がある。	各界各層・有識者調査
820	海岸林はなるべく広く構築する事が津波に対して有効。特定の人の好みの自然にせず、なるべく自然に任せるのが良い。	各界各層・有識者調査
821	海岸防災林の早期整備、蒲生干潟の港湾産業地域と連動した再生、井土浦地域の自然の実験場としての活用。	各界各層・有識者調査
822	「美しい海辺を復元する」海辺の交流再生プロジェクトに賛成する。	各界各層・有識者調査
823	さまざまな生き物の貴重な生息場所となる森または林を復活させてはどうか。	各界各層・有識者調査
824	大沼(湿地帯)を積極的に生物多様性ゾーンのような位置づけ、豊かな自然を残してはどうか。	各界各層・有識者調査
825	避難場所の運営は誰がやるべきか？市役所職員がやるべきではないのか？	東部地域まちづくり説明会
826	災害が起きたときに避難する場所がないので、緑ヶ丘地域に対する避難所を設置してほしい。	中間案説明会
827	住んでいる地区は高齢化が進んでいるため、丘陵地区で避難について憂慮される。防災リーダー育成については、高齢化対策も盛り込んで欲しい。	中間案説明会
828	「災害対応力の強化」について、今回の震災では各避難所の運営方法がばらばらだったため、反省も踏まえ見直しをして欲しい。	中間案説明会
829	指定避難所以外で避難所になっていた市民センターでは、備蓄の中身を把握しておらず使えなかった。指定避難所にも防災用品の備蓄が全くない所があった。きめ細かく防災体制をチェックして欲しい。	中間案説明会
830	避難所については、地域で解決できる問題もあるので、全部仙台市でやるのではなく、地域に投げかけてもいいものもある。	中間案説明会
831	仙台モデルとは何か、具体的に教えていただきたい。	中間案説明会
832	宮城野区は津波・地震の影響が市内で最も大きかった。避難所の場所、数、問題点などを明らかにし、全面的な見直しが必要だと思う。	中間案説明会
833	震災時に既存の避難所の備蓄は全て使い果たした。再び配備されたのか。早急に対応して欲しい。	中間案説明会
834	防災・仙台モデルプロジェクトに関連して、関東以西では、避難所の運営は各地域の自主防災組織に任せると徹底しており、マニュアルもある。仙台市は非常にお粗末。きちんと体制そのものを見直して欲しい。	中間案説明会
835	今回の震災では、指定避難所以外の市民センター、コミセン等の施設が非常に活躍した。連合町内会単位で防災機能をもった施設の設置をお願いしたい。	中間案説明会
836	今回の震災では、指定避難所以外の市民センター、コミセン等の施設が非常に活躍した。連合町内会単位で防災機能をもった施設の設置をお願いしたい。	中間案説明会
837	指定避難所以外の市民センター、コミセンにも大多数の避難者がいたが、物資は指定避難所にしか配給されず、それ以外の避難所では地元で対応した。様々な避難所への備蓄を早急をお願いしたい。	中間案説明会

838	防災・仙台モデル構築プロジェクトについて、市には強い自治体行政として、行政の役割を強く自覚し、計画にもっと盛り込んで欲しい。	中間案説明会
839	「地域防災リーダー」の育成について具体的に述べて欲しい。どこも町内会の役員が高齢化しつつあることから、地域の負担軽減、非常時の協力者についてどの様に考えているのか。	中間案説明会
840	避難所仕様の体育館を造って、それを日ごろ学校施設として利用するという考え方もあるのでは。もう少し大胆な発想があってもいい。	中間案説明会
841	中間案には、誰が、いつまで、どの様にするのかを明記して欲しい。例えば、地域防災リーダーの育成は誰がやるのか。	中間案説明会
842	市民センターは避難所に指定されていないが防災備蓄があるため、住民は指定避難所と同じ認識でいたが、実際受け入れてもらえず、その対応に疑問を持っている。	中間案説明会
843	地域内に避難所が3箇所あるが、数日で備蓄も無くなり、農家による持ち出し等でしのいだ。町内会費も災害対策費としてつぎ込んだ。避難者がどこからどのようなルートで避難してきたのか教えて欲しい。	中間案説明会
844	指定避難所が使えなくなり、集会所、コミセンに避難所を開設したが、翌日、市役所から開設した理由を聞かれた。地域の状況を把握した上で連絡して欲しい。小さい避難所にも支援物資を配って欲しい。	中間案説明会
845	私(地域)としては、避難所の体制作りが当面の問題と思う。地域に戻る話し合いを進め具体化したい。	中間案説明会
846	避難所は長町中だったが、避難所の体育館が一部破損で危険だった。暖房器具、発電機も無く不便だった。食糧品用ボランティアの配給のみで、それも数日後には中止となった。	中間案説明会
847	避難所として、小中学校以外に市民センターも、それぞれを指定してほしい。一時避難所に町内会集会所を利用してほしい。	中間案説明会
848	避難所の運営については問題があったので今後消防署等と協議したい。	中間案説明会
849	県立高校も避難所になるよう仙台市として指示してほしい。	中間案説明会
850	避難所へ非常用機材やアルファ米の備蓄が十分でない理由、国の行政の縦割りの弊害が良く判った。	中間案説明会
851	食料が不足したので、備蓄量を増やして欲しい。	中間案説明会
852	防災用品の備蓄不十分、担当部署の責任の所在が不明確。指定避難所と行政との連携不足などに対応し、行政のきめ細かな取り決めも町内会等へ連絡徹底してほしい。	中間案説明会
853	緑ヶ丘地域の指定避難所は不適地が多数。当地域の「緑地」を避難所として、被災者の救済に対応して欲しい。平常時の利用、管理、運営については市と協議して利用に対処したい。	中間案説明会
854	指定避難所の充実。学校以外の施設を一次的な避難所としての位置づけ、そこで対応できない人を大規模な避難所(小・中学校)に避難させるようにしてはどうか。	中間案説明会
855	避難所が高台にあり利用が困難。平地に広い市有地があるので、市民センターのような建物を建てて欲しい。	中間案説明会
856	自助を徹底。避難所運営は避難者自らが運営することを基本に。「防災リーダー」は新たな負担になる。逆にリーダーがいない場合は対応できなくなるおそれもある。	中間案説明会
857	仙台モデルとして指定避難所のあり方を検討する。一次避難所も見直すべき。避難施設を広報して下さい。町内会に給油券の発行、費用は町内会。今回の中間案発表や市政だよりで公表して下さい。	中間案説明会
858	避難所の立ち上げはどかが主体となるべきか。まだまだ連合町内会や社協の活動・活躍がなされていない。	中間案説明会
859	帰宅困難者が避難所に多く詰めかけパニック状態でした。避難所以外の公共施設も開放して欲しかった。震災直後から三日間の食糧確保が望ましい。	中間案説明会
860	避難所は近くの集会所に設備を備えるべきです。指定避難所にはいけない方が多く出たことに対応すべき。	中間案説明会
861	避難所に配備すべき施設。(ソーラーシステム、地下貯水タンク)	中間案説明会
862	小・中・高等学校の避難所に発電機の設置、点検をして欲しい。和室がある場所も避難所に指定して欲しい。国に対して強く要求を続けて欲しい。	中間案説明会
863	避難所の運営についての町内会→指定避難所→区役所→市役所との合同打ち合わせ会議を要望します。	中間案説明会
864	当町内会の避難場所は七北田小学校よりも仙台白百合女子大学の方がすごく近い。(高齢者の方も歩いて5、6分位)	中間案説明会
865	住民パワーの利用を最大限生かす体制づくりをすべき。	中間案説明会
866	指定避難所だけでなく公共の施設の活用の見直しとあるが、即認可をして欲しい。	中間案説明会
867	避難所となる小中学校は、地盤や構造など十分に検討し早急に回復していただきたい。子ども達には長期的な心のケアを、避難所運営を運用する「学校長」の教育をしっかり行っていただきたい。	中間案説明会
868	公園を一時避難所とする為の物資、用品の準備を町内会として見直している。その準備購入の費用は支援されないのか。町内会員の会費では非常に費用の負担が大きい。高額な機器には無理がある。	中間案説明会
869	これまでの避難所をやめて、地区集会所を地区備蓄所として備蓄品を置いてはどうか。地域の身体障害者を特定の避難所に避難させるようにしてはどうか。	中間案説明会
870	教育プラス支援できる人材づくり。他の災害に支援できる人材づくりをすべきである。	中間案説明会

871	一次避難所に指定されていた集会所が避難所として使用せざるを得ない状況になった。今後の対応を至急示して欲しい。	中間案説明会
872	私は荒浜小に避難して助かった。約400人を越える人達がいたものと思われる。小学校は耐震工事も済んでおり今後も避難所として活用して欲しい。	中間案説明会
873	震災時の生じた多くの課題を踏まえ、物資の備蓄をもう少し考えてほしい。避難所施設に非常用電源また通信機、無線機など備えておくべき。	中間案説明会
874	指定避難所の見直しを早くお願いしたい。	中間案説明会
875	避難所について。今後市立小中高校のみでなく、近くに市立大もあるので、短期間でも避難所に指定してもらえないか。	中間案説明会
876	被災直後は地域自身で対応せざるを得ない。特に高齢者の方への対応は、地域の高齢者が望ましく、アドバイザーとしてできるだけ多くの方を育成してもらいたい。	中間案説明会
877	自助地域における共助(特に地域防災リーダー育成)について。対象がどのような人で、行政はどのように支援できるのか等、具体的に示してほしい。	中間案説明会
878	大切なのは千年に一度の津波でもそれを記憶としてとどめるための教育を行ってゆくことが必要ではないか。	パブリックコメント
879	「防災人づくり」が最も大切と思いました。今回、避難所運営で、地域の体育振興会・PTAの皆様方の若い力に大変助けられました。校庭の地下に設置されている「飲料水」も大いに助かりました。	パブリックコメント
880	指定避難所に発電機を常備すべき。数百人の方が避難してきた時、お互いの様子が確認できることが重要。水や食料も大事だが、まずは照明が必要である。	パブリックコメント
881	防災対応は町内会長や役員の負担が大きくなり早急に防災リーダーの養成を復活して欲しい。	パブリックコメント
882	住民に出来る仕事を分担し活性化すること	パブリックコメント
883	地域だけに任せるのではなく行政と一体になって推進するべき。防災備蓄への資金補助が必要。小中学校以外の施設も避難所として対応できるよう準備が必要。	パブリックコメント
884	地域のリーダーを育成を進めて欲しい。	パブリックコメント
885	火事が怖いので逃げる方法、風向きなどにもよるので場所などの準備	パブリックコメント
886	市でも各学校・市民センター等食料をそれぞれ備蓄していたがそれでも不足であり避難者全員に行き渡らなかったので充分備蓄するべきである。	パブリックコメント
887	避難所として高齢者のためにも近くの集会場も認定して欲しい・増やして欲しい	パブリックコメント
888	”避難所”の役割や備蓄の再整理をしていただきたい。	パブリックコメント
889	避難所(小学校)が遠く、また体育館も広く寒いため、町内の集会場を臨時避難所として対応し、後に避難所として認めて頂いた。今後のことも考えると、それらの集会場も避難所に認めるようにして欲しい。	パブリックコメント
890	町内会の役割、活動が大事である。避難所の運営をどのようにするのか。区役所の仕事はボランティアでできる部分があると思う。広くボランティアを募集したらよいと思う。	パブリックコメント
891	復興計画とは別に、今すぐにも「防災リーダー」の育成が必要。仙台市の職員は基より、地域の婦人クラブや老人クラブ等に対する災害時の支援者としての啓蒙活動も必要。	パブリックコメント
892	「防災・仙台モデル」の具体的な取り組みの中にプレーパーク(冒険遊び場)づくりの地域活動を平時から推進することをいれてほしい。	パブリックコメント
893	「防災・仙台モデル」の具体的な取り組みの中に、「被災地域の遊びを通じた子どもの心のケア」活動として、被災地域での遊び場づくり活動をいれることを提案します。	パブリックコメント
894	新たに建てる建物などについて、被災者の声を聞きながら災害時の多目的利用を想定する必要がある。プロジェクト実現までのプロセスを市民に明示し、一人一人がモデルとなる意識を高めていく。	パブリックコメント
895	「防災人」づくりに関して、地域での防災活動を促進するため、児童生徒・保護者・学校関係者との日常的な連携の取組ができる場の設定を求めます。	パブリックコメント
896	「防災人」づくりの項目のなかに、土地や地域性を市民が学ぶ事のできる、まちあるき等の取り組みを行ったり、地元学のように、地域の歴史を伝えていくことも必要であるという視点も入れて欲しい。	パブリックコメント
897	仙台モデルとして、「遊び」を大切に防災が学べる場所が出来ることを望む。防災力とは、自分や自分の大切な人、地域を守る力である。	パブリックコメント
898	避難所の運営の仕方を綿密に事前に整えておく。	パブリックコメント
899	公平な支援物資(金)の配分に努めてほしい。避難所にいない者には何も届かない	パブリックコメント
900	災害は必ずおとずれることを前提に、人命救助の方法、避難所の拡充と食料の備蓄、必要物資の配給ルートの確立など、防災計画を。	パブリックコメント
901	避難所を4号線沿いに設置して欲しい。また、自家用車を使って避難所へ行けるように。	パブリックコメント
902	避難施設の設置、構造等環境整備をして欲しい。	パブリックコメント
903	仙台市で行っている防災訓練について、一般の方の参加は少人数である。大震災を契機に徹底した防災訓練を行うことが重要。	各界各層・有識者調査

904	岩手県沿岸部は、宮城県沿岸部を超える大きな津波が発生したが、死者・行方不明者の数は少なかった。これは津波に対する防災教育の差であり、充実させることが大切である。	各界各層・有識者調査
905	市民センターを学校と同レベルの避難所とするのであれば、新たなシステム構築の必要がある。仙台市公民館運営審議会が昨年9月に提出した「仙台プラン」の子ども参画型社会創生事業を充実・発展させ、子どもの参画・子どもと大人の協働によるコミュニティ再生のモデル事業を立ち上げるべき。	各界各層・有識者調査
906	指定避難所の見直しを早急に行い、非常用電源装置(発電機)や災害無線などを整備して欲しい。	各界各層・有識者調査
907	避難所の「運営指針」の策定と、非常時の食糧備蓄、救護資材の住民への周知、三神峰公園の広域避難場所としての設備の充実を。	各界各層・有識者調査
908	指定避難所として、小中学校以外の地域内にある公的施設(市民センター、コミュニティセンター)も活用し、備蓄、機材の充実を図って欲しい。また、避難所へは市民の要望を聞き入れるような職員の派遣をして欲しい。	各界各層・有識者調査
909	指定避難所の運用の明確化と在宅避難者(避難所に来れない高齢者等)に対する救援物資が必要。	各界各層・有識者調査
910	安全な公共施設を障害者および災害弱者の避難所として使用できるよう、施設のバリアフリーの充実、人的配備をして欲しい。	各界各層・有識者調査
911	避難所や仮設の運営や機能について「環境衛生」についても検討することを加筆していただきたい。また、避難所、仮設の環境衛生について協議される場合は、要請があれば薬剤師会より人員の派遣したい。	各界各層・有識者調査
912	「自助・共助・公助」の範囲に入るのでしたが、「当事者活動」や「障害者や高齢者等の参加」という視点もあってもよい。	各界各層・有識者調査
913	小中学校だけでなく、市民センター、コミュニティセンター、集会所なども避難所に指定し、住民にきちんと周知すること。また、帰宅困難者の一時避難場所も別に確保すること。避難所の運営方法について、学校などの施設管理者、町内会、行政の役割をまとめたマニュアルを提示すること。	各界各層・有識者調査
914	住民一人一人が常に防災を意識できるように啓発に努めること。	各界各層・有識者調査
915	緊急時の学校現場の対応は総じて評価に値するが、その使用期限は問題が大きく、一時避難の役割を早急し解消し学校本来のあり方への復旧が必要。こどもたちへのメンタルケアも含め学校の果たすべき姿を大切にしたい。	各界各層・有識者調査
916	避難所の見直しについて、「～見直す」「～作成する」の表現が多く主体が不明確。一次的地域防災拠点としての学校の役割を明確に示してほしい。市民センター、コミュニティセンター等の防災拠点機能の強化策についても明確にしてほしい。	各界各層・有識者調査
917	秋保地区では、今回初めて避難所を開設したが、温泉街特有の人口増などが見られるので、避難所の整備、運用等を検討。	各界各層・有識者調査
918	『「教訓を未来に生かす」防災・仙台モデル構築プロジェクト』の「避難所の運営や機能の見直し」の3行目に「女性、子ども、若者、高齢者、障害者、外国人等地域に暮らす多様な市民の意見が反映しやすい避難所運営に努めます。」を追加して欲しい。	各界各層・有識者調査
919	『「教訓を未来に生かす」防災・仙台モデル構築プロジェクト』の「防災人」づくり4行目「地域防災リーダー」を育成します。に「特に生活者である女性の視点が重要であることから、女性防災リーダーの育成にも力を入れます。」を追加して欲しい。	各界各層・有識者調査
920	避難所でパーテーションの設置、女性用更衣室、乳幼児対応など提言したが、パーテーションなど不十分なところもあった。	各界各層・有識者調査
921	建物被害が無くとも、PTSDやパニック発作等の精神疾患を理由に家へ戻れない被災者の避難所入所を認めるべき。	各界各層・有識者調査
922	沿岸・河川エリアへの放送設備等の配備、防災無線塔の設置、情報関連システムの見直し、一本化した情報公開ルートの確立と周知、地域の防災拠点整備、地域防災リーダー育成のマンション等への対応を検討すべき。	各界各層・有識者調査
923	災害時に役立つエネルギー、設備等の地域資源の活用及び配備。栄養バランス等を考えた非常食の準備。エリアごとの井戸の活用。	各界各層・有識者調査
924	地域に根差した防災リーダーを育成していくべきである。学校区程度の広さで、教育支援システムの整備が必要と考える。	各界各層・有識者調査
925	避難所の備蓄物資は保管場所についても検討が必要である。津波避難ビルとなる施設は、浸水で使用できない状況にならないようすべきである。	各界各層・有識者調査
926	防災人づくりで津波教育の徹底を。特に児童と教員に対してお願いします。悲劇を繰り返してはならない。	各界各層・有識者調査
927	地域防災リーダーの養成に具体的にどんな形で取り組んで行くのか明記されていなかった。若い世代の防災リーダーの養成が急務ではないか。	各界各層・有識者調査
928	学校関係者にも防災意識をもち災害時に対応できる体制づくり構築して欲しい。情報が得られ、避難しやすい環境整備も震災復興の大きな課題ではないか。	各界各層・有識者調査
929	地域や職場、家族がそれぞれの立場から減災問題を真剣に考え、連携と信頼を構築しながら災害時に備え、復興に取組むことが重要である。	各界各層・有識者調査
930	復興計画の避難所の項目に、ペットの視点も入れて欲しい。人の心の健康のために、幸せなペットの存在が大切である。	各界各層・有識者調査
931	防災・仙台モデル構築プロジェクトで、災害の予防とその後の対応について一層踏み込んで盛り込み、市民との連携を強化して欲しい。	各界各層・有識者調査
932	指定避難所の増設、介護施設での備蓄、行政と住民との協力体制の構築、集団での避難生活が困難な人への対応、早急な支援体制確立に向けた準備等を検討して欲しい。	各界各層・有識者調査
933	指定避難所の運営で最も必要と思ったのは照明である。指定避難所の備蓄物は早急に見直すべき。	各界各層・有識者調査

934	もっと広範囲に円滑に対応するためにも、ある程度の知識を持った地域防災リーダーが必要。	各界各層・有識者調査
935	大地震にもかかわらず、地域で協力してやっていけると自信がついた。地域がもっと自主的に対応できるようなシステムや支援をお願いしたい。	各界各層・有識者調査
936	想定外の災害時にどのように行動すべきかの指針のようなものをリーダー、市民一人一人が身につけることが重要。	各界各層・有識者調査
937	避難所となった学校関係者の尽力により危機的な状況の回避につながったことがあり、総括として一定の評価もしくは言及してはどうか。	各界各層・有識者調査
938	町内会、団体等への働きかけや、地域防災リーダーについて具体性に欠けるのではないかと。特に共助という点では失速が懸念され、プランに見える形が必要。	各界各層・有識者調査
939	多くのスポーツ施設が避難所として活用されたが、建物の安全性、受け入れ体制等が不十分だった。平常時にはスポーツ施設等として活用可能な巨大な防災公園が必要では。	各界各層・有識者調査
940	「防災人」づくり、防災の日の訓練などとても良い事で、必要な事だが、宮城県沖地震から期間が過ぎ、感覚も感情も劣化していったので、工夫が必要。	各界各層・有識者調査
941	自衛隊として「地域防災リーダー」育成に協力する。	各界各層・有識者調査
942	児童教育について、根本的なコミュニケーション教育を踏まえた視点から防災教育を行ってほしい。	各界各層・有識者調査
943	子どもの心の教育に携わっている人、情操教育で活躍している人に協力してもらい、育てることに重点を置いた取り組みをしてほしい。	各界各層・有識者調査
944	ボランティア活動の担い手としての若者を育てるため、学校での学習と結びつけた「サービス・ラーニング」を奨励すべき。	各界各層・有識者調査
945	自然災害時に避難を義務付けることなどを検討すべき。	各界各層・有識者調査
946	市民の自助力を高め、日常から大規模災害に備える啓発の取り組み	その他(陳情、要望等)
947	震災の教訓を生かした次世代への防災教育の充実策	その他(陳情、要望等)
948	ふるさとを愛し、被災地域の将来を担う次世代人材育成策	その他(陳情、要望等)
949	市民センターや集会所などの避難所としての位置付けや、物資の備蓄、燃料の確保の問題など、震災復興計画や地域防災計画の見直しに反映してほしい。	その他(陳情、要望等)
950	エコモデルタウンとあるが、造成費を含めて単価が高くなり、個人負担が増加するのではないかと疑問がある。	中間案説明会
951	再生利用可能エネルギーの促進は大賛成。エネルギーコストを考慮すると、当面は安全を前提に原子力発電所の運転もやむ得ない。化石燃料は結果的に国民の高負担になると思う。	中間案説明会
952	エコモデルタウン。ヒートポンプも利用し、最適化に取り組むことも必要と思う。	中間案説明会
953	次世代エネルギー研究、開発拠点づくり。(オーランチオキヅウム、ポトリオコッカス)バイオマス研究、開発拠点づくりのタイムスケジュールと期待する成果。	中間案説明会
954	自然再生エネルギー導入する場合、安定的な電力にならないとの話があるので、安定的な電力とするための技術を得るべき。	中間案説明会
955	計画中にある「藻類」や「バイオマス」のような、実現性不透明な物は排除すべき。震災復旧は実験の場ではない。	中間案説明会
956	間近に迫る移動体エネルギー払底の時代における都市行政としての資源循環型都市構造を如何に取り入れるべきかである。	パブリックコメント
957	省エネ・新エネプロジェクトについて、この段階では「震災発生時」に対してはどのように考えているのかが見えてこない。震災に強く、かつどんな時も安定したエネルギー供給ができる必要がある。	パブリックコメント
958	筑波大学の藻を利用した実験を子どもたちも体験できる場、震災ゴミのリサイクルプラントを通して学べる場があってもよい。	パブリックコメント
959	エネルギーの県単位の自給自足体制確立が必要。	パブリックコメント
960	エネルギーの自家設備について、個人の対応では疑問のため、メガソーラー、風力なども検討してほしい。	パブリックコメント
961	原発事故の発生があることを想定し、県、市は放射能対策も含め、原子力発電の廃止方向を示すと同時に、自然エネルギーの開発、投資を行い安全な社会生活を送れるようにすべき。	パブリックコメント
962	かつてはバイオマスを利用した生活様式だった。風力発電は景観が悪くなるので観光面ではマイナス。	各界各層・有識者調査
963	災害時に利用される施設での、必要最低限のエネルギー源確保も考えて欲しい。	各界各層・有識者調査
964	被災時対応も念頭に置いたエコタウンのモデルを発信し、市内全域において取り組むことが有用であり、民間投資を呼び込むことで地域経済復興にもつながると思う。	各界各層・有識者調査
965	次世代エネルギー研究・開発拠点づくりとして、具体的な事業化も含めて、拠点構築は意義あるものとする。	各界各層・有識者調査
966	世界的に化石燃料の限界が見えている。積極的に次世代エネルギーの研究を進めてほしい。	各界各層・有識者調査

967	太陽光やバイオマスを活用するエネルギー供給とエコモデルの普及促進	その他(陳情、要望等)
968	復興特区の詳しい説明をお願いします。	東部地域まちづくり説明会
969	特区制度を利用しながらと言っているが、具体的に考えていることを示して欲しい。	中間案説明会
970	県は漁業特区について漁協から反対されているが、仙台市では港地区復興特区について漁協と話し合っているのか。	中間案説明会
971	スーパーコンピューターを地震発生シミュレーションなどに利用。	中間案説明会
972	海岸地区の企業を復旧し、仮設でも良いので建設して営業させるべき。遅くなると人が他へ移住して元に戻らない。	中間案説明会
973	復興特区エリアがあまりにも面積がせまい。港地区だけだと将来に向けて新技術を持った企業の誘致や創設がしにくく、雇用の拡大や産業集積につながりにくい。	中間案説明会
974	産業復興特区エリアは拡大すべき。法人税減免もでているが、6年目からは市財政に寄与するはず。	中間案説明会
975	復興特区を活用して、新基本計画に沿った街づくりを急ぐべき。	パブリックコメント
976	仙台市は早急に経済復興を図るべき。働く意欲は働く場所の確保によって維持される。現在の仙台市の経済の復興策は大変不十分だ。	パブリックコメント
977	港地区復興特区については、仙台港は仙台市の復興に向けて、単に地区としての役割だけでなく、広域な物流結節機能を要することを強調すべきと考え、追記を要望する。	パブリックコメント
978	特区制度を活用したインセンティブを創出し、民間の情報・ノウハウ等を活用しながら、新たな産業集積を目指すことが有用と考える。	各界各層・有識者調査
979	仙台塩釜港の臨港地区企業群を復興特区として位置付け、防災対策、税制特例、補助金、規制緩和などの経済支援に関して特別の取り扱いをお願いしたい。	その他(陳情、要望等)
980	臨港企業が防災対策用資産を取得する場合の補助金、税制特例等をお願いしたい。	その他(陳情、要望等)
981	税制面での支援策の拡充	その他(陳情、要望等)
982	復興支援のための補助金	その他(陳情、要望等)
983	海岸、河川の自然環境保全と一体化させたレクリエーション施設の整備、広瀬川近くのコンベンション誘致によって、海岸や河川の自然を破壊しないでほしい。自然のままの海岸線、河川にこそ価値がある。	中間案説明会
984	交流人口の回復にむけては官民あげでの取組が不可欠。	中間案説明会
985	国際会議やコンベンションの誘致をどのように進めて行くのか。原発が収まっていない中、国際会議、コンベンションはどのようにして誘致する予定なのか。	中間案説明会
986	国際交流の「場」として、楽都仙台として世界に誇れる設備を有する施設の実現を切望します。	パブリックコメント
987	コンベンション誘致について反対ではありませんが、場所について憂慮しています。葦原を含め、河川を自然のままに保全してください。	パブリックコメント
988	青葉城の大手門や大広間、芭蕉の辻の復活して中心部との一体化を図り、国内外の観光客を誘致して市の財源の確保も担うのではないかと思います。	パブリックコメント
989	地下鉄東西線の建設は、中止の必要は無いが、数年の間、事業のペースをスローダウンすることは可能か。	各界各層・有識者調査
990	一般の観光キャンペーンだけでなく、市民との協働により新しい取り組みに市として挑戦してほしい。震災の「正」の遺産も語り継ぎ、全国・世界へ発信していきたい。	各界各層・有識者調査
991	交流促進プロジェクトについて、施設整備に際しては、民間の情報・ノウハウ・資金を有効活用し、適切な官民役割分担をするとともに、継続的な活用策も含めて、十分な検討が必要。	各界各層・有識者調査
992	文化施設や歴史的建築物も多く被災しており、「文化の復興」をプロジェクトの一つとして掲げるべきである。	各界各層・有識者調査
993	観光については、地元の事業者により多く参加してもらい、一時的なものではなく観光地が長期的に発展していくような支援をお願いしたい。	各界各層・有識者調査
994	都市の魅力や活力を高める施設の誘致については、長く市民に愛される施設を作ってほしい。	各界各層・有識者調査
995	「交流・活力創出」まちづくりについては、一つ一つの企画を充実したものにする必要がある。	各界各層・有識者調査
996	東北各都市との観光連携を促進し、国内外の交流人口の増加	その他(陳情、要望等)
997	東北の中核都市にふさわしい大型ホールや機能別のホールなどの建設に向けて、行政や市民、経済界が一体となった機運醸成を図り、その実現を要望する。	その他(陳情、要望等)
998	地下鉄東西線沿線に食と農を中心とした物産館、震災メモリアルを一体化した施設を建設してはどうか。沿岸部と中心部の結節点として相応しいと思う。	中間案説明会
999	荒浜小学校や海岸沿いの公園については、避難場所として残していただきたい。	中間案説明会

1000	協働による復興のシンボルづくり・センターづくり(駅東)・アーカイブの展示(大学との協働)・子供の理科教育	中間案説明会
1001	メモリアルについて旧荒浜小の建物の活用。	中間案説明会
1002	メモリアルに関しては阪神淡路の様に未来防災センターの仙台版をつくるべきである。先進国として世界に類のない事ををし世界に発信すべきである。	中間案説明会
1003	荒浜地区の流失した家屋の基礎部が残存しているものについては、未来に向け警鐘として残しておいた方が良いのでは。	中間案説明会
1004	参加意識を共有できる仙台版PFI並びに土地信託等の制度を利用し、「震災メモリアル 仙台市民ホール」を早急に建設。「仙台」、「SENDAI」を発信する「場」を用意する。	パブリックコメント
1005	宮城県仙台市水族館の検討をお願いしたい。	パブリックコメント
1006	海岸沿いの自然資源、既存施設をジオサイトとして整備・活用し、地球視点で知識の普及を行うことは、従来のワクを超えた視点を養い、防災教育にも役立つものと思う。	パブリックコメント
1007	災害遺構の保存やメモリアル公園の整備によって今回の教訓を伝え、警告を感覚的に直感できるものにし、利用されることで防災意識を持続させる。緊急の場合の避難所を兼ねることが望ましい。	パブリックコメント
1008	海岸公園に関しては現状の復旧も大切なことだと感じますが、広島のような環境共生と心の平和を祈る公園になってほしいと感じています。	パブリックコメント
1009	メモリアルパークの建設	パブリックコメント
1010	「震災の記録を後世に伝える」具体的プロジェクトとして特別資料館の設置を。	パブリックコメント
1011	「『震災の記憶を後世に伝える』震災メモリアルプロジェクト」について、ハードだけでなく、「伝承」などのソフトも重要ではないか。	各界各層・有識者調査
1012	震災メモリアルプロジェクトは、是非早い時期に整備を進めてもらいたい。今回の地震・津波の記録をしっかりと残すことが復興計画の大きな柱のひとつではないか。	各界各層・有識者調査
1013	震災メモリアルプロジェクトについて、荒浜小学校の建物をメモリアルの一つに位置づけられないかとの意見があった。	各界各層・有識者調査
1014	メモリアル施設のようなコンクリート施設よりも、歴史を感じられる威厳のある森が存在することが、歴史を紡ぐひとつの方策ではないか。	各界各層・有識者調査
1015	仙台市として重点的にやる優先順位があると思う。緊急性の高いものについて、現時点での仙台市としての考えを聞かせて欲しい。	中間案説明会
1016	100万人の復興プロジェクト10項目について、工程表と事業費、部署を明示して頂きたい。	中間案説明会
1017	復興プロジェクトの具体性がうすい。	中間案説明会
1018	1.被災地より「世界のこぼでアリガトウ」プロジェクト、2.平成遣欧使節で「グローバルに復興しよう」プロジェクト、3.「湯治場シリコンバレー計画」で過疎化対策と産業誘致を、4.「債務者シェルター」で中高年の自殺率抑制を、5.子供の貧困対策に「合宿学校のすゝめ」、6.「宮城蔵王十山形蔵王＝奥州蔵王」分断された観光地の統合整備で新名所、7.「B級クラフト・グランプリ」で次世代の地場産業を発掘	パブリックコメント
1019	100万人の復興プロジェクト等の事業推進をもって、東北の復旧・復興を本市が牽引していくことが肝要。	各界各層・有識者調査
1020	100万人の復興プロジェクトは10のトピックを抽出して重点的に取り組むという点は明確でわかりやすい。ただし、津波や地すべりなど、甚大な被害が生じた地区に焦点があたり過ぎている。	各界各層・有識者調査

6暮らしと地域の再生に対する意見等 (248件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1021	義援金は沿岸部の被害に世界中から集まったもの。仙台市全体に平等にばらまかれているが、義援金がなくなる前に使い方を検討して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1022	義援金について、全壊と私たちのような全壊・流出と一緒にでは理解できない。	東部地域まちづくり説明会
1023	防災集団移転事業について、前回は10戸以上という説明があったが、今回は説明が無い。仮設住宅に入居するときも10戸以上ということで混乱がおきた。	東部地域まちづくり説明会
1024	物資の配給なども仮設住宅のみであり、検討して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1025	民間賃貸に入居していると周辺に被災者が居ないため孤立し不安である。物も情報の支援も無い。そういう点も考えてほしい。	東部地域まちづくり説明会
1026	義捐金の配布が仙台だけ遅い。総額等と一緒に教えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1027	説明会で質問したことについての回答、返答がない。	東部地域まちづくり説明会
1028	現在民間アパートに入っているが、何も決まっていないうなかで、どこに移転したらいいのかも分からない。もう少し時間的な余裕をとって私たちの話を聞いてほしい。	東部地域まちづくり説明会

1029	説明会で回答できないものについても、回答は皆に周知してほしい。	東部地域まちづくり説明会
1030	復興公営住宅を建てる場所はどこに考えているのか。集団移転先のエリアか、それともそれ以外の所で考えているのか。	東部地域まちづくり説明会
1031	県道の東側を農地や公園として利用する考えのようだが、そこは買取してもらえるのか。井土浜地区全区域を仙台市で買い上げてもらえないか。	東部地域まちづくり説明会
1032	仮設住宅の入居は2年間となっているが、移転にはかなりの期間がかかるので延長してもらえるのか。	東部地域まちづくり説明会
1033	現在、仮設住居にいて2年契約で入居しているが、移転時期が4年後になると、2年先についてどのように考えれば良いのか。	東部地域まちづくり説明会
1034	集団移転で土地を購入して住宅を建設することになると資金的に厳しい。集合住宅の位置が明確になっていれば教えてほしい。	東部地域まちづくり説明会
1035	集団移転先の造成が完了するまで、仮設住宅から別の集合住宅に移るのか、仮設住宅に4年もいるのかお聞きしたい。	東部地域まちづくり説明会
1036	緊急の生活の再建が重点。Ⅲ暮らしと地域の再生について、今後の説明会ではもう少し具体的、重点的に説明してほしい。	中間案説明会
1037	宮城県では仮設住宅の冬対策がされていないようだが、市として対策があるのか。	中間案説明会
1038	応急仮設住宅では、半年も経たないうちに基本的な不具合が出てきている。どこで、誰が設計するのか。	中間案説明会
1039	外部に対してテレビや新聞を利用して積極的に情報発信をして欲しい。	中間案説明会
1040	宮城県では仮設住宅の寒さ対策が全くされていないという報道があった。仙台市として対策を考えているのか。いつまでやってくれるのか。	中間案説明会
1041	全壊マンションの管理組合の人を対象として支援策の説明会をして欲しい。	中間案説明会
1042	仮設住宅は2年間だが、平成25年からの復興住宅へスムーズに移転できるか具体的な見通しを聞かせて欲しい。	中間案説明会
1043	仮設住宅の寒さ対策で、各部屋の間断熱材が入っているのか。	中間案説明会
1044	全壊の判定を受けて住宅支援制度を申し込んだ際、見積書の提出を求められ、期限を問い合わせたところ返答が曖昧だった。期限を明確に設けて欲しい。	中間案説明会
1045	卸町に復興公営住宅を整備し、多様な世代が住む職住接近のモデルにできないか。地区計画による規制緩和、約3000人居住可能な計画を進めている。	中間案説明会
1046	雇用の創出という言葉が沢山出てきているが、具体的な記述が無い。生活できる賃金の雇用を創出できるよう工夫して欲しい。	中間案説明会
1047	今年度の3月末で震災被害住居の公費による取り壊しを終了すると聞いているが、転居の見通しが立たないので、期限の延長を検討して欲しい。	中間案説明会
1048	町内に気仙沼から避難している人がいるが、援助情報など気仙沼と仙台市で調整しているのか。町内会として何かできることがあるのか。	中間案説明会
1049	高齢の夫婦が七郷から民間賃貸アパートに移ってきた。もし分かれば七郷地区の被災状況を教えて欲しい。	中間案説明会
1050	心のケアというのは死ぬまで必要である。一人ひとり様々な体験を持っているので、一人ひとりに寄り添うのが精神保健福祉士などの専門職の仕事であると思う。	中間案説明会
1051	復興公営住宅への入居を希望しているが、不公平にならないよう希望者全員が入居できることを切に願っている。	中間案説明会
1052	人來田地区は二次災害の危険性が高い。現在は仮設賃貸マンションに住んでいるが、期間が2年では少し短すぎる為、3年位に延長して欲しいと思います。	中間案説明会
1053	被災マンションについても説明会を開催し、国の処置を有効に生かす為に市の積極的な対応を要請します。	中間案説明会
1054	被災された方のご苦労は充分承知しておりますが、100%要望に答えるのは無理。雇用問題を早急に取り組むべき。	中間案説明会
1055	これからの震災に対応するのにどうするか？心のケアがまだ進んでいないように見える。高齢の方々については余震におびえています。	中間案説明会
1056	今後の見通しや防災整備も勿論大切ですが、まずは市民の住まい確保を支援願います。国、県からの財源補助を待っているのは遅れるばかり。市としての策はないのでしょうか。	中間案説明会
1057	避難所となる小中学校は、地盤や構造など十分に検討し早急に回復していただきたい。子ども達には長期的な心のケアを、避難所運営を運用する「学校長」の教育をしっかりと行っていただきたい。	中間案説明会
1058	前回から何が前に進んだかがわからない。住んでいた場所を失くしてしまうための説明会は、聞いていてづらい。新しい住まいができたとしても一番大変なのは現実問題お金です。	中間案説明会
1059	仮設住宅が非常に寒く、真冬を過ごすことができるのか不安です。仮設住宅の場所によって設備の違いや、対応が違うのが大変気になる。	中間案説明会
1060	なによりも、土地と家が早く欲しい。仮設の風呂で追い炊きができればよいと思う。	中間案説明会
1061	「東北を引っ張る」前にまず地元を立て直すのが先ではないでしょうか。「安定した雇用、安定した収入」それが無いのに「住」の再建はできません。	中間案説明会

1062	仮設住宅の防寒対策を早急に。	中間案説明会
1063	義援金が仙台市が一番遅れている。なぜ遅れているのか。	中間案説明会
1064	地域全体の活性化を通じた雇用機会の拡大の具体案を知りたい。	中間案説明会
1065	雇用の場の創出・環境整備の計画をされているが、保育基盤の整備については震災前からの問題なので、是非力を入れていただきたい。	中間案説明会
1066	みなし仮設住宅の方々への情報提供、心のケア等の支援をきめ細かく行ってほしい。	中間案説明会
1067	自宅を修理し支払後に罹災証明書が発行されたため対象外となったが、何%かでも認めていただくよう要望いたします。	パブリックコメント
1068	仮設住宅の環境の中で、先が見えず不安要素ばかりで何を目標に暮らしていけばよいのでしょうか？一日も早く復興が進むことを期待しております。納得のいく回答を出して下さい。	パブリックコメント
1069	仮設住宅ではなく、応急住宅での1人暮らしのケアを強く要望します。	パブリックコメント
1070	説明会というよりも個人が困っていることの報告会だった。困りごと相談会を別に実施すべき。中間案に対する質疑と行って行きましたが、時間の無駄でした。	パブリックコメント
1071	被害にあわれた人々への土地の買い上げ、田畑に対する対応策、雇用の促進等を最優先に考え、将来的な展望も大事であるが現実問題を早く解決するのが先決。	パブリックコメント
1072	生活支援の対応(義援金・住居)が遅すぎる	パブリックコメント
1073	被災後の住宅建設計画を早急に出す。	パブリックコメント
1074	「経済的自立の確立」とあるが人によって歩みの速度もまちまちだ。仙台市として被災者・失業者への温かい配慮もこれから更に必要だと思う。	パブリックコメント
1075	震災孤児のケアについて記載して欲しい。震災孤児に限らず、震災で心に傷を負った子供たちの精神的なケアも充実していただきたいと思う。	パブリックコメント
1076	被災を経験した子どもの心のケアのための事業をこれから実際に行うべきであり、その経験を防災・仙台モデルとして発信することを提案する。	パブリックコメント
1077	被災地域における遊びを通じた子どもの心のケアに取り組んで今も継続中です。	パブリックコメント
1078	戸建て借家の場合の条件を提示願います。復興住宅入居の条件提示願います。	パブリックコメント
1079	被災者の生活と生業の再建を最優先課題として、被災者の意見を十分に聞き、その意見を反映させた「仙台市震災復興計画」にすることを要望します。	パブリックコメント
1080	プレハブ応急仮設住宅の必要に応じたバリアフリー化を進めるとともに、二重サッシや断熱材による居住性の向上を早急に推進してください。	パブリックコメント
1081	仮設住宅終了後、復興住宅へのすみやかな移転ができるように求めます。その際は、高齢者や障がい者などへの配慮をお願いします。	パブリックコメント
1082	雇用の場の創出に“域外”とありますが、どこの域外なのかわからなかったので、明確にした方がより良いと思います。	パブリックコメント
1083	義援金の支給にあまりにも時間がかかりすぎており、他人事に思われているように感じる	パブリックコメント
1084	市営住宅で空いているところがある。仮設をあわてて作るより、空き住宅に入ってもらいつつ、しっかりした仮設をもう少し時間をかけて造るべき。	パブリックコメント
1085	NTTの社宅が何棟も空いたままの状態であるにも関わらず、いつまでも体育館、学校とかで集団生活をしている。なぜ民間の空いている所を使わないのか。	パブリックコメント
1086	失業者の要望・能力に応じて雇用の促進に資する企業を官民協力で進める。	パブリックコメント
1087	役所、行政の補完機能のNPO(NGO)を公開支援して復興ボランティアを募る。	パブリックコメント
1088	事務手続きが遅れている。家賃が支払われない。OBの活用、事務の簡素化が必要。	パブリックコメント
1089	仮設住宅が出来て、生活費が自己負担になると嘆く方がいる。以前の生活圏の人々と共に過ごせる様、配慮して欲しい。	パブリックコメント
1090	義援金が直接被災地の自治体にいくような制度の推進。	パブリックコメント
1091	ボランティアの集め方(募集の仕方)を再検討した方がいい。また、市の業務は民間へ業務委託を進める。	パブリックコメント
1092	復興に対して働く(雇用)場所がある事が第一、公共事業の見直しの見返し、もちろん民間の誘致も。	パブリックコメント
1093	り災証明書の発行が遅く支援、義援金が遅れて困る。災害の時は一般車より支援物資を運ぶ車を優先する期間が必要だ。証明書類が遅れるのであれば仮払いでもできる制度はないのか。	パブリックコメント
1094	遊休している国家公務員宿舎・公的宿泊施設や、民間ホテル、旅館の活用	パブリックコメント

1095	り災証明書や義捐金の処理が遅い。もっと迅速に事務処理をし、被災者がスピーディーに行動を起こせるようにして欲しい。	パブリックコメント
1096	あくまでの仮設ではなく 復興。住民の早期建築と充実。	パブリックコメント
1097	「被災された方々の生活再建支援」の「仮設住宅における絆づくり・見守り活動の推進」について、「仮設住宅地への仮設交番の設置」についての記載を要望する。	各界各層・有識者調査
1098	将来的な供給戸数の見直しも考慮に入れた復興公営住宅の早期着手。	各界各層・有識者調査
1099	東日本大震災の被災者向け災害公営住宅の整備にあたっては、障害の特性に配慮したバリアフリー仕様の住宅を必要数設置して欲しい。	各界各層・有識者調査
1100	公営住宅の建設に当たっては、1割以上をバリアフリー化して、障害者へ配慮して欲しい。	各界各層・有識者調査
1101	情報弱者の生活の再建は健全の人より困難なことから、情報弱者を積極的に雇用する企業にインセンティブを与えるシステムの導入が有効。	各界各層・有識者調査
1102	「住まいの確保」の動きと、空家の有効利用をマッチングさせることは、復興政策の一つとして検討するに値する。民間賃貸住宅等の既存ストックの有効活用策を具体化・緻密化していくことが必要。	各界各層・有識者調査
1103	避難所や仮設の運営や機能について「環境衛生」についても検討することを加筆していただきたい。また、避難所、仮設の環境衛生について協議される場合は、要請があれば薬剤師会より人員の派遣したい。	各界各層・有識者調査
1104	「相談体制と情報提供の充実」について、「進捗状況等に応じて、関係機関との連携により、きめ細かな相談体制の構築を進めます。」という記述に変更した方がよい。	各界各層・有識者調査
1105	「被災された方々の生活再建支援」の「健やかで安心な暮らしの確立」について、震災やそれに伴う生活環境の変化や避難所生活から仮設住宅等への移行に伴い増加する傾向にある「DVや子どもの虐待防止対策」が必要。	各界各層・有識者調査
1106	「被災された方々の生活再建支援」の「仮設住宅における絆づくり・見守り活動の推進」について、自治組織の設立・運営、自治活動等に「男女共同参画の視点」が必要。	各界各層・有識者調査
1107	「被災された方々の生活再建支援」の「相談体制と情報提供の充実」について、「相談体制の構築を進めます。」に、「相談の実施や情報提供にあたっては、女性や子ども、障害者、高齢者、外国人などより困難に直面しやすい市民への配慮に努めます。」を追加して欲しい。	各界各層・有識者調査
1108	「被災された方々の生活再建支援」の「経済的自立の確立」の最後に「また、とかく見過ごされがちな女性の就労支援に努力します。」を追加して欲しい。	各界各層・有識者調査
1109	「被災された方々の生活再建支援」の「経済的自立の確立」の「雇用の場の創出」において、女性の起業化やコミュニティビジネス立ち上げの支援のための取り組みを希望する。	各界各層・有識者調査
1110	被災者の雇用は重要な問題であるが、新卒卒を圧迫しないことを担保した上での被災者雇用を実現するように、政策を検討して欲しい。	各界各層・有識者調査
1111	福祉避難所は大・中・小規模に分けて、エリアごとにきめ細かく指定する。	各界各層・有識者調査
1112	被災し、障害や病気になった方々への支援体制(フォロー体制)の構築	各界各層・有識者調査
1113	復興計画に心のケアを明記していただき心強い。市民と協働する意識で具体的な行動計画を作成し実施していくことを望む。幼児や児童・生徒の心のケアは優先してほしい。	各界各層・有識者調査
1114	仮設住宅、転居等で地域との繋がりが取れない状況も危惧される。リラックスして参加できる「場」を作ることも必要。	各界各層・有識者調査
1115	安全な住まいの確保が計画されているが、家を失った被災者が大きな負担なしで自分の家を確保できる施策をしっかりと立てて欲しい。	各界各層・有識者調査
1116	健康づくりのための運動、運動プログラムの策定、提供など、運動の必要性に一步踏み込んで言及されてはどうか。	各界各層・有識者調査
1117	雇用の場の創出と併せて、教育・研修の拡充は重要な視点。短期的には復旧・復興事業による雇用創出、中長期的には民間企業等による雇用確保と、時間軸で組み合わせながら検討・実施することが必要。	各界各層・有識者調査
1118	宅地被害者で高齢者など支援情報が伝わらない被災者へのフォローをお願いしたい。	各界各層・有識者調査
1119	被災者が日常生活を取り戻す、生活再建への支援の充実策	その他(陳情、要望等)
1120	被災者の雇用と所得確保のための各種自立支援策	その他(陳情、要望等)
1121	被災者の恒久的で安全な住宅の確保	その他(陳情、要望等)
1122	被災学校の早期復旧と児童・生徒の心のケア促進	その他(陳情、要望等)
1123	仮設入居期間内に移転が実現するよう整備を急いでほしい。	その他(陳情、要望等)
1124	全国から届けられている支援物資を、プレハブ仮設住宅だけでなく、借上げ仮設住宅などに住む被災者にも格差なくいきわたるよう対応すること。	その他(陳情、要望等)
1125	働く場所がほしい。	その他(陳情、要望等)
1126	若年層の流出防止など地域の復興ニーズを反映した復興支援緊急雇用創出事業の確実な実行を要望する。	その他(陳情、要望等)

1127	企業、産業の再建支援及び新産業の誘致による雇用機会の確保を要望する。	その他(陳情、要望等)
1128	勤務先の被災により、職を失った方に対して、就職の斡旋をしてほしい。	その他(陳情、要望等)
1129	1、2年農業をしないと人がダメになる。機械がなく、土地再生後、すぐに農業を行うことは難しい。補助、支援について市としてどう考えるか。	東部地域まちづくり説明会
1130	大型ほ場化については、全額国の負担でやってもらえるように働きかけていただきたい。	東部地域まちづくり説明会
1131	排水機場を優先して復旧するのは理解しますが、修復のスケジュールについても提示して頂きたい。	東部地域まちづくり説明会
1132	排水路そばの電柱修復についてどこでやるのか明確ではない。末端まで修復して頂きたい。修復のスケジュールについても提示して頂きたい。	東部地域まちづくり説明会
1133	現在塩害で耕作できない部分への補償はあるのか。	東部地域まちづくり説明会
1134	井土浜の農業はどうするのか。農地を残されても見通しがつかない。買い上げて欲しいと思う方も少なくない。	東部地域まちづくり説明会
1135	「農と食のフロンティア」における、農業プラントへの転用とはどのようなことか。所有と利活用の分離とは何か。	中間案説明会
1136	特に農地の復旧が重要となります。食糧の生産基地、食文化、観光を考えた計画を出していただきたい。	中間案説明会
1137	塩害を受けた農地は置き去りにされているような気がする。補償の問題(TA側、市側、地権者)それぞれの立場で細部にわたる話し合いが必要では。	中間案説明会
1138	農業の大規模化、職住近接にすべき。漁業も職住近接にすべき。中庭や共同スペースを家々で囲んだ町家を作るべき。中心となる都市に企業などが一極集中させないようにすべき。	パブリックコメント
1139	漁業者の復興、地元農業者の意向は充分に重視されるべき。漁業は仙南部漁港の復興と大きく関わるため、特産の貝類等を生かした新しい構想も一つの選択肢と思われる。	パブリックコメント
1140	農地について、瓦礫撤去、除塩、排水関係の早急な復旧などを要望する。	各界各層・有識者調査
1141	住宅地の確保と同じように農業用地についても、代替農地をどう確保し、どのような手法で新農地をあてがうか、手法の検討が必要。	各界各層・有識者調査
1142	「農業の再生」について、漁業の再生と早期経営再開を実現するためには漁場を早期に復旧する必要がある。県・仙台市が連携して取り組むことを計画へ反映して欲しい。	各界各層・有識者調査
1143	農業再生に向けて、農地の集約や法人化など安定した生産基盤を強化するとともに、農家の負担軽減のための支援を行うこと。また、農業従事者・後継者に配慮した「営農形態」を盛り込んだ計画を示すこと。	各界各層・有識者調査
1144	東北の復興を牽引する『交流・活力創出』まちづくりの「農と食のフロンティア」について、政府の基本方針にあるように、女性や高齢者の参画という視点をプラスすることを希望。	各界各層・有識者調査
1145	農業の再生の主役はあくまで農業者であり関係機関はそれをサポートする役回りと考え、「関係機関」の前に「農業者と」を加えることを提案する。	各界各層・有識者調査
1146	農地集約のための合意形成が農業復興の最大のハードル、かつ、最大の機会である。利用調整に当たっては、関係者が長期的視点にたつて、東部地域の農業を見据えた議論がなされることを期待する。	各界各層・有識者調査
1147	「将来の農業を先導し得る人材の育成」については、中間案に掲げられている支援が必要だが、新たな経営主体の経営が軌道にのるまでの所得補完やリスクヘッジの機会を農企業・農業関連産業の誘致やマッチング等の支援等により提供する方策を検討してほしい。	各界各層・有識者調査
1148	農業の再生に関して、既存の組織や慣習だけに縛られることなく、耕地の復旧・生産・商品化・六次産業化・消費創造拡大を検討・実行することが復興を確かなものにしていく。	各界各層・有識者調査
1149	農業の高付加価値化や新たな産業の集積促進は有意義と考える。	各界各層・有識者調査
1150	漁業問題について、TPPの問題は被災者の心情的に時期尚早だと思う。	各界各層・有識者調査
1151	南蒲生、新浜地区の農業復興のため、用排水路の整備を早急に行ってほしい。	その他(陳情、要望等)
1152	仙台湾南部海岸(仙台海浜区域)の井土浦地区は一部漁港区域になっているため、国土交通省だけでなく、水産庁にも強く実現を要望してほしい。	その他(陳情、要望等)
1153	集落内の生活排水路のヘドロの除去と整備	その他(陳情、要望等)
1154	南部排水ポンプ場を早く修復して、作付できるようにしてほしい。	その他(陳情、要望等)
1155	農用地、農業施設の規模等に関係なく、一体的かつ総合的な支援による災害復旧工事を実施してほしい。	その他(陳情、要望等)
1156	海水が浸水した農地の排水作業や塩害、油害対策、作付不能となった水田の保障等、全面的な支援をお願いしたい。	その他(陳情、要望等)
1157	排水機場の暫定復旧を早急に実施してほしい。	その他(陳情、要望等)
1158	行政による一日も早い田畑の復興、社会資本の回復、農家に対しての所得保障、被害を受けた家屋、作業場、農機具等の修復、購入についての助成をお願いしたい。	その他(陳情、要望等)

1159	玉石の擁壁が落ち、崩壊してきている。災害時に道路が塞がるなどしないように、頑丈なものに整備して欲しい。	中間案説明会
1160	人來田地区の被害の情報を仙台市はどこまで把握しているのか。	中間案説明会
1161	寺岡、紫山地区でここ10年間に2、3回被災した人がいる。現在は危険はないが、原因の究明、現地調査、それを踏まえた復旧工事を行うべき。	中間案説明会
1162	盛土の不完全さによる建物、地盤、擁壁への被害が発生している。耐震性をもった設計、構造物、材質の検証を行って欲しい。	中間案説明会
1163	宅地造成工事の品質管理がどのようにされたのかを検証することは重要。	中間案説明会
1164	2次災害防止のためにも調査、検証を早急に行って欲しい。協議委員会を立ち上げ、問題点を整理して対処するのも良いと思う。	中間案説明会
1165	宅地被害に対する支援拡大の動きが新聞に載っていた。国の支援の対象にならない場合の基準を明確に示して欲しい。	中間案説明会
1166	「宅地の安全確保と復旧支援」について、復興ビジョンでは被災者が主人公として扱われていたが、中間案ではその表現がない。適切な対応を求める。	中間案説明会
1167	宅地の買取について。海岸部と同様に内陸部でも宅地から退去せざるを得ない人がおり、同等の扱いを求める。	中間案説明会
1168	助成方を盛り込んだことは評価するが、助成について最初から一部と限定するのは如何なものか。	中間案説明会
1169	団地内は思ったよりも被害が大きい。市は財源がないため早急にできないというが、お金がないのか、やる気がないのか。立ち上げが遅い。	中間案説明会
1170	7ヶ月も経過したが救済の具体案が見えていない。冬を前に業者に修復工事を依頼したが、見切り発車したのもも救済してくれるのか。	中間案説明会
1171	地盤沈下による家屋倒壊が多く起きている。要望があればきちんとしたボーリング調査を実施して欲しい。	中間案説明会
1172	生活道路について、側溝や宅地との境界が整備されないと門扉等を直せない。いつまでにやってもらえるのか。	中間案説明会
1173	今後の大規模災害に備えて、宅地復旧のための基金を創設し迅速に対処できるような体制の構築をお願いする。	中間案説明会
1174	被災宅地4031箇所と捉えた基準を示して欲しい。	中間案説明会
1175	大規模な宅地の問題については手厚い支援があるが、数軒単位の被害についても個別に対応してもらえないか。	中間案説明会
1176	西花苑の崩落地について、住民は不安に思っている。いち早い対応をお願いしたい。	中間案説明会
1177	震災で避難勧告を受けた人が、台風15号で再度避難勧告を受けた。地質調査の結果が梅雨明けに分かると聞いていたが、まだ報告を受けていない。一日も早く今後の方向性も含む説明会を開催して欲しい。	中間案説明会
1178	町内の被害状況を市に報告しているがなかなか対応してもらえない。私の宅地も被害にあっているのでもう少しきめ細かく対応してもらいたい。	中間案説明会
1179	国の動きに関わらず、各地区の復旧にどれ位の時間と金額が費やされるかは、シミュレーション可能なので、住居等に被害が大きい地区に関しては提示するのがよい。	中間案説明会
1180	市として、危険な擁壁の持ち主に対しての指導をしっかりともらいたい。	中間案説明会
1181	擁壁が壊れ、住宅も解体済みです。擁壁を復旧しない限り元の生活に戻る事が出来ません。擁壁被害の公的支援をお願いします。	中間案説明会
1182	個人の宅地崩壊への国の援助策を早急に決めてほしい。	中間案説明会
1183	貝ヶ森一丁目地区の災害が多く見受けられ、仙台市に土地調査を依頼しており、宜しくをお願いしたい。	中間案説明会
1184	丘陵部で被災した所は何がまずかったのか、他に同様の欠陥を抱えた地区はないのか丁寧に検証すると共に、他の自治体とも連携して国に制度要望を続けて行くべき。	中間案説明会
1185	宅地の復旧支援をお願いします。人生の計画はまったく出来ない。仮設住宅扱いも2年以上にして欲しい。	中間案説明会
1186	悪徳ハウスメーカー(業者)はどうしたらいいのですか？	パブリックコメント
1187	生活道路の復旧を急ぐべき。丘陵地域では地割れや地滑りの危険がある。調査を早急に行って、二次被害を防ぐべきである	パブリックコメント
1188	市独自で予算化したという51億円の内容を知りたい。国の予算がついた場合、仙台市は迅速に実行出来る準備は出来ているのか。	パブリックコメント
1189	地盤の強い土地にする	パブリックコメント
1190	余震や風水害による二次災害の防止に、万全を期す体制を願いたい。	各界各層・有識者調査
1191	宅地再建について復旧工事を早急に実施して欲しい。	各界各層・有識者調査

1192	事業所関連の相談については、窓口を設置しているのか？	東部地域まちづくり説明会
1193	都市計画のあり方を全般的に見直したほうがよい。工業団地では倉庫が流されたが、倉庫業が許可されず困っているようだ。内陸の安全な方に誘導するよう検討したほうがいい。	中間案説明会
1194	会社関係の支援が全くない。会社事務所の復旧と復興するための支援、貸家の家主に対する復旧修繕費等について制度を変え、是非助成制度を検討してください。	中間案説明会
1195	今後商売継続の判断をどのように考えるべきか示されるとよい。スピードがないと、市民の自立意欲が欠けてくる。情報の提供・交換を今後とも基本として行って欲しい。	中間案説明会
1196	復興住宅について景観・環境を配慮した設計や材料選定の際には、今回被災した地元の企業で作られる商品を是非とも検討してほしい。	パブリックコメント
1197	復興まちづくりについては、地域企業の復興のためには産業インフラの整備が不可欠であることから追記を要望したい。	パブリックコメント
1198	地元に残りたい・地場産業を守りたい人達のために具体化した施策を早急に求める。個人事業主が再建し易い施策を求める。	パブリックコメント
1199	仙台市の産業を支える多くの組合組織や中小企業が被災している。復興事業の先導役となる「100万人の復興プロジェクト」において、中小企業に対する支援内容をより具体化し実効性を高めて欲しい。	各界各層・有識者調査
1200	「地域企業支援」に関して、支援措置の一つである建替えや設備更新に対する補助制度の対象業種を製造業に限定せず、卸売業・小売業・サービス業・運輸業等もその対象に加えて欲しい。	各界各層・有識者調査
1201	「地域企業支援」において、「取引・販路拡大」に加え「技術開発の支援」と「人材開発の支援」を頭出し、産学官連携による地元企業の技術力向上・人材育成に繋がるような支援を積極的に行ってほしい。	各界各層・有識者調査
1202	仙台市及び地域の復旧・復興のためには、やはり地元の活用が雇用及び経済にも直結するものであり仙台の活性化にも繋がる。最大限の地元活用を要望する。	各界各層・有識者調査
1203	「地域企業支援」について、女性や若者など、これから新しいビジネスにチャレンジ(創出)する人への支援について、小項目が必要ではないか。例えば(4)女性や若者の起業の促進。	各界各層・有識者調査
1204	被災した中小・零細企業の経営支援策拡充と二重ローンへの支援策	その他(陳情、要望等)
1205	被災地域産業復興支援策	その他(陳情、要望等)
1206	雇用調整助成金の拡充	その他(陳情、要望等)
1207	学校等で放射線量の調査はやっているのか。子ども達を放射線から守り、不安と動揺を抑えるため調査を早急に行って欲しい。	中間案説明会
1208	原子力発電所の事故によって放射線の危険性があるが、仙台市で測定した初動日を教えて欲しい。	中間案説明会
1209	仙台湾の魚は食べられるのか。捕ってもいいのかわからない。海の放射線量を定期的に公開して欲しい。	中間案説明会
1210	「エネルギー供給のあり方への警鐘」の中に、原子力発電所に関する評価の記述が無いことに疑問を感じる。100万都市を守る立場から女川原発の廃止を求めると明言をお願いしたい。	中間案説明会
1211	原発に対するあり方を含めて、市全体の課題として取り組むことも必要。	中間案説明会
1212	女川原発の問題、帰宅難民について対応をお願いしたい。	中間案説明会
1213	市民一人ひとりの安全確認方法、原発との関係についても防災計画に載せて欲しい。	中間案説明会
1214	原発事故を受けて、仙台市民が飲む水は安全なのか。これからも安全に飲めるのか。問い合わせをしてもたらい回し。どこが窓口なのか教えて欲しい。	中間案説明会
1215	「持続的なエネルギー供給を可能にする」とあり非常に共感できる。是非、仙台市として原発に頼らない“脱原発”の政策を打ち出して欲しい。	中間案説明会
1216	福島原発の事故に伴う空気汚染は大分落ち着いているが、食べ物による内部被爆が心配、次世代を担う子ども達が安心できるようにして欲しい。	中間案説明会
1217	「放射線モニタリングと情報提供」について。どのような測定器を発注したのか。	中間案説明会
1218	一般の人にも理解できるようなモニタリング調査結果にしていくため、調査の体制をどのように考えているのか聞きたい。	中間案説明会
1219	農家で稲藁を処分できなくて困っており、どのよう対策を考えているのか。放射性物質を含む廃棄物をどのように処理するのか。	中間案説明会
1220	放射能汚染について、特に食べ物に対して非常に不安を持っている。モニタリングの結果は非常に大まかで信用できない。町内会単位でレンタルできるなど、手軽に測定できる環境を提供して欲しい。	中間案説明会
1221	原子力に賛成している人は居ないと思う。安全安心な社会をつくって欲しい。	中間案説明会
1222	放射線の問題は見解がまちまちで、根拠となる数値も違い、保護者の不安も大きい。安全側にとって判断していくのが良いと思う。	中間案説明会
1223	毎日、放射能を食べているし、我々自身が放射線を出しているが何もなっていない。セシウム130が問題になるのは3ヶ月。子どもに限って心配ということはない。	中間案説明会
1224	放射線調査(測定)結果の周知方法を教えて下さい。市内の所要所に現在の放射線量の具体的な数値を表示してほしいです。	中間案説明会

1225	風評被害に対して仙台市としてどう対応するか。福島会津若松の修学旅行などを互いに助け合う為に市がリードして働きかけるべき。	中間案説明会
1226	原発へのあり方を市民レベルで考える。みんなの力で復旧復興仙台まちを守り育てていきたいと考えています。	中間案説明会
1227	放射線等モニタリングは、早めに情報提供をお願いします。	中間案説明会
1228	風評被害の防止も早めに提供をお願いします。	中間案説明会
1229	今後の復興に向けては、交流人口の拡大が必要であるので、放射線量等の情報をタイムリーかつ正確に市内外に発信していく必要がある。	中間案説明会
1230	放射能について。子どもを放射能から守るための取組みを仙台市は率先して行うべき。給食について。専門家の講演も行ったが不十分。安全のための安全確認の徹底を。	パブリックコメント
1231	百万都市仙台は政治的、生活的にも東北のリーダーに成るべき。女川原子力発電所を廃炉にする強い意志が復興計画に明記されるべき。	パブリックコメント
1232	最大の問題は原発だと思います。後世まで影響があると思います。	パブリックコメント
1233	風評を理由に学校の旅行先を変える等、卑劣な加害行為を行いながら、自分だけを守ろうとする計画案は、どう考えても非道な計画といえます。仙台市の職員は原点である市民の為に市政を自覚する必要。	パブリックコメント
1234	福島原発事故への対応については、東北の中心都市の計画としては物足りない。原発被害地域に対して、仙台市としてもっと踏み込んだ支援をするべき。	パブリックコメント
1235	今回の計画には、教育、原発事故による汚染対応にふれられていません。少なくとも、子供たちの健康で安心な未来に向けての当面の対応(除染、汚染程度の全市の測定、公表)は必要です。	パブリックコメント
1236	放射線測定器をなんとか大量に手に入れて、市内のあらゆる場所を定期的に測定し即時公開できる体制を早急につくって欲しい。パンダを誘致するお金があるのなら放射線測定器の購入に。	パブリックコメント
1237	仙台市として、女川原子力発電所について市民の意見を聞く機会を設け、安全が担保されない限り再稼働しないことを求めてください。	パブリックコメント
1238	原子力発電所事故に伴う放射性物質による汚染問題について、課題として位置づけてください。市として、小・中・高の生徒の健康調査の実施、迅速な情報の開示を求めます。	パブリックコメント
1239	もっと真剣に女川原発のことも考えてほしい。	パブリックコメント
1240	この大震災で役人の特性・特徴がキワ立って来たのでは？区役所の窓口に行くとタライ廻し！マニュアルを用意しておくべきである。「防災証明書」の発行が遅い。復興計画案に原発問題を取り上げていない。	パブリックコメント
1241	女川原発の停止を、仙台市として要望して欲しい。	パブリックコメント
1242	女川原発の安全度の具体案がない。	パブリックコメント
1243	復興計画案としては、ライフラインがすぐ使用できるようにすれば、迷う人達も最小にすることができる。原発は必要ないとはっきり感じた。	パブリックコメント
1244	風評被害を受けて困っていると批判しているが仙台市も風評被害を創っていることを忘れているのでは？自らの足元を見て欲しい。	パブリックコメント
1245	女川原発の停止を仙台市として要望して欲しい。	パブリックコメント
1246	「取引・販路拡大への支援」について、「原子力発電所事故への対応」に記載している放射線等モニタリングの措置を食品分野以外にも範囲を広げ、地元企業が県外或いは海外との取引に着手する際の相手先の不安感等を払拭することが必要である。	各界各層・有識者調査
1247	東電原発事故対策、エネルギー政策の見直しを行うべき。	各界各層・有識者調査
1248	「原子力発電所事故への対応」の「放射線等モニタリングと情報提供」について、具体的な検査実施方法の提示や正確な情報の提供を検討して欲しい。	各界各層・有識者調査
1249	放射性物質のモニタリング結果の迅速な情報提供の体制、がれきや堆積土砂を活用した「第二の防波堤」による津波対策などについては、進捗状況のタイムリーな情報発信をお願いしたい。	各界各層・有識者調査
1250	復興にあたっては、広域的な連携が重要であると認識しており、特に、原子力災害に伴う風評被害については、東北が一体となり、全国、また、海外に向け情報を発信していくことが重要である。	各界各層・有識者調査
1251	原子力発電は禁止すべきと思う。	各界各層・有識者調査
1252	放射線について、市として測定機材を提供し、希望する市民やボランティアが測定を行うことができる体制作ってはどうか。	各界各層・有識者調査
1253	放射能に関する知識を学べるよう、幼稚園や小学校を回り、レクチャーするような企画はあるのか。	各界各層・有識者調査
1254	放射線モニタリングと情報提供の徹底による不安解消策	その他(陳情、要望等)
1255	市民の食の安全確保の取り組み	その他(陳情、要望等)
1256	空間放射線量の測定は、すべての保育所や小中学校などで行い、結果を公表すること。数値のリスク評価をわかりやすく市民に説明すること。	その他(陳情、要望等)

1257	田子西地区などの交通手段はどう考えているのか、バスは1日6便、土日は2便しかなく、病院に通いたくても通えない。	東部地域まちづくり説明会
1258	仙台市としての具体的な支援制度を示して欲しい。	中間案説明会
1259	今までの国の支援制度で変わる面があるのか。	中間案説明会
1260	仙台の動きが悪い。募金も被災者にわたらない。町内の募金では、役に立たないのなら募金に応じたくないという者が多くいる。	中間案説明会
1261	少額ですが義援金を寄付したいと思っております。区役所等の窓口に募金箱を置いていただけると助かります。	パブリックコメント
1262	雇用創出策として、農業の第3セクター化による農民の採用、海辺復元の事業に対するレジャーランド化—企業誘致による採用を提案する。	パブリックコメント
1263	地域コミュニティ形成に向けた支援を要望する。ケアの対象に、障がい者も加える。「被災者生活再建支援法」の拡充と二重債務問題への公的支援を、国に求めることを要望する。	パブリックコメント
1264	コンベンションの積極的誘致とあるが、市民が自主的に企画した催しが開催できる公共施設の再建を、宮城県と協同して早急に行うことを求めます。	パブリックコメント
1265	避難所にいる人、出た人、仮設入居者など全ての被災者に平等に手を差し伸べてほしい。	各界各層・有識者調査
1266	停電時でも信号が止まらないようにしてほしい。	各界各層・有識者調査
1267	被災者の二重ローン対策	その他(陳情、要望等)
1268	二重ローンの不安がある。	その他(陳情、要望等)

7 復興まちづくりに関する意見等 (313件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1269	仙台市は千年に一度の津波を想定していなかったことを謝罪すべき。他の災害についても基準を見直しているのか。	東部地域まちづくり説明会
1270	中野新町町内会の避難所は高砂中学校一箇所になっているが津波を想定していたのか。各町内会に一箇所ぐらいお年寄りも入れるような避難所を作って欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1271	各企業は津波対策を含めいろいろな方策を練っていると思うが、市は各企業と協議を進めているのか。	東部地域まちづくり説明会
1272	高砂中学校しか避難所がないので、一時的避難所として東部道路は利用できないか。	東部地域まちづくり説明会
1273	中野地区には津波避難所がなかったが、キリンビールに決まった。しかし、見学に行った人の話を聞くと、階段がかなり急であるとのことだった。	東部地域まちづくり説明会
1274	防災計画について具体的な期限は設定しているのか。	東部地域まちづくり説明会
1275	防災計画のとおり完成するまではかなりの時間を要すると思うので、当面の間は、今現在できる避難経路など防災計画も示して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1276	防災無線が海沿いの方にあって聞こえづらいので、下岡田あたりにもうひとつ設置してもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
1277	エネルギーと情報は重要であり、特にネット社会なので仙台市でも強化して欲しい	東部地域まちづくり説明会
1278	移転するまでの現在地の防災についても考えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1279	現在の汚水処理場状況及び対処方法は？	東部地域まちづくり説明会
1280	野球場のような避難できる公園を作って欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1281	災害発生時に情報は非常に大事であるが、実際の避難所運営で情報の欠如を感じた。市は情報収集をどのような方法でやっているのか。	中間案説明会
1282	障害者の被災者には様々な課題が生じている。検討委員に障害者支援の現場を知っている人を入れて、具体的な案を示して欲しい。	中間案説明会
1283	福島原発の事故は、点検等をしっかりとやっていなかったのではないかと。市の設備も次の災害に備えてもらいたい。	中間案説明会
1284	震災当日は、防災無線が無く、外部連絡が取れず、避難所も浸水した。防災対策が施されていない地区であるのに、何ら改善策が無いのは問題である。	中間案説明会
1285	一昨年配布されたハザードマップは、今回の地震で役に立たなかった。至急、新たなマップを作成すべき。	中間案説明会
1286	震災当日、中野小学校に避難したが、防災無線の充電が足りず通信不能だった。機能拡充をお願いしたい。	中間案説明会

1287	ヘリコプター救助者が別の避難所に収容され家族がバラバラになってしまい困った。避難の際は、高齢者のためにもノンステップバスを使って欲しい。	中間案説明会
1288	救命胴衣を各家庭で装備すれば犠牲者が減るのではないかと。考えを聞かせて欲しい。	中間案説明会
1289	津波の際に、車を守るための駐車場を確保して欲しい。店舗の駐車場も2階以上に上げるべき。	中間案説明会
1290	近い将来大きな余震が来ると想定されているが、市の方針があれば教えて欲しい。救急施設の連絡体制は出来ているのか。	中間案説明会
1291	市の行政部門とライフライン部門(ガス、水道、消防など)はキチンと連携して欲しい。市として災害時の行動についてガイドラインを示しておく必要がある。	中間案説明会
1292	震災当日、避難所の市職員に被害箇所の地図を出したが、後日問い合わせると情報は届いておらず、その後も何の対応もないまま台風の際に避難が必要になった。地域が要望していることになぜ手を打たないのか。	中間案説明会
1293	行政との情報伝達連携について。物資供給地としての卸町と連携強化を図り、重要情報連絡システム等の取り組みの検討をお願いしたい。	中間案説明会
1294	地域の事業活動が麻痺しかねないほど冠水が恒常化している。安全安心な地域とするため一層の雨水対策の検討をお願いする。	中間案説明会
1295	防潮堤で波を緩和する構造とし、産業道路にして欲しいと提言書を提出した。県や市で力をあわせて永久的な安全な防潮堤を造って欲しい。	中間案説明会
1296	津波の抵抗を少なくするために、七北田川の堤防の脇に第2の堤防を造って欲しい。	中間案説明会
1297	地下鉄をサッカー場まで延長して欲しい。JRのかき上げなどによって2重、3重の防潮堤として欲しい。	中間案説明会
1298	集団移転の対象になっているが、唯一消防団の情報だけで津波情報が伝わらなかった。電源が喪失した場合などの具体的な情報伝達方法を示して欲しい。	中間案説明会
1299	災害弱者に対する福祉避難所の充実は早急に対応を検討して欲しい。	中間案説明会
1300	防災訓練の指示に従って避難したが犠牲になった人が沢山いる。間違った指導ではなく、安心安全な避難場所をしっかりとつくて欲しい。	中間案説明会
1301	学校に子ども達がいた場合、いない場合の様々な場合を防災計画に位置付けて欲しい。	中間案説明会
1302	水道や電気等のライフラインについては、一部がストップしても代替ルートで対応できるようにして欲しい。	中間案説明会
1303	仙台市は、水やエネルギーの確保等の「自助努力」をするよう市民に啓発した方がよい。	中間案説明会
1304	秋保には無限に自然水がある。これを如何にして災害に利用するか、自助努力で備蓄することも含め考えた方がいい。	中間案説明会
1305	秋保地区にガソリンを備蓄して欲しい。	中間案説明会
1306	今回の震災を受け、秋保での避難訓練の方法を再度検討していく必要がある。	中間案説明会
1307	避難所は、地区のエリアが広く小中学校だけでは困難な場合があるため、各集落の集会所等も考えていく必要がある。	中間案説明会
1308	自家発電、自然エネルギーの利用を町内会などの小さい単位で進めて欲しい。それによってエネルギーが効率よく安く使えると思う。	中間案説明会
1309	自宅避難者(避難所に行けない高齢者)に対する物資の配給についても文章化できないか。	中間案説明会
1310	学校へ避難できるよう鍵を増やし、地域で管理できるような制度を考えていただきたい。	中間案説明会
1311	指定避難所の学校の資機材が不足している。	中間案説明会
1312	今回の震災で、地割れがあるかどうか利府断層についてももう少し調べて欲しい。	中間案説明会
1313	鶴ヶ谷東小学校に下に給水タンクがあり、この地域はこれで十分と水道局から聞いていたが、震災後に鶴ヶ谷に来る人が多くて、地域の人に水が行き渡らなかった。再度検討して頂きたい。	中間案説明会
1314	災害時のライフラインへの役所の対応が非常に不備であった。例えば、電気、水道、ガスについて、いつ回復するかという当方の問い合わせに対し具体的な回答がなかった。	中間案説明会
1315	自然災害に対する防備の難しさを再認識した。危険箇所がその後そのままの状態が多い。被災者への対応が遅すぎ。信用を落としたことは反省点。地震保険の関心を高める必要がある。	中間案説明会
1316	充電式の防災サイレンを小学校毎に設置して欲しい。	中間案説明会
1317	特別にガソリンを確保できるようにして欲しい。	中間案説明会
1318	物資の流通の円滑化(企業や商店街との連携)。	中間案説明会
1319	震災が来る時期を考慮した対応。	中間案説明会

1320	適確な情報を流すシステムは考えているのか。	中間案説明会
1321	今回大丈夫だった設備の点検。	中間案説明会
1322	防災に関し市の行政機構は現在のままでよしとしているのか？今まで防災訓練等実施の際、縦割行政的な面が多くあり何とかならないか？	中間案説明会
1323	隣接市町(多賀城、塩竈、東松島、名取市、岩沼市、亶理町)との整合性はあるのか。海岸線の防災計画について、似たような形状の仙台平野であれば競争でなく、共同防御が必要。	中間案説明会
1324	普段からの備えの必要性を市民に徹底しておくことが大切だと思った。備えがあれば多くの人が避難所に行かなくとも良かった。	中間案説明会
1325	中田地区では被害が少なく、余震などの不安の為に避難されたのが現状です。電気もなく水もないマンションの方々の為に発電機を用意していただきたい。	中間案説明会
1326	発災時の個人の通勤手段の確保。物資不足での混乱の対応。	中間案説明会
1327	街なかの防災に対しても具体策の構築が行われることを望みます。	中間案説明会
1328	河川、六郷堀および支流の洪水対策も重要。特に乱開発宅地の排水について行政から改良案を提示して欲しい。	中間案説明会
1329	地元が仙台ではなく、通勤族のためにもわかりやすい災害時の対応マニュアルを早く示していただきたいです。	中間案説明会
1330	今後の大地震で仮に七北田ダムが決壊した場合における防災の方法、避難方法をしめしていただきたい。泉区は災害に對しもう少し真剣に取り組んでいただきたい。	中間案説明会
1331	仙台に生まれて、住んで良かったと思える夢のある姿を指ける復興計画にして頂きたい。障害者の避難先を確保して下さい。	中間案説明会
1332	震災時の中心的な活動を行う町内会などに手厚い支援を。町内会集会所の第一次避難所として機能強化。防災リーダー研修の実施。備蓄等の支援など。	中間案説明会
1333	今回の教訓を生かす事が、復興の教師であると考えます。今回は、防災組織が全て実行した。官民一体の復興を掲げてはいるが大丈夫か。	中間案説明会
1334	地域の防災見直しが必要です。水の給水について、坂の上の中学校で大変困難でした。今後は小学校かコミュニティセンターに給水場所の変更を願いたい。	中間案説明会
1335	地震を予知できたかもしれない様々な現象が事前に起きていた。それについて、町内会会長地域相談会でも述べられていたが、放置され生かされなかった。市民からの通報を記録する部署が必要です。	中間案説明会
1336	各町内会の公園に給水設備等を設置してほしい。今回のような災害では水が重要であると痛感した。水の確保の分散を考えてリスクを少なくしてほしい。	中間案説明会
1337	今回の震災では自助、共助は素晴らしいものがあつたが、公助は最悪。公助の建て直しを望む。	中間案説明会
1338	避難所に急患が出て地元の開業医の支援を受けられなかった。仙台市で仙台医師会との災害時支援協定などの締結を考えてほしい。	中間案説明会
1339	ライフラインの停止に対する方策として地方ガソリンスタンドとの協定など町内会(又は連合町内会)との支援協定なども考えてほしい。	中間案説明会
1340	マンション建築に関して、各戸に水道直結式にしたらどうか。	中間案説明会
1341	沿岸部の市民に対し地震後の行動、避難に至るまでの対応時間等のアンケート調査を実施し、今後の防災計画に反映させて欲しい。	中間案説明会
1342	津波による漂流物への対策も示してもらいたい。防災林が生育するまで、潮風による塩害等が心配。越流した津波の水を戻す対策。	中間案説明会
1343	市道等の破損箇所の調整と補修を進めて欲しい。台風による道路の冠水と床下浸水は水門の構造上の欠陥とみられる。ゲリラ的な降雨時には水害の心配が強くなっており、対応を望む。	中間案説明会
1344	宮城地区は安全な地域だが、山手における再検討課題としては、地震ばかりではなく山津波、台風の被害又は大倉ダムなども含めた今後の計画も再検討を要望します。	中間案説明会
1345	平時における行政との関係で、関係機関と町内会などが連携を図り高齢者や障害者を支える仕組みづくりは大変良い事で、情報の共有化を図って進められるようにしてほしい。	中間案説明会
1346	太白区には震測度計が1ヶ所のみであり、その通報が地震発生時に秋保支所へ自動的に通報されるように改善を望みたい。支所から町内会等への通報網の整備についても必要があると思います。	中間案説明会
1347	各地域において総合防災訓練のあり方を今後再検討する必要があると考えられます。	中間案説明会
1348	防災についての自助努力の必要性を啓発することももう少し盛り込む方が良いのではないかと思います。	中間案説明会
1349	災害に強い都市基盤の形成に向けて各町内会活動を指導してもらいたい。災害に当たっては、細かい情報の公開をお願い致します。	中間案説明会
1350	東北電力社へ電源のバイパス化を勧めてもらいたい。	中間案説明会
1351	津波による避難訓練ですが、もっと現実を考え、非常を考え、現実合った訓練をして欲しい。	中間案説明会
1352	避難所に入っている人ばかりでなく、地域住民の支援もするべきではないか。	中間案説明会

1353	努力して備えてきたつもりが、実際は物の不足が生じた。これからもっと充実した万全な備えが必要で、風化して忘れないようにすることも大切。	中間案説明会
1354	県道のかさ上げには賛成。関係機関との協議を促進して計画に盛り込んで欲しい。迅速な避難を誘導するため、迅速かつ正確な情報提供システムを関係機関と協議して構築してほしい。	中間案説明会
1355	帰宅困難者の避難場所や避難誘導等を検討してもらいたい。	中間案説明会
1356	広域的な人的・物的支援ルートの複数整備、緊急交通路へのアクセス整備は非常に重要。海岸部では車での迅速な避難誘導ため情報伝達システムを関係機関と推進してもらいたい。	中間案説明会
1357	連絡手段の構築には、時間をかけず早急をお願いします。	中間案説明会
1358	帰宅難民・観光者への対応法には、時間をかけず体制整備へむけた協議を求めます。	中間案説明会
1359	仙台には仕事や観光で多くの人に来ており、仙台に住んでいる人以外にも分かるような避難所等の案内表示を、特に仙台駅周辺に設置すべきである。	中間案説明会
1360	ハザードマップ、地域防災計画の内容をもっと周知すべき。特に転入、転居者には配慮すべき。子供を持たない世帯は小中学校の位置などを把握していない。	中間案説明会
1361	防災機能の向上策として既存の施設(公的、私的問わず)の活用をもっと検討すべき。財源に限りがある中で新しい施設の建設は慎重に考えることが必要。	中間案説明会
1362	地震、津波以外の災害についても検討して欲しい。	パブリックコメント
1363	動脈物流だけでなく静脈物流についても同時に考慮頂きたい。危機対応策として事前協議の簡略化等の制度化や、危機管理を踏まえた法令の柔軟な運用の制度化も必要です。	パブリックコメント
1364	市の施設に対する非常用電源の確保	パブリックコメント
1365	濁水に強いまちづくりのためにも、指定避難所への応急給水栓の設置を進めると同時に、非常用井戸のさく井も検討すべき。上水道だけでなく、下水道の分散処理も必要。	パブリックコメント
1366	「浄化センター」の機能拡充の検討を。	パブリックコメント
1367	この計画は立派に出来ている。職員が臨機応変に対応できる様にする、その為職員の質の向上を図ること(職員が避難所に派遣されても何も出来ないのでは困る)	パブリックコメント
1368	今後のマンション建設については、貯水槽方式ではなく、各戸通結方式がよいのではないかと(すべてではないが)	パブリックコメント
1369	具体的な街づくりの方法として、住居や高齢者施設等の高地移転や防潮堤の整備、住民や地域に居た人たち全員が避難できるような高地の確保と道路整備、津波警報の伝達システム導入などを組み合わせて進める。	パブリックコメント
1370	電気・ガス・水道・交通機関等に強い都市計画を進めてもらいたい。	パブリックコメント
1371	防災無線の強化を進めて欲しい	パブリックコメント
1372	インフラの地下埋設工事を拡大して欲しい。耐震診断、工事補強制度の徹底と拡大。文化施設の早期復旧。	パブリックコメント
1373	インフラの地下埋設工事の拡大、個人としては常に災害に対しての準備を怠らないこと。水・食料の備蓄。	パブリックコメント
1374	被災地以外の知人が携帯のツイッターを使い被災地の情報を流してくれた。県外からのメールは受け取れたので、それを利用して被災地以外の友人から代わりに安否確認の連絡を積極的にしてもらおう。	パブリックコメント
1375	連絡体制の充実、広域防災無線の充実	パブリックコメント
1376	災害で使える地下道を整備すべきである。目的は違いますが中国や北朝鮮などの地下道を模範にするべきである。	パブリックコメント
1377	自家発電機、無線機を町内毎に設置	パブリックコメント
1378	道路の整備(私道・市道・国道含めてまだ遅れている)、地下の活用(地下鉄など)	パブリックコメント
1379	行政の対応(災害時)の検討を見直し、災害時には円滑に対応できるようにしてもらいたい	パブリックコメント
1380	自立→教育→訓練→実施(避難)のサイクルを日頃から訓練することが大切だと思う。	パブリックコメント
1381	まず、自立型の強化。自立できる教育と訓練を行う。緊急時の対策を全市民対応型にできるように訓練する。昔の隣町制度の復活などが望ましい。	パブリックコメント
1382	公共交通・道路網の強化については、震災時に津波被害のなかった東北本線を都市基盤と位置付け、物流ネットワークについて言及すべきではないか。特に燃料等の石油類の輸送を貨物鉄道が担ったことを踏まえた追記を要望する。	パブリックコメント
1383	広域交通ネットワークの整備については、物流の拠点としては広域な緊急物資(食料品や飲料品、石油輸送など)輸送を早期に再開できた鉄道輸送との結節も重要であることから鉄道の追記を要望する。	パブリックコメント
1384	防災拠点の整備等については、防災拠点については備蓄・補給の手段として広域輸送としての鉄道にも言及することを要望する。	パブリックコメント

1385	防災意識にかなり格差がある。防災訓練、節水・節電等個人で出来る対策を継続してやっていけるよう工夫が必要である。	パブリックコメント
1386	災害時の情報発信を安定した状態で正確にできるよう、行政からも支援(人、材料、情報)が必要ではないかと思います。普段から連携が必要ではないでしょうか。	パブリックコメント
1387	「まず逃げる」の基本理念は、少なくとも重層防御対策を実施して、逃げやすい環境の整備を図り、ソフト面の充実を図ることが重要ではないのか。そのうえで、より安全に配慮するための建築制限等の話になるのではないのか。	パブリックコメント
1388	建物と土地利用について内容まことに良い。防災(減災)を考えるべきです。法改正や新法の制定を政府に要請すべきです。建築基準法の改正を(ホール等の天井規制)。	パブリックコメント
1389	バイクを使用し、災害関連情報、配給情報の広報をスピーカで行なっていただきたい。	パブリックコメント
1390	市職員のボランティア意識の希薄さの改善を求めます。職員に対する、避難所での役割、ボランティア活動の教育が必要と思われれます。	パブリックコメント
1391	建築士の診断により修復して住めるとのアドバイスもあり、現在までに修復し、前回の台風による堤防の決壊による被害もなく、住みつづけております。	パブリックコメント
1392	共助という考えに対して、主に若い世代の中には否定的な考えを持っている人がいる。特に市街地やマンションでは支え合いの意識を実践するために方策が必要。	パブリックコメント
1393	津波などに対する施設等の構造の基本構想は(施設の規模決定基準等)震災復興に対する政府の積極的対応がなく、また迅速性に欠けている。	パブリックコメント
1394	町内会ごとに、地震規模毎の防災訓練を実施し、連絡通信方法も含む緊急避難体制を確立	パブリックコメント
1395	建物耐震診断の実施と対応について補助を行い、世帯別に屋内耐震準備チェックと対応の指摘	パブリックコメント
1396	ヘリコプターやバイクを利用した情報連絡など、津波警報が必ず住民に伝わる方法と、連絡通信方法も含む緊急避難体制の確立	パブリックコメント
1397	行政は正確な情報をいろいろな手段で素早く伝えてほしい。	パブリックコメント
1398	行政で普段からこのような震災を想定しての訓練を常に実施して、いざという時に、スムーズに行動にうつせるような体制づくりを。	パブリックコメント
1399	基幹設備が破壊しないための地下溝の設置。	パブリックコメント
1400	海岸地域在住者は、避難訓練を実施する必要がある。避難路に就いて熟知し、身体能力に応じた避難が重要。内陸部においても、避難経路を定期的に住民全員参加で実施する。	パブリックコメント
1401	都市部、市街地ではかえって情報の伝達がなかったので、行政は情報の提供を。	パブリックコメント
1402	防災計画、訓練に避難所体験コースを入れてほしい。	パブリックコメント
1403	各自で、いつも水、アメ、塩など最低限度のものを身につけること。	パブリックコメント
1404	避難訓練の徹底	パブリックコメント
1405	ライフラインの地中化。地震に強いものに変えていく(ガス、電気、水道)。	パブリックコメント
1406	防災の資料館を建てる。(防災グッズの使い方など、経験(実際の映像等も含め)、幅広く)	パブリックコメント
1407	被災者が自らやるというマインドづくりを訓練する必要がある。立ち上がれる人が、人を引っ張っていく。私達がやらなければ誰がやるのでしょうか。	パブリックコメント
1408	家屋建築の際の構造部分の記録等建築基準法の改正による不法建築の防止を図るべき。	パブリックコメント
1409	災害の際に、水やガソリンなど、一番大切な物は何なのかを検討し、計画の中で具体的に記載し、市の政策に反映していただきたい。	各界各層・有識者調査
1410	仙台市で行っている防災訓練について、一般の方の参加は少人数である。大震災を契機に徹底した防災訓練を行うことが重要。	各界各層・有識者調査
1411	予想される津波浸水域からの避難経路、避難場所、避難可能なハードの整備が必要である。避難道路については、渋滞等も考慮した経路の確保が必要。	各界各層・有識者調査
1412	「復興に向けて」の「① 減災を基本とする防災の再構築」に、市職員や消防団等の避難誘導等の従事者の安全確保対策の記載を要望する。	各界各層・有識者調査
1413	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」の「逃げるための対策」について、「停電時にも機能する津波情報伝達システム」の記載を要望する。	各界各層・有識者調査
1414	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」の「逃げるための対策」に、「交通安全・円滑化対策の強化」を項目だてし、記述の追加を要望する。	各界各層・有識者調査
1415	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」の「広域交通ネットワークの整備」に、代替ルートの確保に関する記述の追加を要望する。	各界各層・有識者調査
1416	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」の「防災拠点の整備等」に防災拠点施設の整備の記述追加を要望する。	各界各層・有識者調査
1417	「自分の地域は自分で守る」、「自分の命は自分で守る」を基本的な考えとしたうえで、行政が地域の取り組みを支援するようなシステムを作る必要がある。	各界各層・有識者調査

1418	ライフライン・宅地・道路網・マンション等の災害の対応力強化に向けて具体的な整備方針を打ち出して頂きたい。	各界各層・有識者調査
1419	「多重防衛」に加えて「逃げる避難」を基本理念にすえ、自主法再組織等の災害対応力の強化や、指定避難所の見直しなどにより、市民の命と暮らしを守る「減災まちづくり」にむけた総合対策が構築されるべき。	各界各層・有識者調査
1420	地域防災計画は復興計画の中で行うのではなく、震災の記憶が薄れない内に早く独自に進めるべき。	各界各層・有識者調査
1421	共助の体制作りを地域で積極的にすすめて欲しい。	各界各層・有識者調査
1422	ライフラインについて日頃からの災害発生時を想定し、常に早急な復旧体制を整えるべき。	各界各層・有識者調査
1423	非常時の早急な情報伝達の方法と、最低限消費生活に必要な物品の確保をするべき。	各界各層・有識者調査
1424	避難所対策は高齢者対策と合わせて、もっときめ細やかな対策を立案していく必要がある。	各界各層・有識者調査
1425	発電機などで使うガソリンが手に入らず使用できなかったのが、ガソリンスタンドと契約し災害発生時に優先して届けてもらう様な対策が必要ではないか。	各界各層・有識者調査
1426	水が止まった所で給水活動を実施すべき。	各界各層・有識者調査
1427	ライフラインを強化し、配水車はもっときめ細かく来て欲しい(特に高齢者地域)。	各界各層・有識者調査
1428	「3・11」を踏まえて、単に復興ではなく人の命が最優先される社会づくりとともに、小学校区の総合訓練の見直しを行うべき。	各界各層・有識者調査
1429	障害者等の視点からの避難に関する仕組みづくりや、視覚障害者や聴覚障害者等への情報保障の取り組みとともに、相談員や関係団体、町内会、民生委員等との連携等、地域全体のネットワークの強化が必要。	各界各層・有識者調査
1430	震災復興にかかる地域包括ケアシステムの構築においても、仙台市障害者福祉センターが果たす役割は大きい。	各界各層・有識者調査
1431	福祉避難所の指定の増加、避難者の受け入れ、福祉避難所開設・運営マニュアルの見直し、備蓄、開設訓練の実施をお願いしたい。	各界各層・有識者調査
1432	避難に関する仕組みの構築、一般避難所を経由しない福祉避難所への直接の避難等についての体制づくり、災害時要援護者の名簿の活用を図る必要がある。	各界各層・有識者調査
1433	仙台市が他都市との相互協定を締結するに際して、福祉避難所の指定施設の職員の派遣も視野に入れた体制の構築をして欲しい。	各界各層・有識者調査
1434	障害者および災害弱者を速やかに把握するため、災害時にあつては、名簿を見られるようにして欲しい。	各界各層・有識者調査
1435	障害者が情報の取得に支障のないよう、利便性を図っていただきたい。	各界各層・有識者調査
1436	視覚障害者、聴覚障害者などへの情報伝達について、電源の複合化や人的ネットワークによる情報伝達が有効。情報伝達手段として、県と市町村で共有の放送手段を保持しておく必要がある。	各界各層・有識者調査
1437	ハード面での防災システムの構築も重要だが、地域における防災訓練のようなソフト面も重視する必要がある。	各界各層・有識者調査
1438	「地域を越えた連携の取り組みの促進」について、主体となる「NPOやボランティア、企業など」の中に「土業等の各種専門家」の文言を入れていただきたい。	各界各層・有識者調査
1439	対策支部や本部が設置されたが、指示等の内容がまちまちのため、今後の災害対策として統一された窓口の編成をお願いしたい。	各界各層・有識者調査
1440	医療機関や避難所及び福祉避難所の機能の充実(設備・備品等)についてもっと踏み込んだ記述をして欲しい。また、災害時だけでなく、繋ぐ役割をする人材の育成を進めて欲しい。	各界各層・有識者調査
1441	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」について、「①施設による防御対策」の内容に国・県以外に仙台市として実施する内容を具体的に提示すると連携した取り組みが実施しやすいと考えられる。	各界各層・有識者調査
1442	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」について、空港・港湾などへのアクセスはもとより、施設そのものの耐震機能の強化が求められている。	各界各層・有識者調査
1443	震災を忘れないためにモニュメント等の他、ソフト対策としてのハザードマップなどの手法は考えられるのか。	各界各層・有識者調査
1444	「共助」「公助」の役割分担を明確にした地域防災の指針を示すこと。	各界各層・有識者調査
1445	市職員の防災教育を徹底すること。	各界各層・有識者調査
1446	ライフラインや施設の耐震化を行うなど、災害に強いまちづくりを進めること。	各界各層・有識者調査
1447	迅速に避難を促すための津波避難路の整備など、減災のまちづくりを進めること。	各界各層・有識者調査
1448	仙台市と連名で実施したアンケート結果について、今後策定する復興計画や地域防災計画の見直しに最大限反映させること。	各界各層・有識者調査
1449	今後の災害に対する対応と、自然エネルギー活用および省エネルギー化の促進を。	各界各層・有識者調査
1450	今までの防災訓練の方法はかなり課題があったように思うので、再考が必要。	各界各層・有識者調査

1451	高齢化、ねたきり等が増えており、医療との連携も大きな問題である。	各界各層・有識者調査
1452	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」の「逃げるための対策」について、災害規模の大小に関わらず、いわゆる災害弱者に配慮した避難経路や場所が必要なため、「その際、高齢者や要介護者・子どもなどを抱えた女性の視点を重視します。」という表現の追加を希望。	各界各層・有識者調査
1453	「市民の命と暮らしを守る『減災』まちづくり」の「地域における防災力の向上」2行目の後に「また、リーダー育成にあたっては男女共同参画の観点から女性リーダーの育成に配慮します。」と追加して欲しい。	各界各層・有識者調査
1454	福祉避難所以外でも病人や高齢者等の生命と健康を守るための措置を講じることが望まれる。	各界各層・有識者調査
1455	防災範囲は七北田川と名取川の範囲で充分か。県道塩釜亘理線かさ上げは地震時の安定はどの様に保証するのか。交差道路との折り合いはどうか。5～10分で逃げるためには、避難経路を300m～500m間隔に配置する必要がある。	各界各層・有識者調査
1456	仙台港では地震津波のみならず、火災に対する対策が必要。	各界各層・有識者調査
1457	福祉避難所をエリアごとにバランスよく配置し、バリアフリー化する。ケア(メンタル面も含む)体制を避難所段階から配置する。	各界各層・有識者調査
1458	「kinQ.com」などの通信手段の検討	各界各層・有識者調査
1459	普段から福祉、地方自治体、教育、企業などとネットワークと連携を持って総合的な体制を作る。	各界各層・有識者調査
1460	要支援者名簿は申し出から一定程度強制力をもたせて作成し、非常時公開の手続き、マニュアルを作成する。発災時間帯ごとの防災計画作り	各界各層・有識者調査
1461	防災拠点として、展示・体験施設、学習施設の整備は、国、県などとの連携に基づいて積極的に整備すべき。	各界各層・有識者調査
1462	避難所としての都市中心部の施設については、災害弱者や帰宅困難者に配慮して今後どのような連携を図るか課題だと思います。	各界各層・有識者調査
1463	児童館や市民センターは避難所として活かせるベースがあり、行政と指定管理者側との協働意識の構築と行動が求められる。	各界各層・有識者調査
1464	道路は応急処置的に復旧させた所がほとんどで、危険な所も多い。早急に完全な復旧をすべき。	各界各層・有識者調査
1465	サークル式交差点の様にエネルギーを消費しない交差点の導入が必要。自転車道の整備も必要。	各界各層・有識者調査
1466	停電時、メールによる災害情報や生活関連情報の一斉配信という手段も有効。発電機の購入は個人では負担が大きいため、町内会単位等で購入し、助成等の支援もあわせて検討を。	各界各層・有識者調査
1467	学校の教職員は学校の運営、生徒の安全確保にあたるべきで、避難所の運営にあたるのは無理がある。運営は行政の責任のもとに行われるべき。	各界各層・有識者調査
1468	福祉避難所は大変重要な視点。障害者が通常の避難所に入るのは大変な困難を伴います。	各界各層・有識者調査
1469	仙台市場では、被災の翌日からある程度の役割が果たせた。災害に強い都市基盤の形成に関し、市場は、備蓄の面でも集配の面でも防災センターの役割を十分に補うことができると考える。	各界各層・有識者調査
1470	BCP策定は重要な取り組みで、行政自身のBCPの策定をはじめ、災害時に連動する業務・施設を極力広くBCPで連携させることにより、真に機能するBCPが実現可能になる。	各界各層・有識者調査
1471	企業等のBCPに際しては、経営者自身の意識向上が大前提。行政は情報提供や“きっかけ作り”行い、インセンティブ付与も有効と考えます。	各界各層・有識者調査
1472	広域的防災拠点について、医療・福祉機能によって複合拠点性を高めることも有用であり、施設整備に際して、国等との連携、民間活力の積極的な活用等が有用と考える。	各界各層・有識者調査
1473	大災害被災を経験値に変え、防災産業都市として先端的な産業集積につなげる考え方は望ましい視点である。	各界各層・有識者調査
1474	地震や津波が発生した際、情報を正確に伝えて避難に役立てることが重要。	各界各層・有識者調査
1475	避難所に入らなかった人への支援物資の配給をすべき。	各界各層・有識者調査
1476	ライフライン・インフラ等の計画は100年・1000年単位での高所的視点から行ってほしい。	各界各層・有識者調査
1477	災害危険区域の住宅には防災無線機を設置し、危険性をいち早く市民に伝える方策をとってほしい。	その他(陳情、要望等)
1478	集落内に避難所と防災無線の設置	その他(陳情、要望等)
1479	臨港地区の地震・津波防災対策について、公共による整備をお願いしたい。	その他(陳情、要望等)
1480	将来の震災に備えた街づくり、震災後の早期復旧も想定した街づくりを進めていくべきであり、次世代に向けた後世に残る今後の街づくりを要望する。	その他(陳情、要望等)
1481	津波警報を知らせるスピーカーとトライト、サイレンを設置してほしい。災害時に発信される情報を聴覚障害者が把握できるよう、情報保障環境を整備してほしい。	その他(陳情、要望等)
1482	「公共交通の利用促進」について、地下鉄の運行間隔が短く無駄に走っている。実態に応じたことをやるべき。	中間案説明会

1483	東北地区は電力会社一社に独占されているが、複数社又は発電、送電等に分けることが必要ではないか。	中間案説明会
1484	スマートグリッドなど、経産省の人でないといけないことばかりが出ていますので、説明してください。	中間案説明会
1485	住宅の免震、耐震だけでなく、太陽光発電の導入など、個人レベルでももっと推進できるように支援施策の検討してもらいたい。	中間案説明会
1486	公共交通の利便性や震災に強い交通の向上、促進とともに、自転車等の走行空間の再配分を一層推進して欲しい。市内の交通循環を円滑化するため、交通統节点的構築を含め検討してほしい。	中間案説明会
1487	計画停電が実施されたということはニュースでは報じられなかったと思います。事実とは違うのではないのでしょうか。	パブリックコメント
1488	静脈産業の都市インフラとしての機能整備・強化は処理施設団地やリサイクル団地の計画的配置といった形で行う必要性を感じる。行政としての見解をお示し頂きたい。	パブリックコメント
1489	太陽光等の設置に対する助成策	パブリックコメント
1490	危険な原発そして電力不足に対応した方策を(風力発電)。	パブリックコメント
1491	エネルギー対策として、太陽熱の利用を考えて欲しい。	パブリックコメント
1492	道は、川と同じである。川は流れる事で常にエネルギーを発生させている。まずは、全ての川で発電を。	パブリックコメント
1493	電気、化石燃料依存の生活や交通システム等の見直し、スマートグリッド等の研究・導入し、ライフスタイルを見直す	パブリックコメント
1494	恒久的な住宅を県産又は近隣の木材を用いて、市内の木造住宅メーカーが作る仕組みを作る。木材はCO2固定による温暖化防止になる。地場の林業、製材業、住宅産業による経済的復興を考えてもらいたい。	各界各層・有識者調査
1495	木質エネルギー(再生可能エネルギー)への転換は重要。	各界各層・有識者調査
1496	家庭で使用する電気は各戸で発電する。メガ発電と言って非常に広い場所を太陽光発電パネルで覆うと、その場所の生物多様性を破壊する事になる。	各界各層・有識者調査
1497	下水道の合流式から分流式への転換が図れないか。下水汚泥は有益な資源であり、持続可能な社会づくりのための資材として有効利用を。	各界各層・有識者調査
1498	節電やごみの減量とともに自動車(自家用車)に過度に依存しない生活スタイルの確立が肝要だと思う。	各界各層・有識者調査
1499	エコモデルタウンの構築については、全市エリアを候補地とし、民間投資の促進を図りながら推進することが有意義と考える。	各界各層・有識者調査
1500	原子力エネルギーについては、まず、将来における代替エネルギーの内容を検討すべき。	各界各層・有識者調査
1501	産学官連携による代替エネルギーの積極的な研究開発促進	その他(陳情、要望等)
1502	節電効果の促進を図り、次世代に対してエコ教育充実の取り組み	その他(陳情、要望等)
1503	共助について、各町内会、団体の財政的負担が大きい。助成について検討してほしい。	中間案説明会
1504	市民へ自助、共助の部分をもっと提示しても良いのではないかと。全てを市がやる必要がない部分も多い。	中間案説明会
1505	自助・共助の項に地域に住んでいる市職員OBの活用を入れたいどうか。(警察OB、消防OB、自衛隊OB等、情報公開を地域の連合町内会長や町内会長にすべきでは。)	中間案説明会
1506	自助・共助の項に地域に住んでいる市職員OBの活用を入れたいどうか。(警察OB、消防OB、自衛隊OB等、情報公開を地域の連合町内会長や町内会長にすべきでは。)	中間案説明会
1507	市職員のレベルアップを。震災先進地への職員研修から始め、各自が案をもって市民に対応すれば進歩は早い。市職員より地域住民による町内会活用が数倍の物事解決能力が高い。	中間案説明会
1508	地域における支え合い活動の推進を担う町内会等にとって、個人情報不足が足かせとなり非常に困っている。法改正を含めた検討が重要かと思う。是非、市から国への要望含め一考を。	中間案説明会
1509	平時における行政との関係で関係機関と町内会などが連携を図り高齢者や障害者を支える仕組みづくりは大変良い事で情報の共有化を図って進められるようにしてほしい。	中間案説明会
1510	一人暮らしのお年寄りの件で、生命第一という前提で個人情報保護は廃止して欲しい。	中間案説明会
1511	震災後、みんな声をかけあうようになり、身近に感じるようになりました。近所つきあいと、特に日ごろのつきあいが大切だと思います。	中間案説明会
1512	今まで以上に町内会の小さなつながりを大切にしていって若い人も参加できるように地域づくりをする。各地にあるコミセンを活用して、縦のつながりであるサークルを横のつながりになるよう、予算などの行政援助してもらいたい。	パブリックコメント
1513	買い占めた米に夏の暑さのせいで虫が発生した話を聞いた。その為にニンニクを買いに来たというひとがいた。全くあきれた話である。何でも役所は無理だと思うので各自で生きていくという気概が大事。	パブリックコメント
1514	地域とのつながりを大切にしていって(町内会での役割)	パブリックコメント

1515	災害発生時における学区毎の役割を決めておくことはどうか？交通の整備や区役所で足りないマンパワーを軽微な仕事をボランティアにやってもらうことで補完したりできると思う。	パブリックコメント
1516	高齢化に向けて高齢者の支援も大切。地域一帯が高齢化している団地なども多いですから、今後の防災においては自助・共助を推進するだけではなく、行政の積極的な支援が求められる。	パブリックコメント
1517	見出しに「公助」という文言がない。地域の力が弱まっている現在、地域包括支援センターを強化するとともに、どのような公助をどのように復興させるか明確にすることを求めます。	パブリックコメント
1518	学校を基本とした学びのコミュニティなどの充実とともに、学校外の遊び場の充実を図ることを提案する。	パブリックコメント
1519	自助・共助の拡大として、市民を頼りにせず、身を呈してリーダーシップを取るべき。	パブリックコメント
1520	子どものまちづくりへの参加の促進を。	パブリックコメント
1521	中間案の「防犯・安全・安心」について、もっと重要性を強調したものとして取り上げていただきたい。	各界各層・有識者調査
1522	岩手県沿岸部は、宮城県沿岸部を超える大きな津波が発生したが、死者・行方不明者の数は少なかった。これは津波に対する防災教育の差であり、充実させることが大切である。	各界各層・有識者調査
1523	「地域における主体的な支え合い活動の促進(防犯・安全・安心)」に、警察による街頭活動の強化に関する記載追加を要望する。	各界各層・有識者調査
1524	非常時に、自助、共助、公助で、何が、どこまでできるのか、もう一度、個人、地域、学校、行政、公的施設(市民センターを含む)がそれぞれの立場で検討するとともに、相互に意見を交換する必要がある	各界各層・有識者調査
1525	震災前から居住している人と震災後に居住するようになった人が混住する地域にあつては、コミュニティ形成を支援する事業が必要。	各界各層・有識者調査
1526	協働による地域づくりに繋がる人材育成などの事業展開が必要。	各界各層・有識者調査
1527	地域の中には、市民センター等と共同で防災訓練や防災計画づくりなどを行ってきたが、災害弱者に対して速やかに対応できなかったケースがあった。問題点を分析した上で対応が必要。	各界各層・有識者調査
1528	共助の体制作りを地域で積極的にすすめるとともに、公助の具体的対策が必要。	各界各層・有識者調査
1529	具体的に各団体が協力して活動する事が大事で、それをどの様に進めていくか、それぞれの立場の人が早急に話し合い、進めて行く事が求められる。	各界各層・有識者調査
1530	震災復興にかかる地域包括ケアシステムの構築においても、仙台市障害者福祉センターが果たす役割は大きい。	各界各層・有識者調査
1531	障害者や災害弱者をターゲットにした地域ぐるみの避難訓練を考えて欲しい。	各界各層・有識者調査
1532	避難者のニーズを一番良く把握している行政が、自助・自立・協働・絆を具体化する仕掛けとして、市民、NPOをうまく組織化し、情報弱者も含めたケアシステムを構築する必要がある。	各界各層・有識者調査
1533	仙台市教育委員会がこれまで推進している「地域とともに歩む学校づくり」について、地域コミュニティの観点も加え、具体的な施策提案に結び付けてほしい。	各界各層・有識者調査
1534	「支え合う『自立』『共生』まちづくり」の「(防犯・安全・安心)」について、「子どもや女性、高齢者・障害のある方などが被害者となる人権侵害や犯罪の未然防止に向けた取り組みを推進します。」という記述に変更した方がよい。	各界各層・有識者調査
1535	「支え合う『自立』『共生』まちづくり」の「(防災)」について、要援護者に「子ども」も必要。	各界各層・有識者調査
1536	小さな生活地域が支え合う街づくりが大事。町内自治力への支援のため、「地域リーダーの育成」を具体的に進めてほしい。横の連携が必要。	各界各層・有識者調査
1537	「地域の教育力」の向上を図ることについて賛成。コミュニティ・スクールの適用や、既存の「生涯学習」の機能強化、有効活用を図るべき。	各界各層・有識者調査
1538	持続可能な社会づくりに取り組むには「協働取組」が重要で、「中間支援団体」の設置とそれが有効に機能するための行政の支援が必要。	各界各層・有識者調査
1539	「地域活動・市民活動の活性化に向けた環境づくり」の機能の充実が指摘されているが、区役所や市民センターだけでなく、NPO等に運営させるなどして、機能の充実を図る必要がある。	各界各層・有識者調査
1540	児童、生徒の身体面(心理面も含めて)の発育発達や、健康の維持増進に貢献する身体運動(活動)の機会の保障について具体的に言及していただきたい。	各界各層・有識者調査
1541	支え合う自立共生まちづくりについては、震災前の地域性や成果、課題を踏まえたうえで進めてほしい。	各界各層・有識者調査
1542	地域の共助の仕組みと絆づくりで、高齢者等要援護者が安心できる取り組み	その他(陳情、要望等)
1543	高齢地域を中心に住民互助、共助の取り組み、要援護者対策の促進	その他(陳情、要望等)
1544	秋保には文化の里構想があつたが立ち消えになった。工場をもってくるよりもはるかに良い。	中間案説明会
1545	仙台市には、東北全体を復興させる先進都市となっていきたい。	中間案説明会
1546	物資の流通の円滑化(企業や商店街との連携)。	中間案説明会
1547	観光客等の招致のためには市内全域で定期的に放射性物質を測定し、徹底した除染が必須。「ハコモノ事業」は、ニーズと優先度を熟慮し十分に検討する必要がある。	パブリックコメント

1548	復興事業の中核に、石油を作る藻「オーランチオキトリウム」の実用環境の構築を位置付け、世界に先駆けた循環型次世代エネルギー網を確立すべきです。	パブリックコメント
1549	被災当時の経験を生かし地域商店の役割を見直すことで、これからの地域商圏の復興を是非とも考えていくべきと考える。	パブリックコメント
1550	地域商店街の機能強化に関する記載について、もう少し平易な表現にした方が良いと思います。	パブリックコメント
1551	人口の減少による将来予測と漁業、農業、企業、観光を含めたゾーンの成長と定着と若者の雇用促進のできる将来像の提案。	パブリックコメント
1552	津波の被災地帯に、24時間の国際空港の拡張と臨海臨空工業地域を設ける。	パブリックコメント
1553	「商店街の社会的機能強化」に関して、災害発生時の帰宅困難者や情報入手困難者に対して、商店街の各店がシャッターを閉めることなく、行政機関と協力して困難者に対応出来る仕組みづくりの構築が期待される。	各界各層・有識者調査
1554	今度の災害も含め世界への発信を強く推進し、防・減災都市への取り組みと研究開発の最先端都市として「SENDAI」を名実ともに推進して欲しい。	各界各層・有識者調査
1555	産業対応策が弱い。コンベンションや商業集積、インキュベーション促進などが散見されるが、それらにつながる取り組みも記しておく必要がある。	各界各層・有識者調査
1556	被災経験も含めた多様な要素による誘客を図ることは重要。行政や民間企業等が連携していくことで、宮城、東北全体にネットワークを広げることが望ましい。	各界各層・有識者調査
1557	新規産業の育成と研究機関連携の促進	その他(陳情、要望等)
1558	関連企業、周辺産業への裾野を広げた産業支援策と企業誘致策の拡充	その他(陳情、要望等)
1559	生活と地域コミュニティを支えた安全・安心な商店街の商業機能を一層高めるための施策を要望する。	その他(陳情、要望等)
1560	中心部商店街のハード面の補修・整備への支援にとどまらず、ソフト面でもさらなる整備・強化を図ることで、仙台の元気力発信の源とするべく、行政等の支援を要望する。	その他(陳情、要望等)
1561	陸前白沢駅までの鉄道本数を愛子駅までと同じ位に増やし、より多くの人に秋保に住んでもらえるようPRして欲しい。	中間案説明会
1562	自然エネルギーの活用、第6次産業の繁栄を図るための窓口を市役所内に設置する。促進状況について公表し、市民の希望を持てるような施策を検討していただきたい。	中間案説明会
1563	静脈産業や静脈物流に関する記述が殆ど無い点が気になる。産業廃棄物の処理について社会インフラとしての役割が大きいことを、行政側としてもご理解頂き、是非この復興計画の中に盛り込んで欲しい。	パブリックコメント
1564	道州制を視野に入れつつ、周辺の市町村と連携して環境整備を行うことが「復興まちづくり」の第一歩です。	パブリックコメント
1565	ボランティアに行きたいと思う人の窓口の整備。救援物資の送り方のルールづくり。多くの家庭に手軽で安価なエコできる設備の開発が望まれる。	パブリックコメント
1566	井戸水を活用する。地下道の活用。	パブリックコメント
1567	井戸水の活用(水不足に対して)。被災後の計画(国・市の復興計画が遅れている)。隣近所とのコミュニケーション(特に大切)。災害に遭った時は特に生命を守り自立性をもつ(自助努力)	パブリックコメント
1568	水やガスボンベ、食料は日頃の準備で1週間程度は対応可能。風呂の残り湯も有効活用した。このような日頃からの準備を参考にして欲しい。また、震災前の地価で土地を市が買い取って移住できるようにして欲しい。	パブリックコメント
1569	災害発生時における地下の利用(地下鉄など)を考えて欲しい。	パブリックコメント
1570	被災地は人々の生活の為に復興を急がなければならないが、これから数百年を見据えて各地域の特色を出し、海外からも訪れるのが楽しみな大胆で興味深い再建を期待したい。	パブリックコメント
1571	非常時の広報はサイレンが効果がある。間借り教室は早期に解決して欲しい。白鳥地区に避難場所を確保すべき。	パブリックコメント
1572	鉄道の復旧は利用者にとってはとても大きな事なので、出来るだけ早く取りかかってほしい。	パブリックコメント
1573	各自の得意分野が十分いかせるよう、常に郷土の為、災害に強い町作りと災害にあった場合の対応の迅速化などに関心を持つようにする。仙台市復興計画の早期実行が必要。	パブリックコメント
1574	復興税として約10年間国民が負担すべき。多くの死者を出した東日本大震災を絶対忘れてはいけない。何度となく津波がきているのは事実であり、同じ場所に町を作るべきではない。	パブリックコメント
1575	将来の安全、安心の防災を考え、都市計画の変更、又建築基準法の改正も必要になってくるのではないかな。	パブリックコメント
1576	市のやっている姿が見えてこないため、行政の組織を一度解体する。ガス復旧工事は良い見本だったが、ガレキの処理は全国に応援を頼むべき。	パブリックコメント
1577	市・区・町内会のコミュニケーションが不足していた。ブロックベイの被害の減少は、前回の宮城県沖地震の反省が生かされたのか。今回の大震災を十分に検証し、郷土の復興にいかして欲しい。	パブリックコメント
1578	被災した区域の記録を残して欲しい。住民も我を通さず市の方針に従った欲しい。復興のスピード不足。避難誘導には素直に従う。人件費の削減。	パブリックコメント
1579	数十年数百年後のことを考える、その備えが必要。	パブリックコメント
1580	被災地に関心を持つ人々を対象に、被災地の復旧・復興に向けた取り組みや住民のニーズに関して学ぶ、スタディツアーを企画することなどが必要。	各界各層・有識者調査

1581	地震、津波、豪雨など天災対策とともに、原発暴走、戦争、テロ、細菌感染など、様々な異常事態に備えた計画を策定する事が必要。優しく暮らせる町、他人に優しい町、助け合える町、与え合える町、そんな仙台市にして欲しい。	各界各層・有識者調査
------	--	------------

8 復興計画の推進に関する意見等 (134件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1582	現在地の買取り価格と移転先の売却価格が示されて初めて再建の計画が立てられる。アンケートの前に、国・県・市の予算や補助、計画年次等を勘案し、具体的な再建案を示して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1583	防災対策室の位置付けはどうか。人が足りないなど遅れが出るのは何故か。	東部地域まちづくり説明会
1584	市街化調整区域だが、特区に指定して欲しい。また認められるかどうか教えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1585	被災した人から土地を使いたいという希望が出ているが、市街化調整区域で現在建物があるところは用途変更できるのか。	東部地域まちづくり説明会
1586	市議会の中で特区の話が出ている。特区の考えを示して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1587	復興計画の内容は多方面に渡っているが、内容が「支援する」という書き方が中心。いつまでに、誰が、という具体的な内容が乏しい。	中間案説明会
1588	5年あるいは10年で計画を実現していくために、お金をどのように捻出するのか財政面が全く記されていない。	中間案説明会
1589	中間案は具体的なものが見えてこない。計画では、どの程度の投資が必要なのかある程度のイメージが必要だと思う。	中間案説明会
1590	建築確認で市役所に行ったら縦割りで複数の部署をまわらされた。計画は横割り作成する必要があるが出来るのか。	中間案説明会
1591	支援活動の面で個人・組織として協力できることがある。市民のプロジェクト参画への窓口等を教えて欲しい。	中間案説明会
1592	復興計画は5年計画であるが、予算についての裏付け、財源があるのか。	中間案説明会
1593	震災後の手続きにおいて、窓口が複数の部局に分かれ不便。大規模災害時には部局を横断した組織を作って、窓口を一本化して欲しい。	中間案説明会
1594	限られた財源を無駄遣いしないように。仙台市の支援は海岸部や丘陵部の大規模な被害地域で集中的に行い、その他(高速道路の無料化、罹災証明書の発行など)はできるだけ自助で補ってもらおうよう検討して欲しい。	中間案説明会
1595	復興省を持ってきて欲しい。	中間案説明会
1596	復興計画は中期計画の上をいかないといけない。各項目に数値目標が皆無である。計画完了時の各エリアに残る危険などマイナス面を伝えるべき。市民や国に対して訴える力が弱い。	中間案説明会
1597	中間案の内容は絵に書いたような餅ではないか。実行に移されている事業はあるのか。事業の進捗を聞きたい。	中間案説明会
1598	もう少し職員の身を削る策(給料2割カット、補助金削減)を出しても良いのではないかと。説明会はパフォーマンスでしかない。仙台市の誠意を来年度予算で示すべき。	中間案説明会
1599	財源をどこから確保するのか。	中間案説明会
1600	計画の財政的な裏付けはあるのか。	中間案説明会
1601	長期的な視点でどの時点で被災者の支援が終了したと言えるようになるのか。	中間案説明会
1602	総花的な基本計画であり、これを完成するには大まかな財政目標がなければならぬ。財政面を示しながら、説明するならば、市民も励みになって来ると思う。	中間案説明会
1603	予算について。国の決定を待つだけでなく、市の計画(タイムスケジュールを含めて)を国に提案して予算を獲得する姿勢が大切だと思う。	中間案説明会
1604	計画工程が示される時期がないのは生活難民に不安。プロジェクトの具体性が見えない。	中間案説明会
1605	予算計画等の具体的な提案が少ない。	中間案説明会
1606	財政問題については政府の動向を待つとのことなので、11月に入ってから市の動きを注視したい。	中間案説明会
1607	実施計画の発表時期はいつか。その時に日程、予算を示してほしい。	中間案説明会
1608	具体的なプランの早期作成に向け、被災地域の得意分野毎に計画のベースを分担し、被災地域の連携が必要と思う。やる気のある人材等を民間や一般から募集しメンバーを変更することも有効。	中間案説明会
1609	復興に向けての財源の部分について今後市民に提示をしていくこと。	中間案説明会

1610	重点実施項目、実施順序の設定、予算の見直しについて、計画の実施に当たって活かしてほしい。	中間案説明会
1611	財政に制約がある中で、是非計画推進を強力にお願いします。市職員の業務の増大によって、身体的負担、市の財政面での負担が気掛かりです。	中間案説明会
1612	復興計画についてはよく分かりました。市民の声を入れているのであれば、声を拾っていく場所を増やして欲しいと思います。	中間案説明会
1613	計画案を策定した段階で予算を見積もり、国への支援を受ける行動が必要なのでは？国の3次補正予算決定後の明示を待っていたのでは計画の縮小もありうる心配もあります。	中間案説明会
1614	予算面が早くはつきりするとよい。今後、市民が住みやすくなるように配慮をお願いしたい。	中間案説明会
1615	中間計画のマクロ計画案は広範囲に網羅していて良いと思うが、単年度計画としてどこから手をつけていか配慮して下さい。	中間案説明会
1616	財政計画を先送りしたビジョンの設定は信頼に欠けます。	中間案説明会
1617	計画を了とするも。財源の裏づけ、又、推進する人材の確保は大丈夫か。推進状況のチェックは？いろいろな発言者の意見を真摯に考えて対応して頂きたい。	中間案説明会
1618	仮に国が何の支援をしなくても仙台市は独自の予算で現状の事業を止めてでもこれを支援するという最優先の箇所を示してください。	中間案説明会
1619	仙台市震災復興計画の工程表もセットで提示して欲しい。具体的な取り組みの項に誰が、何時までにをを組み入れる。	中間案説明会
1620	個々の計画はもっともなものが多いが、同時進行はできないので、ある程度の優先順位をつける必要がある(工程表)。概算でも所要経費を示してほしい。	中間案説明会
1621	地方の行政機関はそれぞれよくやっているとします。問題は国、特に政府はどうしようもない。地方分権を進め、費用を地方にまかせる他ないと思ってます。	中間案説明会
1622	5か年の期間として各プロジェクトが立ち上がっているが、全体的な動きをいつまでになどプロセスを示して欲しい。	中間案説明会
1623	より具体的内容、スケジュールを明示し、どういうまちづくりをするのか目標を共有できるようにしてほしい。	中間案説明会
1624	100万人の復興を世界に発信して頂きたい。3次補正により実行不可能としないよう、不十分な部分は仙台市独自を考えているとの市長発言に安心した。必ず実行をお願いします。	中間案説明会
1625	計画の項目はそれなりだが、実施計画が見えないと納得できない。	中間案説明会
1626	国からの支援全額をどれほど見込んでいるのか。仙台市として災害復興にかけられる金額はどれほどか。	中間案説明会
1627	国の当初予算と第1・第2次補正の合計分で、仙台市にいくらの財源が回って、その中で復興費がいくらだったのか。そして、7ヶ月経過した中で、全体の何%使われたのか教えて欲しい。	中間案説明会
1628	仙台市長をトップに、給料を5~10%カットし、それを復興費にあてるつもりあるか。	中間案説明会
1629	多様の予算の早期明確化を求めます。	中間案説明会
1630	計画は素晴らしいが、大切なのは具体的にどう動くか。現場の意見をしっかり聞いてもらいたい。震災後の対応が遅い、スピード感を持って対応できる組織作りを。	中間案説明会
1631	宮城県周辺市町村との役割分担や調整協働について、もう少し説明がほしい。	中間案説明会
1632	国の3次補正による資金を待たずに、民間資金を活用してのスピード感が出せないのか。	中間案説明会
1633	仙台市の具体的な経費削減策が示されていない。職員給与の一律カットや、東西線等のプロジェクトは即時中止、凍結すべき。	中間案説明会
1634	震災直後よりみんなで復興に向け取り組んでますが、今後も復興のための組織、権限を作りあげて進めて頂く事を望みます。今は、政治家より、役所の方々が頼りです。	パブリックコメント
1635	国、市、民間の各の役割、助成制度の整備等により罹災した市民の役割をより明確にした方がよいと思います。	パブリックコメント
1636	国の第3次補正が提出され可決されると思いますが、どの事業にどの位の予算を使うのかを明確にし、市民にも提示いただきたい。(当然最後は議会の承認になりますが)	パブリックコメント
1637	国の第3次補正に基づき実施した時市の負担、財政は大丈夫なのか。足りない時はどうするのか。市債の発行、仙台復興市民税の負担等。	パブリックコメント
1638	全体的な流れを「復興ロードマップ」として図示しては。その上で、「いつ、どこで、どのように」市民力を動員するかが明記されていけば、オープンソース型の復興モデルケースとなるかも。	パブリックコメント
1639	住民に出来る仕事を分担し活性化すること	パブリックコメント
1640	全体的には中間策では、立派な文言があるが、具体的に何年までに完了(とりかかる)のか記入されていない。我々には不安である。	パブリックコメント
1641	漁業特区などについては、当事者等の判断に任せ行政はそれをバックアップして欲しい。	パブリックコメント
1642	仙台市の復興の取り組みについての具体的な内容が分からないので行程表が欲しい。子どもから大人まで全員が課題に取り組む姿勢が大切。	パブリックコメント

1643	特区制度は本人達に任せて仙台市はバックアップをしたら良いと思います	パブリックコメント
1644	未来に向けて最小限の被害で済むように各分野のプロの方をお願い致します。地域の郷土性・風土性を重視した復興を希望します。	パブリックコメント
1645	町内会活動の活発化、活用化(他県との交流まで発展させられると素晴らしい)復興計画が絵に描いたもちにならないように次の1000年をみすえて確実に進んで欲しい。	パブリックコメント
1646	復興財源を見通しを市民にも教えてもらいたい	パブリックコメント
1647	仙台市の産業・生活を支える基盤として貨物鉄道の再構築・強化が今まさに必要であり、そのためには、復興のプロセスのなかで、「復興特区制度」など復興支援の制度を活用しながら推進していくべき。	パブリックコメント
1648	中間案には具体的には実施計画がない。さらに細かい検討、実行するための検討はされているのか。	パブリックコメント
1649	中間案の内容はおおむね評価したい。残念なのは「復興の速度が遅い」ということ。数値目標が記載されておらず、より具体的な復興計画が示されることを望みます。	パブリックコメント
1650	100万人の復興プロジェクトは並列になっているが、大型投資プロジェクトも含まれることから、限られた予算の中ではプロジェクト1~5の被災者の生活基盤確立プロジェクトを優先すべき。	パブリックコメント
1651	スピードが遅い	パブリックコメント
1652	震災前の中、長期事業計画の凍結、人件費の削減(人員・貸金)、塩漬け資産の売却によって市独自に財源を確保せよ。	パブリックコメント
1653	一日も早いタイムテーブル。被災者たちの住、職の確保。一日も早い強力なリーダーシップ。	パブリックコメント
1654	義援金の支給が遅すぎる。身寄りの無い1人暮らしの老人の支援を充分にする。復興計画の具体的なタイムスケジュールを早く作ってほしい。	パブリックコメント
1655	情報の素早い伝達と、スピード感のある計画実行を。	パブリックコメント
1656	財源の確保に向け、国の財源を徹底的に利用することに加え、震災前の中・長期間事業計画の据え置き・廃止、人件費の削減、塩漬け資産の売却等自力での捻出を。	パブリックコメント
1657	被災地の事を忘れることなく出来る範囲で協力していく事が大事。いろいろな事情があるのは承知しているが、遅すぎる感じがある。	パブリックコメント
1658	特区を設け企業のカモ借りていくことに賛成。	パブリックコメント
1659	計画をスピードをもって実行するのみ。規制緩和も必要。	パブリックコメント
1660	復興計画が具体的にどう動いているのか、より市民にわかりやすい計画を早急に作ってほしい。	パブリックコメント
1661	復興計画に具体案がない。	パブリックコメント
1662	計画の立案即実行。具体的にどう動こうとしているのか、それが見える計画であってほしい。	パブリックコメント
1663	災害に対し、安易に判断しない事。テンポが遅い。「何を」「いつまで」「誰が」があいまい。市長の非常時のリーダーシップを！！人員不足であれば臨時事務員やパートを後押し補完すべし。	パブリックコメント
1664	沿岸部に、防潮堤を兼ねた高層市営住宅をつくる事も検討すべき。市民が最も求めているのは具体的なタイムテーブル。	パブリックコメント
1665	チリ津波、宮城県沖地震、岩手宮城内陸地震等から、常に何事にも「備え」が必要。	パブリックコメント
1666	スピードが遅い。	パブリックコメント
1667	コンサル会社がプレゼンしたような内容、どう実現していくのか道筋が見えない。防災は、市民の意見を聞いてはできない、強制的にやるのも必要、一人一人の市民の意見を聞いたなら何もできない。	パブリックコメント
1668	国頼りの計画、資金も含めて、市でできるものは何か示してほしい、今すぐ着手するもの、時間がかかるもの、色分けが必要。市が主体的にできるものは、はっきり示し、早急な対策で実施を。	パブリックコメント
1669	国の力、県の力が必要なものははっきりと計画に示す。	パブリックコメント
1670	大変立派な復興計画案だが、優先順位はどの様になっているのか。絵に書いた餅にはならないように。	パブリックコメント
1671	とにかく対応が遅い。昔から災害があったのだから、今さら「公平」にとか「そつのないようにと」ではなく、行動をおこしてから、皆の言い分をきいても良い。	パブリックコメント
1672	復興対策が大変遅れている。市民の意見が反映される様な対策をお願いしたい。行政側が待ちの姿勢ではなく、市民に意見を求める前に問いかけて欲しい。	パブリックコメント
1673	タイムテーブル。いつまでに復興するか。	パブリックコメント
1674	希望を持てる「生きていこうという夢のある」プランにすることが亡くなった方々への供養であり、将来世代に対する責務と思われる。	パブリックコメント
1675	案は具体案が無い(アクションプログラムが見えない)。	パブリックコメント

1676	復旧のスピードが皆違う、これは問題がある。地域によって不公平差が出ないよう地区の意見を充分取り入れて考えるべき。市の計画はスピードをもって実施。	パブリックコメント
1677	仙台市震災復興計画(中間案)に盛り込まれた各項目は、いずれも不可欠な要素で構成されており、当復興計画の早期の策定と実行を要望する。	各界各層・有識者調査
1678	一日も早い復興を実現するためにも、財源確保と項目の優先順位の精査を希望する。	各界各層・有識者調査
1679	復興財源の確保が最大の課題。プライオリティーが付け難く、復興費用について市民に示す必要がある。「震災特区特別会計」(時限)を新設などの検討も必要ではないか。	各界各層・有識者調査
1680	被災された方々の住まいなど、出来るものから手をかけて、復旧復興を進めて欲しい。	各界各層・有識者調査
1681	震災復興計画案(中間案)に全体として賛同する。今後の更なる住民からの要望や状況の変化による見直しなどへの柔軟な対応を要望する。	各界各層・有識者調査
1682	国際都市にふさわしく外国人と共に生きる社会の実現という視点からも施策の推進を要望する。	各界各層・有識者調査
1683	実施計画は、市民の意向・要望を十分に反映し、より具体的に策定されるよう希望する。	各界各層・有識者調査
1684	早期の実施計画の策定と、市民に分かりやすい財政的な裏付けの説明、ソフト面の市民の協力の更なる呼びかけが必要。	各界各層・有識者調査
1685	予算規模の説明をして欲しい。	各界各層・有識者調査
1686	具体的スケジュールを早急にまとめとともに、二次災害が発生するような事項は予算に関わらず実行に移して欲しい。また、若干の異論が出てくることでも重要かつ急ぐべきものは実行に移すべき。	各界各層・有識者調査
1687	復興計画の早期決定と、復旧する順番を早く決めて津波対策を進めて欲しい。市独自の資金でも実行して欲しい。	各界各層・有識者調査
1688	各団体の代表が同じテーブルで協議し、リードオフマンをどの様に決め育てていくかが大事。	各界各層・有識者調査
1689	地域住民に対して責任をもって実施策として活動すべき。	各界各層・有識者調査
1690	実施までのタイムテーブルが必要。ハード面に偏った計画になっている。「1000年に一度」という言葉で、思考停止してはだめ。視覚障害者や聴覚障害者への情報伝達システムが機能したか否かの検証が必要。	各界各層・有識者調査
1691	「復興計画の推進」について、「絆」、「協働」ということが強調されているが、こうした計画の評価をいかに行うかが明記される必要がある。	各界各層・有識者調査
1692	現行制度での不備・不十分な点を国や県に伝え、被災者支援制度の拡充に努めること。また、被災者個々の事情を聞き取り、どのような選択肢がありどのような支援が受けられるかを、丁寧に説明すること。	各界各層・有識者調査
1693	計画の策定に当たっては、一部の有識者の意見を聞くだけにとどまらず、多方面からの意見を反映させること。スピード感をもって、目に見えるかたちで復旧・復興を進めること。	各界各層・有識者調査
1694	「防災・復興における男女共同参画の視点」について明確な位置付けと記述を希望します。	各界各層・有識者調査
1695	「復興計画の推進」の「『絆』と『協働』による柔軟で創造的な推進」について、「～多様な市民の意見が反映されるよう配慮する」の次に「とともに復興の担い手とし力を発揮できるような体制作りを行います。」の追加を希望。	各界各層・有識者調査
1696	「復興計画の推進」の「各主体の果たすべき役割」について、「市民一人一人は、」の次に「年齢、性別、障害の有無などに関わらず」の追加を希望。	各界各層・有識者調査
1697	被災者が計画策定に参加するための情報提供に際し、一つの選択肢を提案するのではなく、複数の選択肢を提案した上で、かつ被災者が選択できるだけの情報を提供することが必要。	各界各層・有識者調査
1698	市民意見を計画に取り入れるために、まちづくり支援専門家派遣制度を活用するなどして弁護士等専門家の支援を積極的に取り入れる方策を検討すべき。	各界各層・有識者調査
1699	計画を具体化、実現するための有識者の検討機関を市の組織に設置すべき。その際、研究者、実務専門家など女性を含めた住民代表者を構成員に加えるべき。	各界各層・有識者調査
1700	やるべきことが整理、網羅されているが、総花的で優先順位が明示されておらず、概念や理念が多く抽象的である。震災だけでなく、他の社会問題に対しても言及すべき。優先順位をつけるべき。	各界各層・有識者調査
1701	この復興計画は仙台市だけでなく近隣市町村と連携しながら進める必要がある。	各界各層・有識者調査
1702	復興の予算をどのように見積もっているのか。それをどのように工面するのか。	各界各層・有識者調査
1703	全般に幅が広く、予算、期間がはっきりしない部分は多いと感じた。今回は大枠をつくり、その中で臨機応変に復興を進めて頂ければと思う。	各界各層・有識者調査
1704	難病・慢性疾患障害のある方々念頭において、難病などの医薬品の備蓄と配布体制の必要性を感じているが、「特区」で対応できないか。	各界各層・有識者調査
1705	計画のタイトルは、復旧・復興であるが、その道筋で大切なポイントの時期と内容を数値目標も含めて明確にする必要がある。	各界各層・有識者調査
1706	市民からすると具体的な復興計画が全く見えない。特に具体的な取り組み内容については、実施計画を示して欲しい。	各界各層・有識者調査
1707	今後は復興特区制度を利用し、また新基本計画に基づいて着実にまちづくりをすすめるべきだと思う。	各界各層・有識者調査

1708	短期間での復興計画案の取りまとめに関し、関係各位の努力の賜物であり、敬意を表したい。	各界各層・有識者調査
1709	県・国の分担を明確にし、市が対応すべき復興事業に集中的に対応することが、財政上も、人的制約からも必然だと思われる。	各界各層・有識者調査
1710	復興計画として、より明確な数字を出し具体性を持たせればと思う。共助として果たすべきスポーツの役目、仲間づくりの重要性を感じた。	各界各層・有識者調査
1711	財政制約の中、被害のあった施設や老朽化設備の復旧・強化に際しては、民間が参画しやすい手法を検討し、民間のノウハウや資金を活用することが有用と考える。	各界各層・有識者調査
1712	復興事業実施に際して、PPPやPFI等の官民連携手法を活用することは、円滑に復興計画を推進する意味で効果的である。	各界各層・有識者調査
1713	規制緩和・税制の特例措置、企業の施設整備等の際の金融面の措置の活用など、復興特区で措置される特例の最大限の活用が重要。	各界各層・有識者調査
1714	津波で流された地域の方々の思いに丁寧に接しながらプロジェクトを進めてほしい。	各界各層・有識者調査
1715	財源の明確な区割りをすべき。	各界各層・有識者調査

9 策定プロセス・市民意見の聴取に関する意見等 (84件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1716	次回からは説明会に市長に出てもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
1717	もっと簡単明瞭な説明をしてもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
1718	町内会ごとに温度差がある。こういう説明会は町内会毎にやってもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
1719	早めに具体的施策を打ち出して、皆さんどうですかと投げかけてもらいたい。選択肢を複数提示してどうですかといわれても困る。	東部地域まちづくり説明会
1720	移転希望者と残存希望者を分けて説明して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1721	白鳥地区を一つの地区として捉えないで欲しい。被害状況を詳細に把握して、その状況に応じて町内会単位で説明会を開いて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1722	浸水した地域は盛土を考える、或いは建築制限で2階以上に住宅を設けるなどの説明があったが、資料に記載がない。	東部地域まちづくり説明会
1723	災害復興委員会のメンバーの中に被災者が何人ぐらい入っているのか。	東部地域まちづくり説明会
1724	仙台市のトップが全然来ない。	東部地域まちづくり説明会
1725	このような中途半端な状態でアンケートがあってもどう答えてよいか判らない。	東部地域まちづくり説明会
1726	いままでの質問で持ち帰りとなった内容の回答の期限と方法は？	東部地域まちづくり説明会
1727	説明会の資料は全体共通のものばかりでなく地区名を記した地区単位の資料も必要である。	東部地域まちづくり説明会
1728	一方的な説明会ではなく、「まちづくり」の復興案を皆で話し合えるような場を作って欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1729	国に関係なく、市として考えるスケジュール、優先順位、金額を市民に提示したほうが良い。市独自の案を示すともっと良い意見が出てくると思う。	中間案説明会
1730	震災復興計画をいつまでつくるのか。	中間案説明会
1731	2時間という制約の中で、まだ質問したい人がいると思う。出来れば時間を切つてということではなく、最後まで声を聞いて欲しい。	中間案説明会
1732	説明会に何度か出席し、毎回「かわされた感」があり同じような繰り返しであると感じている。もう少し逆の立場で感じてもらえればと思う。	中間案説明会
1733	今日の説明会への住民の出席者数が少なく恥ずかしい。	中間案説明会
1734	市長から直接の答えを聞くことができ良かった。また、各地域の方の動きや行動など聞け、問題が明らかになったと思う。	中間案説明会
1735	大変参考になった。今後はもう少し具体的に地域毎に説明会を開催して欲しい。	中間案説明会
1736	そもそもこのレベルの中間案について説明会は必要なのか。	中間案説明会
1737	市長の回答も良かったが検討中が多かったような気がする。	中間案説明会

1738	説明会は良かったと思います。	中間案説明会
1739	もっと細かい地域毎に説明会をしてもらいたい。	中間案説明会
1740	復興計画中間案があまり具体的でないので、今後もこういった機会を作って意見を出し合った方が良くと思います。	中間案説明会
1741	地域の方々との話し合いをこれからももっと続けてほしい。	中間案説明会
1742	今回3/11～連合、社協の動きがなく、今後は行政の方でも更に各町内会長、社協には適切な指導をしていただきたい。	中間案説明会
1743	予想以上に内容の濃い説明会だった。質問の場もとてもまじめな時間で、それに答える市長の態度も見事に感銘した。	中間案説明会
1744	質問に対する説明も含めてよく分かりました。町内としても、今後の防災は大きな問題です。今、いろいろ協議しているところ。大いに参考にさせていただきます。	中間案説明会
1745	決定事項が入っているのに計画というのは何故か？職員の「質」等を考えると実行できるとは思えない。市長は真摯に対応すべきだ。市民の質問がある限り対応すべし。市民の目線に立ってない。	中間案説明会
1746	空席が多い事が気になりました。施設に入ってからどこでやっているのかわからなかった。説明会の誘導にホスピタリティを求めたいです。	中間案説明会
1747	各質問事項に対して、回答で期限等が示されない状況です。説明会の内容が曖昧にならない様、今後対応願います。	中間案説明会
1748	市長として市民に公式メッセージを震災時に即述べるべきだった。首長として一番になすべきことである。具体性に欠ける。説明をしっかりと、わかりやすく。	中間案説明会
1749	冷静な論議だったと思います。	中間案説明会
1750	説明会ではきめ細やかな説明を。説明会での市民の意見がどこにどの様に反映されているのか明確に。	中間案説明会
1751	個人によって状況が違ふと思いますので住民のアンケートも結果を公表するべきだと思います。	中間案説明会
1752	資料説明が森どころか、山の説明となっており木の説明が無い為、内容の把握に至らなかった。質疑が個人的な苦情が主で残念。	中間案説明会
1753	復興計画に関する説明会なのに震災に対する救済要望などの意見が大勢。仙台市の普段の対応が悪いのか、遅いのか、忙しくて手が回らないのか。	中間案説明会
1754	国・県の対応待ちなどの報告は不要です。仙台市職員がこういう提言を行った、実際に手足を動かしたことを市政だより、ホームページに掲載するようにしていただきたい。	中間案説明会
1755	復興計画の検討には被災状況の報告会に出席したように感じました。	中間案説明会
1756	説明会は、市民個人の意見を申し立てる場になってしまう。質問に応えられた方々の誠意ある対応良かったと思います。	中間案説明会
1757	意見交換は個別の要望が多いので、司会者は事前に注意した方がよい。	中間案説明会
1758	今回の説明会では市長のみの回答であり、区長等の明解さが必要と思う。	中間案説明会
1759	説明会に参加して、ひとりで心配していたことが、少しではありますが解決したのかなと思っています。説明会の報告会をこれからも開いてほしい。	中間案説明会
1760	個々の件についての質問は受け付けない方法を考えていただけると助かります。	中間案説明会
1761	震災復興計画作成にあたっては国の方針を受けてという回答であったが、被災された方々の生活再建があって計画案の提示ではないのか。宮城県内に原子力発電所をかかえており見解が必要。	中間案説明会
1762	本日の意見交換会は、計画の説明も30分だけであり、その内容というのが質疑により、より深度化する場面が無かったのが残念だ。このような説明会を再度開催する必要があるのではないか。	中間案説明会
1763	大変有意義であった。	中間案説明会
1764	質問は一人一件に限定し、なるべく多くの人に発言させるべき。	中間案説明会
1765	一般市民向けの説明会もありたいが、個々のヒアリングは外部の方々をお願いし、その方々が市との復興計画として進めてもらいたい。	中間案説明会
1766	お骨もお墓も全部流されたが何も支援もない。今日の説明を聞いて様々な人達が考えている事がわかった。これからも説明会があったら出席したい。	中間案説明会
1767	説明会をもう少し小規模で昼、夜の開催にして欲しい。想定外の災害、大規模災害、多種多様な被害というのであればもう少しきめ細かく、丁寧に市民に説明して欲しい。	中間案説明会
1768	こういう説明会をもっと増やして欲しい。	中間案説明会
1769	説明会は皆さんの意見を聞く事が出来て良かった。	中間案説明会
1770	より具体的方向性、問題点の揭示をし、住民が納得できる説明会を開催して欲しい。市長の発言に地域住民は近しさを感じたと思う。	中間案説明会

1771	緊急課題と中間課題を区別して説明が必要でないか。	中間案説明会
1772	大変有意義な説明会でした。	中間案説明会
1773	復興計画は前もって知識を持ってないと理解しにくい。住民にとって目の前の生活が安定しないと、読み取る努力も薄れてしまう。出席者の抱える問題には温度差があり、問題を絞って小規模で行ってほしい。	中間案説明会
1774	意見交換の時間をもう少し長くしてもらいたい。	中間案説明会
1775	今回いろいろな意見交換会にのぞみ、力強いお話だったと思います。ありがとうございました。	中間案説明会
1776	もっと多くの住民の方の意見が聞きたかった。事務局の具体的な説明が欲しかった。	中間案説明会
1777	説明会の時間設定は適切だったのか。皆が来やすい時間設定にすべき。	中間案説明会
1778	復興の青写真、これからどのようにして進めていくのか知ることができ、有意義な時間を過ごすことができた。	中間案説明会
1779	説明会は2時間では不足。前もって発言要旨を文書で提出する、内容をしぼり発言時間を短くしてもらうなど検討を。	中間案説明会
1780	罹災者の立場で物事を考えるべきです。子供の居る家庭では戻りたく無い人が多い。いまの計画案では納得する住民はいません。真剣に計画作成を断固としてやって下さい。	パブリックコメント
1781	市民には国へ出した具体の要望内容が示されておらず、国に具体的事案を持って交渉を進めた形跡は見当たらない。大いに反省し、具体案を持って国との交渉望んで欲しい。	パブリックコメント
1782	説明会の案内が来なかったり、説明会では納得できる回答がなかったりした。	パブリックコメント
1783	津波被害にあった地域の復興案については被災地の方の意見を尊重して欲しい。避難所の応援物資の配布や待遇などは公平にして欲しい。	パブリックコメント
1784	計画をたてているメンバーの方のお名前と職業も知りたかったです。	パブリックコメント
1785	macから(正しくはsafari)からパブコメできないのはおかしい。創造的復興の鍵を握るクリエイターはほとんどがマックを使っている。ブラウザを制限している今回のパブコメはそもそも有効かどうか怪しい。	パブリックコメント
1786	本来市民は、方策を申し述べるのではなく、地域・家族の安全を要求し、行政は、その申し出に答えることが、行政の仕事と思っています間違っているでしょうか。	パブリックコメント
1787	説明会をしてくださる方、もっとプレゼン能力上げてください。他人事のような説明会です。もっと話を聞いてくださるならいつでも連絡してください。	パブリックコメント
1788	海岸部の環境、将来にわたる景観保全も課題です。そこにも、地元市民、また多くの市民の意見反映が必要です。	パブリックコメント
1789	説明会において、分科会形式での意見交換が必要なのではないのでしょうか？	パブリックコメント
1790	地域によって 不平等感の無いように町内会単位などで要望を聞いて欲しい。誇りを持つる郷土復興を目指すべきである。	パブリックコメント
1791	震災復旧計画の策定を地域住人にも分かる様にしてほしい。	パブリックコメント
1792	地域住民の意見を具体的に聞いてほしい。	パブリックコメント
1793	地域によって不公平感が無いよう、町内会単位で要望を聞いていくことが良い。	パブリックコメント
1794	住民の要望ばかり重要視するのではなく、見職者の意見や行政の方針を早く打ち出し、一刻も早く計画を実行すべき。	パブリックコメント
1795	復興を早めるため、計画を早期に提示して意見を集約し、被災住民にいらだちを与えないよう。	パブリックコメント
1796	最終案はいつ頃完成するのか明らかにして欲しい。	各界各層・有識者調査
1797	実施計画は、市民の意向・要望をしっかりと反映し、より具体的に策定し一日も早い復旧・復興を推進する方針に期待している。	各界各層・有識者調査
1798	移転や補償について、住民の合意をどのように求めるのか。	各界各層・有識者調査
1799	荒浜の方に、六魂祭について(七夕まつりも)意見等をきいたところ冷やかだった。被災者(市民)の足元を見つめてほしい。	各界各層・有識者調査

10 個別事業等に関する意見・要望等 (94件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1800	15号台風で家に水が上がった。水が来ないようにしていただけるのか。	東部地域まちづくり説明会

1801	“既存の工場、倉庫、事業所等は、再配置した土地に移転”となっている。この地区でホテル業を営んでいるが、移転補償費や今後のスケジュールについて詳しい説明を。	東部地域まちづくり説明会
1802	説明会資料の5ページの図2-aに倉庫を持っていたが、現在は更地となっている。今後、この地区で倉庫を再建して営業を再開できるか？	東部地域まちづくり説明会
1803	白鳥地区は移転対象地区ということではないとのことだが、今回の台風(15号)により浸水箇所が多数ある。市で整備する計画はあるのか。	東部地域まちづくり説明会
1804	津波により床上浸水し、今回の台風(15号)でも冠水した。市の方へ対策をお願いしてきたが何も変わっていない。	東部地域まちづくり説明会
1805	白鳥地区は水害に苦しんでいる地区であることを踏まえて、地域防災を検討していただきたい。	東部地域まちづくり説明会
1806	七北田川河川堤防の強度はどれくらいなのか。はっきりしないと怖くて住めない。	東部地域まちづくり説明会
1807	高砂大橋の西側は浸水により砂地が見えてきた。砂の浚渫をするのが大事だ。	東部地域まちづくり説明会
1808	単独移転は利子相当額の補助がない。集団移転であれ単独移転であれ個人の状況は変わらないのに、なぜ差があるのか。	東部地域まちづくり説明会
1809	造成時期はいつになるのか？	東部地域まちづくり説明会
1810	ガレキ処理の際にガス管破裂があったが、現場での確認がなかった。	東部地域まちづくり説明会
1811	ガレキ処理を朝8頃から始めているが、うるさいので時間帯を考慮して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1812	震災ごみの無料化は9月30日までとなっているが、毎日少しずつ捨てに行っている状態なので、延長していただけないか。	東部地域まちづくり説明会
1813	市の要請により工事時期を一ヶ月ずらしたわけですから、今月いっぱい有料化となるごみの処理についても延ばしてもらわないと。	東部地域まちづくり説明会
1814	8月16日に二郷堀ポンプ場が水没し、台風15号でも水没したそうですが、来年の作付け時期に水を使うのは大丈夫なのか。	東部地域まちづくり説明会
1815	井土にある焼却炉のダイオキシンは大丈夫か。	東部地域まちづくり説明会
1816	説明会は今後も続けていくのか。希望としては事業の進み具合などに合わせてその都度説明会を開いてもらいたい。	東部地域まちづくり説明会
1817	震災によるヘドロ・瓦礫を整理することにより、境界が動いたり無くなっているが、今後どのように考えているのか？	東部地域まちづくり説明会
1818	仮設の焼却炉を新浜地区の真ん中につくったが、何の説明もなかった。	東部地域まちづくり説明会
1819	岡田地区のバス運行を普通ダイヤに戻してくれと交通局へ問い合わせると安全確認をしてからという回答であった。早急に戻して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1820	排水ポンプが4つ破壊されてしまったが、これは海に近すぎたためであり、もう少し上流(泉区、青葉、太白区内)で処理すべき。	東部地域まちづくり説明会
1821	自宅の樹木が塩害で枯れてしまって倒木の恐れがある。市で処分してもらえないか	東部地域まちづくり説明会
1822	今回の台風で冠水した。地区の人から聞くと昔から冠水していたようだ。市に現地を見るよう要望しても来てくれない	東部地域まちづくり説明会
1823	台風の被害の復旧をしていない。	東部地域まちづくり説明会
1824	台風の際、仙台市の広報が出ているとニュースで見たが一切来ていなかった。消防に電話をしたところ、午後7時半に自宅へ来て、避難するよう指示があった。広報の仕方が問題ではないか？	東部地域まちづくり説明会
1825	U字溝や農業用水路、フェンスの復旧について、何回も市に要望してきたが何もしていない。役所の職員が現地を見ないのはだめだ。	東部地域まちづくり説明会
1826	港南住宅の西側は移転対象地となると、遊水地計画はどうなるのか？水害に対する排水対策はどうなっているのか？	東部地域まちづくり説明会
1827	南蒲生と港南の境界部については、雨が降るたびに浸水する。道路の嵩上げは良いと考えるが、地区内で低い地域の排水対策を考えてほしい。	東部地域まちづくり説明会
1828	ヘドロの撤去・根込みの撤去をお願いしたい。防臭対策も十分行っていただきたい。	東部地域まちづくり説明会
1829	高齢者を考慮していただき、高砂駅まで循環するバス路線を検討してほしい。	東部地域まちづくり説明会
1830	用水路の瓦礫、ヘドロ撤去を早くしてほしい。雨が降るたびに恐い思いをしている。	東部地域まちづくり説明会
1831	七北田川が浅くなっている。浚渫は考えているのか？	東部地域まちづくり説明会
1832	地盤沈下は何メートル位か教えて欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1833	台風15号で浸水被害を受けた。安全な排水をお願いしたい。	東部地域まちづくり説明会

1834	ここに戻って再築したいが下水道の復旧が未定のため時期を決められない。道路と下水の復旧時期を教えてください。	東部地域まちづくり説明会
1835	津波被害時のガレキ撤去は無償だった。再築のための廃棄物処理も無償で行って頂きたい。	東部地域まちづくり説明会
1836	撤去後の廃材はどうしたら良いか。特に農家の場合は毎日のように廃材が出る。どのようにすればよいか。	東部地域まちづくり説明会
1837	道路の補修について把握できないとの回答があったが、現地の状況を確認しているのか。	東部地域まちづくり説明会
1838	今回の台風15号では浸水がひどかった。用水路の復旧を急いで欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1839	居久根の大木が倒れている。撤去して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1840	枯れた居久根を撤去してほしい。	東部地域まちづくり説明会
1841	リフォームによって発生するがれき撤去費用は、10月からは有料と聞いている。無償化を検討して欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1842	市営バスが井土浜で折り返すため止まっているが、乗車させてくれない。もう少し市民にサービスして欲しい。	東部地域まちづくり説明会
1843	中間案は津波対策が中心に書かれている。利府長町断層地震、都市直下型地震では中心部、丘陵部での被害が考えられる。どこまで考慮しているのか。	中間案説明会
1844	住宅が半壊で取り壊す間の仮住まいを探しているが、短期間になるためなかなか転居先が見つからない。どうしたらいいか。	中間案説明会
1845	都市計画道路建設の代替地として市から取得した土地が被害にあった。市に申し出たところ、契約時の条項に「市は責任を負わない」とあり救済に応じられないと回答された。誠意を示して欲しい。	中間案説明会
1846	県道55号線(定義仙台線)、高畑定義線の2箇所が震災で崩壊し通行止めとなっており大変困っている。どうしても復興計画で触れて欲しい。	中間案説明会
1847	ハイランドは限界集落に近づいている。都市計画区域とハイランドの様に無指定の地域とに被災の対応で違いは出てくるのか。	中間案説明会
1848	復興と同時に仙台全体の魅力づくりの観点も失ってはいけない。自治会で復興プロジェクトを立ち上げ、行政や民間の力をかりて地域の復興に取り組んでいきたい。	中間案説明会
1849	集会所が崩落しており、復旧について相談しているが、通常の対応しかない。再建するにはどうしたら良いのか。	中間案説明会
1850	自分が住むまちがどうなるのかという発想だけで聞いていた。山沿いに国・県道があり、がけ崩れによって道路が遮断される危険性があるため、必要に応じて擁壁の補強などして欲しい。	中間案説明会
1851	仙台市合併の時に、市長が長町方面から秋保に来る道路が1本しかなく、補完する道路の整備を公約として掲げた。何としても実行して欲しい。	中間案説明会
1852	太白区には地震測定器が1箇所しかない。秋保の危機管理も必要、既存の施設からデータが通知されるか、出来れば測定器を設置して欲しい。	中間案説明会
1853	漁業権どうなるのか。	中間案説明会
1854	太白区は震度計の設置場所を平地にすべきではないか。震災後の対応についてもっと分かりやすい示し方があったのではないか。	中間案説明会
1855	太白区の震度情報がメディアで発表される時期が遅いと感じる。地震計の設置場所を一考願いたい。	中間案説明会
1856	地震の被害は小さかったが、次に心配なのが雨災害です。川の流れを阻害する河川敷内の雑木の排除等、河川敷をきれいにする様、市から申し入れをしてほしい。	中間案説明会
1857	閉上大橋と名取大橋の間に北側に通じる橋の整備を。大雨について警報設備及び避難経路を標識などで対応する。袋原地域の交通網の整備、北側七郷方面への橋の新設、南仙台駅JRの高架橋の整備。	中間案説明会
1858	被災地域の固定資産税は今後どの様になるのか？	中間案説明会
1859	泉区内の県営集合住宅は立地環境は良いので、これを機会に復興住宅に更新して行くことが望ましい。	中間案説明会
1860	復旧・復興が完結するまでの安全対策(仮復旧等)を明示すべきではないか。	中間案説明会
1861	「国の事業の基準がないと難しい」と何度も返答にあったが、仙台市独自に思い切った方策が出来ないのかもどかしさを感じる。被災市民に対する積極的援助を望みます。	中間案説明会
1862	子供達の通学路で震災で陥没した箇所があり、きちんとボーリング調査などをして根本的な原因を直さないといけないのではないかと思います。	中間案説明会
1863	七郷小学校の東部エリアの小学校をどのように考えているのか。移転した住民が安心して子供を通学できる様にする為にも七郷小学校の東部に位置する小学校の新設を必要と考えます。	中間案説明会
1864	かすみ町地区は、大雨が降ると水がはげない。処遇の方検討願いたい。	中間案説明会
1865	仙台市、宮城県の対応が遅すぎる。区役所の窓口でとても対応が悪い職員がいるので、対応を改めて欲しい。	中間案説明会
1866	東高周辺の道路が危険なので、早期補修を。	中間案説明会

1867	仙台・定義線の早期着工をお願いします。	中間案説明会
1868	今回の地震での被害はなかったが、いづつどうなるか分かりません。道路の一部が仮工事だが、これを本工事をお願いします。	中間案説明会
1869	再三に渡って要望してきた定義仙台線は、大倉畑前地域住民の念願だった。復旧では無理と考えており、新たなルートでの復興を願う。	中間案説明会
1870	赤坂～定義線の道路について、早急に計画を実施するようにお願いします。	中間案説明会
1871	合併当時の公的の道路(特に286号より秋保温泉線)の整備。文化の里構想の実施。白沢駅までの列車の増便(秋保地区の通勤通学通院の利便性向上)	中間案説明会
1872	しっかりしたコンクリートの防壁を境野から下境野へ抜けた道路の北側に作ってほしい。	中間案説明会
1873	今年、6月12日、青葉区防災訓練を木町通小にてやる予定だったが、来年はどうするのか。今の状態では、当連合町内会としては協力できない。	中間案説明会
1874	小学生が左側通行で通学している。交通量が多く、自転車、歩行者が右、左側通行入り乱れている。東北高校生、東北薬科大生に指導徹底をお願いしたい。	中間案説明会
1875	救助要請をしたが地域でこんなに格差があるとは信じられませんでした。	パブリックコメント
1876	都市ガス事業の譲渡が行われようとしたのですが、今後どうするのか。	パブリックコメント
1877	義援金の支払いが遅い。避難者のみ高速道路無料化して欲しい。断水時のトイレ使用方法を市民に平等に教えるべき。大地震の対策を取らなかった責任を取るべきである。	パブリックコメント
1878	道路などまだまだ復旧が遅れている。国や市では鋭意努力しているのはわかるが、もっともときめの細かい行政をお願いしたい。	パブリックコメント
1879	仙台市に対し復興計画の中に借地公園設置要綱を求めます。	パブリックコメント
1880	七北田川氾濫の危険が非常に高いので早急な施策を。治水は行政の力で出来ると確信致している。安全・安心して暮らせる町を子供に残せる日が来る事を願ってやみません。	パブリックコメント
1881	岡田と荒井の間において復興特区でカジノ施設や宿泊施設を造り、雇用の確保を図る。	パブリックコメント
1882	震災後再開された、不要・不急の地下鉄東西線工事は、即刻中止するべきです。	パブリックコメント
1883	高すぎる職員給与の削減、議員報酬の削減、外郭団体の縮減を求める。	パブリックコメント
1884	地下鉄東西線建設の凍結、見直しをお願いします。	パブリックコメント
1885	パンダには多額の経費がかかります。そのお金を被災した市民の復興再建にまわしていただきたい。現実味のある復興再建をよろしくお願い致します。	パブリックコメント
1886	被災者には財政難を理由に高負担を強いる自立を求め、その一方ではパンダの貸与を要請しようとしている。物事には自ずと優先順位というものがある。今困っているのは仙台市の被災した市民だ。	パブリックコメント
1887	ガレキ処理など最低限の事は事前にとりきめておいて欲しい。自分たちで処理場に持ち込み、手段がなく個人で業者を手配した。	パブリックコメント
1888	震災関連死の早期認定を。	各界各層・有識者調査
1889	秋保地区は二口溪谷まで一本道で字四路もなく、狭い場所もあり、災害時の橋の崩壊やがけ崩れにより、集落の孤立が心配である。	各界各層・有識者調査
1890	厳しい冬の寒さ等によって軽微な損傷の建物やインフラにさらなる被害をもたらす事が考えられ、これらの懸念を払拭するような、きめの細かな総合的な復興の姿勢が重要である。	各界各層・有識者調査
1891	避難所となりうる建物の建築設計、仮設住宅の在り方を見直す必要がある。	各界各層・有識者調査
1892	運用しきれていない施設があるので、見かけばかりの復旧ではなく、自然と人間が共存できる地域づくりをしてほしい。	各界各層・有識者調査
1893	塩害により枯れたいぐねと庭木の伐採撤去	その他(陳情、要望等)

11 表現・字句・その他に関する意見等 (116件)

No	意見の概要	市民参画の手法
1894	仙台市民の借金は一人当たり157万円ある。国・県は10年で復興させる。市は5年間で復興させると言っているが、夢みたくない話である。	東部地域まちづくり説明会
1895	ボランティアなどに力強く支援してもらい感謝している。県・市も大変だと思うが、特に市には完全に復興した思えるまで力強い支援をお願いしたい。	中間案説明会
1896	雇用促進、失業対策など平常時の考えでの支援対策しかない。縦割りの行政のもとでは絵に書いた餅に等しい。	中間案説明会

1897	復興計画が後世に語り継がれ、亡くなった人々に報いるためにも実りのあるものにして欲しい。	中間案説明会
1898	計画が早く多くの市民に理解されることが大切。なるべく難解な用語は使わず、分かりやすい言葉が注釈をお願いしたい。	中間案説明会
1899	中間案は基本的な考え方としては賛成。	中間案説明会
1900	中間案は役所向けの説明に近い。「被災者が第一」という記載が少なく、大震災が無かったかのように仙台が大きく変化 するプロジェクトが中心であり、遠く感じる。	中間案説明会
1901	10個のプロジェクトが先行的シンボルになっているが、「事業」という言葉に変えた方がいい。	中間案説明会
1902	中間案は良く出来ていると思う。これを具体的に出来るだけ早くやって欲しい。	中間案説明会
1903	計画内容の実現は国次第で片付けられるとむなしさが残る。	中間案説明会
1904	市長の考えとして、復興計画を実現するための問題点、解決方策等があったら聞きたい。	中間案説明会
1905	表現について。「ICT」と言われてもほとんどの人が分からない。	中間案説明会
1906	計画書の中にある“自立”という言葉についてご検討頂きたい。自立の「立」を「律」に変えて頂けないか。	中間案説明会
1907	中間案は大変で立派です。必ず実現お願い致します。	中間案説明会
1908	実施に当たっては、予算の問題は勿論のこと、計画に対する賛成・反対にどう対応するのが大きな問題となる。結果と しては、時間と誠意ある説得等以外に解決策はない。	中間案説明会
1909	参加者の質問や市長の答弁を参考に安心安全な街づくりに努めて行きたい。	中間案説明会
1910	震災復興計画中間案には良く出来ているが、具体性にはとぼしい。	中間案説明会
1911	説明は大体わかった。多くのプロジェクトを進める上で財政的な裏づけがどの程度あるのか、それを知りたかったが、そ こがないのが残念だった。	中間案説明会
1912	内容的には素晴らしいと思いますが若干具体性に欠ける。	中間案説明会
1913	少しずつビジョンが見えて来たと思う。国の決定待ちとのことだが、仙台市がどう復興したいかを市民に具体的に提示し てほしい。未来図を描きやすいように安心を与えて欲しい。	中間案説明会
1914	復興プロジェクトの進め方は妥当かと思うが、中間案としては具体性がなく、財政上の説明が国頼りになっている。	中間案説明会
1915	市長からの返答は良かった。市民感覚の対応に感謝。具体策を一時も早く示してほしい。1000年に一度の対策を。	中間案説明会
1916	一刻も早い実施をお願いしたい。	中間案説明会
1917	津波被害にあった地域と建物の被害にあった地域で関心事が違ふし、要求が違うことに気がつきました。今回は市民の 計画案に対する意見の場というより、要求の場だったように感じました。	中間案説明会
1918	中間案が漠然としてる。	中間案説明会
1919	この計画が絵に書いた餅にならないようにしてもらいたい。	中間案説明会
1920	ビジョンとしては多岐にわたり、心強いと思われるが、具体的に疑問が残るところが多々ある。何れにしろできるだけ早く 実現して頂くようお願いしたい。	中間案説明会
1921	計画の説明にもっと時間をかけて欲しかった。	中間案説明会
1922	大震災時の市・区職員の不眠不休のご尽力に心より感謝申し上げます。	中間案説明会
1923	仙台市として独自には何も示してないと思う。「この様な街づくり」をするという独自の案を造り、国に訴えていく必要があ るのでは？国の予算だけあてにしている新しい街の復興はないのでは？	中間案説明会
1924	一日も早く復興計画が実現出来るよう願います。	中間案説明会
1925	国の三次補正が定まらない。そして、中間案で具体的な施策が聞けなかったのは非常に残念です。	中間案説明会
1926	計画内容に具体性が無く意見交換ができなかった。	中間案説明会
1927	原点に立ち、被災した人々の生活を第一に考えて欲しい。時間はないのです。国、地方それぞれの立場の説明などいら ない。1分1秒でも早くすべての人々に3月11日以前の生活を返して下さい。	中間案説明会
1928	参加された方、発言された方々の切実さが改めて痛感した。	中間案説明会
1929	中間案の説明会であるはずが、現状の不備を聞く会となっている。この案を達成するための具体案等を。財政面が大変 であることは重々理解しており、敬老乗車証の延長はすべきでない。	中間案説明会

1930	市としてこう進めるという事をメインにして計画を進めて欲しい。大前提は人命の安全である。昔の教訓が忘れ去られる今回の震災が同じ事を繰り返さない様、強い意志をもって施行するべきである。	中間案説明会
1931	計画案は総花的で安心感もてるものだが、具体的なことになると3次補正頼み等の印象を受ける。	中間案説明会
1932	市民に理解しやすいよう難解な用語は避ける。復旧復興の流れについて復旧内容を明確に。公助の役割をもっと明確に。これまでの震災前後の対応についての評価もあると良い。	中間案説明会
1933	強い自治体行政を期待します。	中間案説明会
1934	復旧計画に近い復興計画ではある。その結果地域づくりの計画に夢がなく、楽しくない。説明の仕方が土木的な説明にとどまっていることも原因かもしれないが、もっと夢を語って欲しい。	中間案説明会
1935	災害は忘れたころにやってくるという言葉があるので中途半端でなく完全なもので復興対策をお願いしたい。	中間案説明会
1936	5ヵ年計画ということでスピーディにやる事は大事。最初に何をやるのかという具体案を出して市民を安心させて欲しい。	中間案説明会
1937	一部の市民だけでなく、市民全員のテーマとして復興計画を策定してもらいたい。	中間案説明会
1938	被災の度合いで切実さが違っている。復興を進めるに当って右肩上がりの経済成長はない中で、復興完了は震災前のレベルなのかよく分からない。	中間案説明会
1939	震災復興計画中間案としてはかなり具体的で大変結構だと感じた。但し、最終案はいつになるのか、予算は、実行は、と考えますとまだまだ先が長いようだ。一日も早い実行をお願いします。	中間案説明会
1940	中間報告にて、素晴らしいプロジェクトビジョンだが、沿岸で被災された家族、親族の皆様が一日でも早く安全で安心な生活出来るように。	中間案説明会
1941	一日も早い復興を目指すため、全市民が一丸となり、復旧復興に全力投球し災害に強いまちづくりに努めてはどうか。	中間案説明会
1942	復興計画なので、被災地域中心となるのは必須と思われるが、被災の少ない地域がどんな位置づけとなるのか、理解しづらかった。	中間案説明会
1943	震災以降、復興が進んできており今後のプロジェクトを見守っていききたい。	中間案説明会
1944	長期間に渡る復興プロジェクトで用意周到な計画なので、具体的に努めていくことを願っている。	中間案説明会
1945	仙台市長は次期市長選に出るのか。本当に復興に関し熱意をもってこれからやれるのか。	中間案説明会
1946	基本計画としては網羅的、平均的に記述され、安全・安心、減災まちづくりも評価出来る。特に経済的復興と自立及び雇用の確保等については実施計画等による具体的な政策策定の促進を望む。	中間案説明会
1947	復興中間案→第三次補正→実施計画の行程で、具体的事業が理解できるようになる。「仏を作って魂を入れず」にならないように。	中間案説明会
1948	計画(中間案)について非常に力強く感じました。被災者に一日も早く安心・安定した生活を送ってもらう為にも早く具体的な対策とその実行を。	中間案説明会
1949	仙台市が東北の復興の手本となるように先行して、素晴らしい計画を実施してほしい。市民として協力したいし、大きく期待している。	中間案説明会
1950	詳細な被害の実態を聞くことができ、勉強になった。質問に市長が真剣に答えてくださったのが嬉しかった。今後も説明会に是非出席したい。	中間案説明会
1951	現状がリアルに認識できない。写真、動画を組み入れた計画書にしてほしい。	パブリックコメント
1952	素案と何処が変わったのかを教えてください。具体案には、～する。としか書かれておらず、その為に何をするか、メリットやデメリット、リスクと有効性をもっと記載する必要があるはず。	パブリックコメント
1953	どこの有識者は未来構想や学都仙台としての発展にしか興味がないのでしょうか？彼らには一度仮設住宅に住んでから会議を行って欲しい。	パブリックコメント
1954	避難所で3カ月暮らし、まち課の方々にはお世話になりましたが、下の者だけが苦勞をし、上の人たちは関係ない様な顔をしてちょっと顔を見せるだけ、御役所仕事です。	パブリックコメント
1955	今後は中間案に反対の人と集団移転を含め賛成人とを分けて進めていった方が良い。行政に協力してこそ震災復興計画がすすむ事を被災者も認識する時期でもあります。	パブリックコメント
1956	仙台市も自主性と積極性が最終的には欠けている。多くの自治体がほぼ横並びの似たような内容に集約されて、結局は地域の独自性がほとんど見られなくなってしまった。	パブリックコメント
1957	沿岸部だけ見れば被害規模が小さい仙台市が先行し、他都市の事例を基に国と協議のうえプランを進めることは可能だった。他の市町村の先例としてなったのではなかったか。	パブリックコメント
1958	現状に即した対応策として、期待の持てる内容だと思いますので、是非、これに沿って市民からのアイデアを取り入れ、ブラッシュアップした計画で進めて頂きたい。	パブリックコメント
1959	復興計画(中間案)に賛成です。まとめて頂き誠に苦勞様でした。	パブリックコメント
1960	昭和53年の宮城県沖地震を教訓にして、対応してきたが、想定基準を見直した街づくりをすべき。時間はかかるが一歩一歩着実に。	パブリックコメント
1961	市長は、基本姿勢を自らの声で語り、市民ともに具体策を考え、政府に要望していくことが大切。プランは出来た。後はプロジェクトが一日も早く確実に実行され、安心して生活出来ることを願う。	パブリックコメント
1962	具体的な施策に欠ける、理想のみでは復旧復興はすすまない。	パブリックコメント

1963	復興におどらず、復旧すべきものを早期に復旧して欲しい。	パブリックコメント
1964	天災に強い骨太の復興ができればと思います。再び同じ事を繰り返さないためにと子孫に心配のない仙台を残してあげるために。もっと具体的な計画を。	パブリックコメント
1965	人それぞれの事情に応じた個別のケアを行う案が必要だと思います。	パブリックコメント
1966	復興計画案は分かりやすい言葉で表現して欲しい。	パブリックコメント
1967	本日聞いて概ね良いと思います。しかし、津波被災地区が中心になっているように感じました。	パブリックコメント
1968	復興計画案は素晴らしいと考えられるが、予算などの裏付けはどうなっているのか不透明でスムーズに実現可能か疑問	パブリックコメント
1969	復興計画案はできるだけ、簡易な「分かり易い」言葉で書いて欲しい。	パブリックコメント
1970	今回の震災から学ぶこととして、自然災害を真に理解し、備えるためには、私たちの日常のスケールを超えた視野の育成、震災を記録、常に見つめ直す手だてを講じる必要がある。	パブリックコメント
1971	様々な規模の大きい自然災害に対応できる都市の整備が必要です。他県で行われている工夫されている事業を参考にしながら考えて頂ければと思います。	パブリックコメント
1972	貴市役所の中間案については部外者の私から見ても、よく練られたものだと感じました。これからもこの調子で仙台市をぐんぐん引っ張って行って下さいね。	パブリックコメント
1973	中心部では活気があり、一部の震災を免れた企業が利益を上げているような気がします。特に雀踊りに関しては市の予算で踊り過ぎているような気がしてなりません！	パブリックコメント
1974	仙台市としては、現在の収支状況や被災地の実態を的確に把握し、経費等で合理化できるものは合理化しておき、国の方向が定まり次第、復旧・復興に全力を傾注する必要がある。	パブリックコメント
1975	創造的復興と言うが、創造性の源泉をもう少し具体的に書くこと。文章だけで分かりづらいので、イラストや漫画などを積極的に活用するなど、もう少し創造的な工夫がほしい。	パブリックコメント
1976	理念を大切に、市独自の实效性ある震災復興計画作成となることを期待する。仙台市独自の復興計画案があくまでも市民中心の復興案として強力に役割を果たすことを望みます。	パブリックコメント
1977	“～しうる”と“～し得る”が混在しているので、統一された方が良いと思います。	パブリックコメント
1978	具体策がなく見通しが持てない。国の許可なくできることを独自に推進し、市としてのリーダーシップを発揮して欲しい。反対があっても市としての考えを進める度量を持ってほしい。	パブリックコメント
1979	専門の人々が纏めた計画を中心に肉付けし、県で進められる事項は先行して進めるべき。パーフェクトな計画は困難であるが、安全設計が第一である。	パブリックコメント
1980	内陸部(都市部、農村部)、沿岸部ではその生活基盤が異なる。復興は最も適合した計画と実践が不可欠である。誇りを持つ郷土復興を目指すべきである。	パブリックコメント
1981	内容は妥当と思うが、具体的にどうするのが問題。国との関係をはっきりさせ、地域独自ですすめられることは積極的に推進。	パブリックコメント
1982	迅速な復興を期待している。	パブリックコメント
1983	スピード感をもってすすめてほしい。	パブリックコメント
1984	具体策が少ない。仙台市として独自に必要な事は動き出すべき。	パブリックコメント
1985	仙台市の市政運営方針、まちづくりの方向性を示す基本計画、基本計画を補完する震災復興計画に全面的に賛成する、より早い復興に努力されたい	パブリックコメント
1986	復興ビジョンを聞いて未来に希望をもった。問題は財政の裏付けをどうするのか。仙台の「都市ブランド」力を高めるため、元気なうちは再生に協力したいと思う。	パブリックコメント
1987	復興計画はもっと総合的、全市的取り組みが必要。この計画は部分的すぎる。	パブリックコメント
1988	便利すぎる生活は普段は良いが災害発生時には逆には不便なものになる。	パブリックコメント
1989	様々な事情を抱え、様々な年齢の人がいることを考えると、何通りかの計画案があっても良いのでは。地域からそして宮城県からの流出をなるべく少なく押さえるような計画案を期待している。	パブリックコメント
1990	具体策が見えない。	パブリックコメント
1991	「市の復興計画案」はタイムスケジュールがほとんど記されていない。被災した市民の目線に立って物事を考え、優先順位を決めて欲しい。勿論、中長期的視点に立った企画、立案も大切。	パブリックコメント
1992	市の復興計画が見えてこない。11月にまとまる様であるが、国、県に依存することが多いのではないかと。もう少し独自の計画を持つべき。	パブリックコメント
1993	復興計画は方向性は間違っていないと思うが、具体的に行うことになる膨大な費用が必要であると思われ、実施にはほど遠いものと感じる。	パブリックコメント
1994	海拔測定値、標度記録の標柱設置を。市としてリーダーシップを。地元を見よう。	パブリックコメント
1995	市町単位ではなく面に対処していく。行政当局の縦割りの仕組みが今日の震災復旧の大きな妨げになっている。	パブリックコメント

1996	全体を通して、行政と市民が一体となって復興へ取り組んでいこうとする姿勢がうかがえる内容になっていると感じる。	各界各層・有識者調査
1997	全体として計画の骨子は賛同する。	各界各層・有識者調査
1998	10年後の仙台市人口や人口情報はどうなっているのか。被災地域の人口産業構造、特に1次産業の担い手はいるのか。	各界各層・有識者調査
1999	震災対応で忙しい中、短期間で中間案をまとめた努力に、市民の一人として敬意を表す。	各界各層・有識者調査
2000	復興へ向けた大変な仕事を最前線で支えている市職員に対して、心からの敬意と感謝をお伝えします。	各界各層・有識者調査
2001	「災害弱者」という用語は差別用語であり不適切ではないか？	各界各層・有識者調査
2002	復興計画であげられている項目は、復興の方向性を示すものとして主要なものであると思う。	各界各層・有識者調査
2003	震災での経験を後世にどのように伝えるかと言うことと、一日も早い復旧・復興を。今回の計画が早く多くの市民の理解を得て有効に活用できるよう願っている。	各界各層・有識者調査
2004	難解な用語は避け、使用するときは注釈を付ける。自助・共助・自立に加え公助の部分をさらに明記すべきではないか。	各界各層・有識者調査
2005	全体を通して、やるべきことは山のようにあります。一つひとつ着実に実行していただきたい。	各界各層・有識者調査
2006	仙台市の取り組みは、東北復興を先導するフロントランナーとして重要なものであり、可能な限りの支援・協力をしたい。	各界各層・有識者調査
2007	命を守る事を最大の目的とした復興計画である事を望みます。	各界各層・有識者調査
2008	日本における東北の役割を世界にPRしてほしい。	各界各層・有識者調査
2009	二年後の住まいがどこになるのか不安がある。	その他(陳情、要望等)